

## 4000 名山記 2020 年

○12月29日(火)~1月3日(日) 年末、年始九州遠征。9山(6山) その1

○12:29~31 宮崎南5山(3山)

○12:29 晴れ「双石山」14:40~16:15(1:35)九平登山口より往復。神社参道を進み、奥社参拝し奥へ下り、登山道を登り進む。途中稜線の西側にロープあり。そのまま通過し急坂経て、双石山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。北側に街、南側に山が見える。陽光心地よい。来たロープの急坂を慎重に下り戻る。

○(小峰山470m)16:30~17:30(1:00)近くに移動し山容の良い山あり、県道27より往復。林道進み、電波塔経て、奥に進む。テープある登山口らしきを進み、尾根に出て急坂ロープ道進むと小峰山山頂。樹林の丘の山頂。奥へ進むと双石山途中の通行止めテープに出たので来た道を戻る。

○(椿山395m)17:40~18:00(0:20)椿山公園駐車場より往復。舗道進み、階段登ると展望台の椿山山頂。山々の展望楽しみ、公園を散策して戻る。

○12:30 久しぶりの伝説のハイカー編「花切山」山頂9:05、(岩壺山)同10:45、「斟鉢山」同14:00 7:20~17:00(9:40)椿山キャンプ場林舗道終点ゲートより往復。遊歩道を進み、花切山登山口。石の多い川沿いの道進み、支流へ。右に曲がり川沿いに進む。滝と尾根ルートの分岐より尾根ルートへ。進むと広い河原に出る。ここで直進したが道不明。少し戻ると斜め向かいに目印見え、水の少ない川を徒渉し進む。進むと、尾根の取り付きに登り、急坂のロープ、梯子道を上へ上へと登り進む。尾根道を登り進むと別ルートと合流してさらに滝ルートとも合流し、急坂の尾根を登り進む。赤岩展望分岐経て、進むと花切山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で強風が吹いている。南の稜線へトライ。テープあり、稜線づたいにテープを目安に、幾つものピーク経て、進むと岩壺山山頂。二等三角点ある樹林の丘の山頂で南西側が山々の眺め良い。晴れているが強風。来た稜線を淡々と確認しながら花切山へ戻り、時間不明だが、とり合えず、赤岩展望所までと分岐より下りつつ進む。途中急なカーブで直進し下り道なくなる。坂登り引き返し、ヘアピンカーブと気づき、樹林の中進む。強風が吹き付け帽子も飛ばされないよう手で押さえて下り進む。幾つかピーク経て、赤岩展望所。ここで一息。引き返す予定が、先の稜線へトライ。稜線の樹林の歩き易い道進む。植林地経て進むと斟鉢山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、山々、街の眺め良い。疲れて一息。来た稜線を西へ戻る。強風と長い稜線歩きで疲れ、赤岩分岐でひと休み。あとは、来た尾根ルートをこんな急坂と長い歩きを確認しつつ、2つの分岐、梯子、急坂ロープ道を慎重に下り河原に出る。あとな平坦な川沿いの道をゆっくり戻る。

○12:31 宮崎南2山 晴れ

○「柳岳」8:30~11:25(2:55)砂利林道の広場より往復。登山口不明でやむ無く、方向を確認しながら旧作業道の急坂経て、上へ進む。作業道支線終点より、植林地、樹林の道らしき進むと上の作業道に出る。そのまま作業道進むと林道に出会う。南へ林道ピーク経て、進むと柳岳の登山口標識見付けて少し安堵。尾根の樹林帯の道を幾つものピーク経て、進むと柳岳山頂10:05。三角点ある樹林の丘の山頂で南側に山々の眺めあり。陽光、風あるも静か。来た稜線の急坂、ゆるやか交互の稜線下り、登山口。あとは来た道確認しつつ、戻る。入り口で冬イチゴ楽しむ。

○「牛ノ峠」12:50~15:05(2:15)北側砂利林道工事通行止め地点より往復。大水等で崩れた道の工事を眺めながら、舗道道を上へ上へと進む。左にオレンジテープが幾つもある所の先に登山口表示あり。樹林の中の道進むと上の旧作業道に出て横切り再びテープ等目安に尾根道を登り進む。日差しで少し明るい樹林の道を進むと記念碑あり。さらに稜線登ると展望地経て牛ノ峠山頂14:00。来年の干支の山、一等三角点、天測点ある樹林の丘の山頂。青空が見事で、まだらに粉雪あり。来た道を景観、森を楽しみながら登山口に下り、林舗道経て戻る。

○令和2年の総括。山入日数 122日、登った山は、460山。両方ともに、未だかつてない年間最多の1年で、不屈の山歩き魂と周りの皆様の暖かい励ましに感謝致します。

○12月26日(土)、27日(日)日本山岳誌以外山口南(15山)。

○12:26 山口南(7山) 晴れ

○(矢筈ヶ岳)8:50~9:50(1:00)林舗道終点より往復。竹林の道進み、城跡碑経て、急坂登ると稜線。まず東へ大岩等経て、進むと矢筈ヶ岳山頂。三角点ある平坦な樹林の中の山頂。山々の眺めあり。稜線分岐に戻り西へ進み、大岩からの展望楽しみ、戻る。

○(石船山)山頂10:45、(右田ヶ岳)同11:15 10:20~12:10(1:50)天徳寺駐車場より往復。駐車場は、車満車で、人気の山。寺の奥の登山口より岩道、岩に掘られた観音様を見ながら登ると石船山山頂。大岩が幾つもある山頂で、眺め良い。下って急坂、岩岩の道を木、岩に掴まりながら登る。分岐より左へ進むとさらに急な坂で、慎重に登り南ノ峰。展望良い。稜線鞍部に下り、急坂の岩道登り進むと右田ヶ岳山頂。三角点あり、大岩が幾つもある広い丘の山頂。人多い。街、瀬戸内、山々の眺め良い。来た急坂を慎重に下り戻る。

○(佐野山)山頂13:35、(りょう巖寺山)同14:00 13:05~14:40(1:35)高速側道登山口より往復。堰堤2つ越え進むと稜線分岐。東へ急坂登り進むと佐野山山頂。かん木、電柱のある丘の山頂。稜線鞍部に戻り西へ。急坂、岩岩の道を進むとりょう巖寺山山頂。三角点あり、かん木、岩のある丘の山頂。山々、瀬戸内の眺めあり。来た道戻る。

○(魚切山)山頂15:55、(狐ヶ峰)同16:45 15:20~17:25(2:05)r200 終点より往復。一里塚のある登山口より、岩の多い道を進むと陶峠。南へ急坂進むと魚切山山頂。かん木の丘の山頂で、瀬戸内、山々の眺め良い。峠へ戻り、北へ稜線登り進む。シダの覆う稜線を足で分けながら、幾つかのピーク経て、進むと狐ヶ峰山頂。かん木、シダの平坦な山頂で、山々の眺めあり。来た稜線を急ぎ足で、峠に戻り、転げるように岩の多い道を明るいうちに戻る。

○12:27 山口南(8山) 晴れ後曇り

○(亀山300m)山頂7:20、(遠下山 250m)同7:35、(梅の木山 200m)同7:45、(火の山 303m)同8:00、(陶二の岳 252m)同8:20、(陶ヶ岳 234m)同8:35 6:50~9:35(2:45)セミナーハウス駐車場より周回。山名、標高表示のある山のみ記載。登山口探しに迷いつつ、テープのある登山口より進む。梯子、ロープ等ある岩の急坂道を淡々と登り進む。岩の崖の分岐を右に周り込み登り進むと稜線。左へ登り進むと亀山山頂。かん木、岩のある丘の山頂。オレンジの朝日、山々の眺め良い。ここから急坂の稜線を下り、遠下山、梅の木山のピーク経て、進むと火の山山頂。三角点、祠あり、山々の眺め良い。さらに稜線を進む。陶二の岳経て、崖の上の山へ登ると陶ヶ岳(旧観音岳)山頂。岩盤の上の平坦な山頂。東側は、絶壁。山々、朝日、街の眺め良い。少し戻り、急坂、つづら折れの道を下り進むと陶ヶ岳登山口駐車場。あとは、山沿いに来たルートを引き返す。クロスカントリーコース経て、戻る。

○(霜降山)山頂10:50、(男山 232m)同11:25 10:25~11:30(1:05) 林舗道終点より往復。ゲート経て、遊歩道進み、下って4差路に出て直進。遊歩道進み、前城。城跡の案内を確認。奥

へ下り、登り返すと霜降山山頂。本城跡で、一等三角点ある樹林の中の平坦な山頂。曇りで、来た道に戻る。4 差路に出て遊歩道登り返すと山の入口案内。そのまま進むと男山山頂。樹林の中の丘の山頂で、山々の眺めあり。そのまま南へ下り戻る。

○12月19日(土)、20(日)山口西、中央4山(6山) これで日本山岳誌の山口県と3600山を踏破。同誌の残りは、中四国の島5山と北海道、九州。距離が遠く、今後の山歩きは、連休以外は、同誌以外の山歩きがメインとなります。

○(天井ヶ岳)山頂10:35、「一位ヶ岳」同12:05 9:50~12:55(3:05)r491峠口より各往復。まず北へと稜線を進む。植林地のロープのある急坂経て、下り、鞍部より、落ち葉の樹林の道を進むと天井ヶ岳山頂。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。来た道戻り、林舗道ゲートより南へ。電波施設の舗道進み、先に山が見えるカーブより山入。樹林の道を下り、鞍部よりロープ付きの急坂を登り進む。終盤で、重装備の女性3人パーティーに挨拶して追い抜きすぐ一位ヶ岳山頂。三角点ある草原の丘の山頂で、海、風力発電、山々の眺め良い。冬風強く、3人に挨拶して、急坂をゆっくり下り、舗道に戻る。

○「白滝山」14:00~45(0:45)林舗道より往復。樹林の中のロープ道進み、林舗道横切り、急坂登ると白滝山山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂。北側に海が見える。風車の風切り音が強烈。林舗道に戻る。

○「狗留孫山」16:05~17:15(1:10)公園駐車場より往復。整備された参道を急ぎ足で登り進み、奥の院の手前より右へ登山道進む。樹林の稜線道進み、階段登ると狗留孫山山頂。二等三角点あり、草原の平らな山頂で、夕日キレイ。南西の海の眺め良い。来た道急ぎ戻る。

○「華山」18:00~10(0:10)車で山頂下まで行き散策。薄暗い中を電波塔の周りを歩き回り、車止めの奥に進むと華山山頂。二等三角点あり、草原の丘の山頂で、三日月、街明かりがキレイ。冬風強くすぐ戻る。

○12:20 山口中央(5山) 晴れ

○(荒滝山)7:30~8:25(0:55)犬ヶ迫登山口より往復。旧人家の前を右へ進む。植林地の道登り、別ルートと合流してつづら折れの道進む。大岩群経て、進むと荒滝山山頂。広場の大岩の上に銅像のある山頂。山々、瀬戸内の眺め良い。朝日が心地よい。大岩の隙間を通過して戻る。

○(鴻ノ峰)9:55~10:20(0:25)林舗道終点の電波塔群より往復。尾根道を登り進むと程なく鴻ノ峰山頂。高嶺城跡の平坦な山頂で、山口市街、山々の眺め良い。来た道戻る。

○(白石山)11:05~12:20(1:15)西側登山口より往復。樹林の道を登り進む。大岩分岐よりトラバース道進み、別ルートと合流。大岩群経て、平坦な大岩の展望地で、眺め楽しむ。稜線を進むと程なく白石山山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂で、山々の眺めあり、蒸気機関車の汽笛音あり。来た道戻る。

○(西目山)13:20~14:35(1:15)r262勝坂登山口より往復。旧人家経て、堰堤2つ越え、沢経て、急坂の岩道登ると稜線。灌木道進み、別ルートと合流し進むと西目山山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂。山々、瀬戸内、防府の街の眺め良い。来た道戻る。

○(大平山)15:20~15:45(0:25)大平公園駐車場より往復。遊歩道進み、公園より、急坂のツツジ園の道を登ると大平山山頂。公園広場の電波塔のある山頂。一等三角点あり、瀬戸内と防府の街、北側に山々の眺め良い。晴れて景観を楽しみ、公園を眺めながら戻る。

○12月11日(金)休み~13日(日)山口東、中央8山(4山)

○12:11 山口東2山「狗留孫くるそ山」11:15~14:10(1:55)晴れ後曇り 法華寺奥より往復。高速の上の橋渡り、中国道側道の登山口。整備された登山道進み、旧奥の院経て、地藏巡りし

て進み、1P の旧山頂表示あり。北側の展望良い。下り登り返すと狗留孫山山頂12:30。二等三角点あり、岩、灌木の丘の山頂。南側集落、山々の眺め良い。来た道戻る。

○「真田ヶ岳」14:35~16:50(2:15)高速荷卸峠の側道登山口より往復。林舗道進み、急坂経て、稜線分岐。西へ急坂稜線登り、幾つかピーク経て、真田ヶ岳山頂15:35。二等三角点あり、小岩ある丘の山頂。山々の眺め良い。曇りで、来た道を分岐に戻り、東へ階段道登り進み、1p。テープのみで、何も表示なく分岐に戻る。20分の浪費。舗道戻る

○12:12 山口東2山(3山)晴れ

○12月12日の(ダツヤ山)は、日本山岳誌以外の山です。

○「ダツヤ山」6:45~9:25(2:40)大規模林舗道登山口より往復。2つの堰堤経て、溪流岩の狭い沢沿いの道を辿る。テープ、補助ロープに助けられながら慎重にルートを探して通過。上流の河原に出て、テープ等辿り、沢を詰めるルート。沢終りより左岸に出て、急坂、笹道を木、笹等に掴まりながらよじ登る。両側笹道を進み、さらに笹のトンネル経て、ダツヤ山山頂8:15。樹林、背丈以上の笹藪の中刈られた丘の山頂8:15。一等三角点あり、朝日あり、小鳥の声のみで、静か。ダツヤ谷ルート以外に別ルート(笹トンネルの)あり。来た道を急坂、岩の沢沿い道を慎重に通過し戻る。

○「東鳳ベン山」山頂10:30、(西鳳ベン山)同12:25 9:55~13:55(4:00)地蔵峠より各往復。東へ階段等の自然歩道進み、広場経て、急坂階段道登ると東鳳ベン山山頂。360度パノラマの山頂で霞む中ながら山々の眺め良い。来た道を峠に戻り、西へ。冬イチゴ楽しみつつ、急坂登り進み1p。幾つかのピーク経て、林舗道に出て、登り進む。終点が電波塔群で、その奥に進むと西鳳ベン山山頂。三角点あり、岩、灌木、草地の山頂。山々の眺めあり、風強い。来た道を淡々と戻る。

○「男岳」山頂15:45、(雌岳)同16:40 14:55~16:40(1:45)砂利林道登山口より往復。沢沿いの道をテープ辿り登り進み稜線分岐。東へ植林地の稜線を進む。笹が現れ、旧小屋のある別ルートと合流。さらに笹道を分けて進み、濃くなり、笹トンネル経て男岳山頂。三角点あり、樹林、背丈以上の笹藪の中刈り払いされた丘の山頂。来た道を分岐に戻り、西へ稜線の小茨道進むと雌岳山頂。樹林の丘の山頂。夕日キレイ。別の山への分岐。稜線を分岐に戻り、下山。

○12:13 山口中央4山(1山)曇りのち晴れ

○「桂木山」6:30~8:25(1:55)晴れ 白糸の滝公園より往復。林舗道進み、分岐より右へ。沢沿いの道進み、植林地登る。日本千山の表示あり。稜線に出て、樹林帯を進み、急坂階段道登ると桂木山山頂。二等三角点あり、社のある、丘の山頂。オレンジ色の朝日がキレイ。山々、秋吉台の眺め良い。来た道戻る。

○「花尾山」9:50~11:15(1:25)南の別府登山口より往復。砂利林道を車で、登山口まで入る。作業道、登山道を幾つか経て、急坂ロープ道登り踊場。さらにロープのある急坂道進むと別ルートと合流。稜線を西へと進み、他のルートと合流。さらなる急坂経て、草原の丘の花尾山山頂。一等三角点あり、社あり、山々の眺め良い。来た道をロープ急坂は慎重に下り戻る。

○「雁飛山」12:00~13:50(1:50)北側の林道5差路口より往復。作業道経て、沢沿いの道進み、ロープある急坂をゆっくり登り進む。支尾根経て、稜線に出て、さらに急坂登ると雁飛山山頂12:50。石灰岩のある丘の山頂。二等三角点あり、陽光ある曇りながら、山々、集落の眺め良い。来た道を急坂は慎重に下り戻る。

○「龍護峰」山頂15:20、(御鉢山)15:35 14:30~16:10(1:40)旅行村より往復。整備された公園を抜けて、登山口の遊歩道進む。樹林帯抜けて、すすきの草原のの草原の道を軽快に登り

進み稜線分岐。西へ稜線を進むと程なく龍護峰山頂。二等三角点あり、すすきの草原の平坦な山頂。石灰岩あり、360度のパノラマ。晴れて今シーズン最後の小春日よりを楽しむ。分岐に戻り、東へ進むとすぐ御鉢山山頂。草原の石灰岩の丘の山頂。風心地よい。三差路に戻り、夕日に自分の影をすすきの原に映しつつ、遙か先までの大草原を満喫して戻る。

この3日間、天候に恵まれ、晩秋の山を満喫。一等、二等三角点に幾つもの登れて大満足の山歩きでした。

○12月5(土)、6(日)山口北2山(5山)

○12:5 (飯ヶ岳)8:35~10:25(1:50)晴れ r315の峠登山口より往復。旧作業道進み、植林地のトラバース進む。両側笹の直登急斜面のロープ道、踊場を繰り返して登り進み別ルートと合流し稜線進むと飯ヶ岳山頂9:30。笹、疎らな樹林の丘の山頂。北、南側は、山々の眺め良い。朝日、青空、風が心地良い。来た急坂を慎重に下り戻る。

○「大蔵ヶ岳」11:20~13:55(2:35)神社口より往復。旧道進み、沢沿いの道をテープ等頼りに登り進む。沢終点で左岸に取りつき、登り進むと大岩の下の神社。参拝し、手前の笹道をかき分け登り進む、左に大展望岩案内あり進むと大きな岩の上のひろい展望地で、煙りをはく蒸気機関車、集落、山々の大展望を大いに楽しむ。本道に戻り、笹をかき分け登り進む。稜線に出て一部刈り払いがあるが、笹をかき分け奥に進むと大蔵ヶ岳山頂。二等三角点あり、低い大岩盤のある丘の山頂。笹、樹林の中、晴天、木漏れ日、風に山の楽しみを感じる。来た急坂、笹道を慎重に下り、沢筋を確認しながら戻る。

○(高山)山頂15:35、(行者様)同16:10 15:20~16:35(1:15)林舗道終点より散策、往復。階段道を登ると展望台。電波塔あるの丘の山頂で、山々、海岸線の眺め良い。林道に下り、トイレ脇の階段進むと、公園広場。上に一等三角点、天測点あり。林道を歩き車に戻り、少し移動し、電波塔のカーブ地より樹林の中を下り、登り返して行者堂。参拝し、テープを上へ辿ると行者様山頂。大岩、樹林の稜線の山頂。静か。来た道戻る。

○12:6「黒獅子山」7:55~11:10(3:15)登山道不明で、集落の端から周回。作業道からゲート経て、旧作業道進み、堰堤の右側の旧道を辿る。境界杭等を辿り、尾根をあちこち歩き、奥の高い稜線を目指す。急坂尾根末端より街の眺め確認し、進むと、遙か奥に目指す山らしき見え、尾根をけもの道、境界杭等頼りに南へアップダウンしながら小藪を分けて進み、旧本道と合流し、稜線進む、急坂経て、東からの本道と合流。そのまま稜線進むと黒獅子山山頂9:45。三角点あり、山口百名山。曇りながら陽光あり、樹林の丘の山頂。山々、集落の眺めあり。来た道戻り、東側へのピンクテープの多い本道に迷い込み、引き返し、急坂の旧本道を辿り下る。樹林の中、沢沿いの道、林道等経て、ゲート経て、集落の舗道に出て北上し戻る。

○(権現山)12:35~13:10(0:35)登山口駐車場より往復。獣ゲート経て、整備された階段道等登り進むと金峯神社、さらに奥に進むと権現山山頂。一等三角点あり、樹林の中の平坦な山頂。風、小鳥の声あり。来た道戻り、神社参拝し、展望地より、萩の街、海岸線、山々の眺め楽しむ。来た道戻る。

○(石ヶ岳)16:20~17:05(0:45)林舗道終点電波塔群より往復。電波塔の周りを探索し、1pの笹藪も踏んだが、三角点見つからず、タブレットで再確認。少し先の模様。電波塔奥よりピンクテープ辿り、笹藪分けて進む。ピンクテープ最後の北側へ笹藪分け進むと旧作業道で、ピンクテープが続く。茨を避けつつ、下ると下に林道見える。林道に下り、林道を北上する。進むと右へピンクテープ案内。平坦地経て、奥の笹道分けて進むと石ヶ岳山頂。奥の最高点の岩岩確認。一等三角点、樹林、笹の丘の山頂。夕日キレイ。山々の眺めあり、静か。来た笹道等確認しながら

戻る。

○11月28日(土)、29(日)日本山岳誌以外 岡山西(2山)、広島東、南(6山)

○11:28 岡山西(2山)、広島東(2山) 晴れ

○(木野山)9:20~30(0:10)林舗道終点の木野神社奥社の西奥テープ辿り、竹林経てすぐ山頂。三角点あり、樹林の平坦な山頂。朝日が気持ち良い。

○(祇園山)10:40~11:00(0:20)祇園寺奥駐車場より往復。作業道進み、小藪分け坂を登ると山頂。無線局、石仏ある樹林の丘の山頂。曇りで、静か。

○(三原竜王山)山頂14:55、(大峰山:高羽山)同16:55 14:00~18:00(4:00)八坂峠よりそれぞれ往復。縦走路の一部を歩く。まず東へ、階段等の整備された自然舗道をアップダウンしながら進み、急坂、展望台経て、竜王山山頂。一等三角点、旧展望台ある樹林の丘の山頂。風あり、静か。帰路展望台より山々、瀬戸内の眺め楽しみ、八坂峠へ戻る15:50。次に西へトライ。自然歩道の道を淡々とアップダウンしながら進み、急坂経て、進むと大峰山山頂。三角点あり、樹林の平坦な山頂。風、車音のみで静か。樹間より夕焼けがキレイ。夕暮れで、急ぎ足で来た道戻る。途中薄暗くなるも、円い月明かりに助けられながら、ライト点けないナイトハイクを慎重に楽しみ、車のライトが眩しい八坂峠へ暗い中戻る。

○11:29 広島南(4山)晴れ

○(野登呂山)7:25~9:10(1:45)林舗道手前の登山口より往復。作業道から案内を頼りに池の脇を通過しトラロープの急坂をゆっくり登る。テープ等に助けられ、樹林の急坂登り進むと刈り払いされた丘に出てすぐ山頂。一等三角点、天測点のある整備された丘の山頂。南東側瀬戸内の島々、山々、街の眺め良い。奥に別ルートあり。来た急坂道を慎重に下り、戻る。登山口近くで冬イチゴ楽しむ。

○(一峰寺山)11:55~12:25(0:30)ミカン畑の林舗道終点手前のトイレ登山口よりより周回。荒れた遊歩道進むと直ぐ山頂。神社のある丘の山頂。一等三角点あり、海、島の眺めあり。いろはもみじの紅葉が見頃。神社参拝し東へ下り、展望台より、島、海、山の大展望を楽しみ、林舗道終点より舗道に戻る。

○(七国見山)13:20~15:10(1:50)ウオーキングセンター登山口より往復。少し荒れた道の急坂経て、観音像。階段道登りつつ焼けた森林に驚きながら進み、上の像と岩の展望地。さらに急坂経て、階段道進むと稜線。西へ樹林の道進むと七国見山山頂14:15。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。展望台より海の眺め良い。来た道戻る。展望地より海岸線、海の眺めを満喫し戻る。

○(大平山)15:45~16:15(0:30)公園駐車場より散策。坂登ると砲台跡の桜のある平坦な山頂。瀬戸内、四国、島の眺め楽しむ。

○11月21日~24日九州遠征 その2

○11:23 宮崎北3山(1山) 晴れ

○(丸山)山頂8:15、「本谷山」山頂9:30、「笠松山」同10:35 7:15~14:00(6:45) 尾平越登山口より往復。整備された登山道を登り進み、縦走路に出て東へ進むとすぐ縦走路中間点の水場。樹林保護のフェンスを開閉して急坂を登ると丸山山頂。三角点あり、樹林の平坦な山頂。晴れて山々の眺め良い。東へさらに稜線を下り進む。小笹道でズボン濡らしながら進む。馬酔木の多い稜線を進み、急坂登ると本谷山山頂。三角点あり、疎ら樹林の丘の山頂。曇りの天気。さらに東へ稜線を下り気味に進む。稜線の先に小山あり、それが笠松山山頂。三角点あり、東側

絶壁の丘の山頂。さらに東へ稜線を進むと笠松山最高点の急峻の岩山。来た道戻る。縦走中間点で、小春日よりの中、ゆっくり食事を楽しみ、最高の一時を満喫して戻る。

○「ニツ岳」15:00~17:45(2:45) 西側林道登山口より約600m の標高差を往復。すすきの道を分けながら進むも堰堤で、道不明に。右側の岩カゴを登り、イバラに苦戦。さらにすすきの藪を分け、急坂登り進むと急坂の支尾根。獣道辿り、イバラに注意し、倒木を避け、上へ上へと周りの樹林帯を見つつ登り、砂利林道出会う。この先、本道も不明。やむ無くコンクリ崖の急斜面沿いに西へ進み、よじ登れるところより取りつく。急坂を進み、大岩壁に出ても、行けそうなところを探り、岩に張りつくように上へ進む。岩壁抜け、かん木帯も這うようにリュックを拒まれつつも、登り進み、尾根筋に出る。西から東へ登ると程なくニツ岳山頂。三角点、小岩、かん木の丘の山頂 16:40。集落、山々の眺め良い。奥にもう1山あり。登山道不明で、やむ無く東側へ進むとピンクテープあり。本道に出会い落ち着く。その本道の急坂を下り、煤市林道登山口に出る。そこから先も、不明。まだ、出会ってない本道を探して林道を北へ下ると登山口表示に出会い、その道を下る。植林地のつづら折れ道で、歩き易いので一気に堰堤近くまで下り、最後また、道不明で、イバラを経て、見覚えのある林道に出て安堵。半月の明るさに助けられ、薄暮に無事戻る。

○11:24 大分北2山。晴れ

○「内山」山頂8:35、「伽藍岳」同9:50 7:00~10:40(3:40) 塚原温泉口より往復。広い作業道進み、塚原越。まず南へと尾根稜線を進む。痩せ尾根、ロープの急坂進み、その先はなだらかな道。急坂経て、岩、すすきの平坦地を奥へと進み、内山山頂。かん木、岩、すすきの丘の山頂。途中、別府市街と海の眺め良い。晴れて山々の眺め良い。稜線を急坂、やせ尾根を慎重に下り塚原越に戻る。そのまま西へとすすきの道を分けて進むと伽藍岳山頂。二等三角点あり、疎らんかん木、すすき、溶岩の丘の山頂。別府湾の眺め良い。来た道戻る。昨日の山歩きで、膝が笑う状況で、今回はここまで。

○11月21日(土)~24日(火)大分、宮崎9山(4山) その1

○11:21 大分南2山 晴れ

○「仙崎山」14:55~15:35(0:40)自然公園より往復。公園奥より進み、砲台跡経て、遊歩道進むと仙崎山山頂。三角点あり、東屋、ベンチのある樹林の中の丘の山頂。海の眺めあり。来た遊歩道戻る。

○「元越山」16:35~19:15(2:40) 北側登山口より往復。遅くなったが、トライ。岩が削られた溝の登山道を展望所2か所経て進む。林道

経て、樹林の稜線尾根を進むと元越山山頂17:50。一等三角点、日没後の夕焼け、半月、佐伯の街、海の眺め良い。草原の平坦な山頂で、風、天測点、祠あり。ライトを点けて来た道を確認しながら戻る。

○11:22 宮崎北2山(3山) 曇り

○(烏帽子岳)山頂9:30、「可愛(えの)岳」同10:25、「ひべら山(197m)」同12:00 7:35~12:35(5:00) 西郷隆盛宿陣跡駐車場より往復。記念館脇の北側登山道を登り、岩の削られた登山道、ガレバ道を斜め西へ進む。林道と出会うも右左を行ったり来たりで、30分のロス後に来た道の赤テープと同じ赤テープをすぐ向かいに確認し、再び登山道を登り進むと烏帽子岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。南に展望地あり、川、集落、海山の眺め良い。朝日あり、雲多い。小鳥の声聞こえ静か。さらに西へとトラバ道を進み、前屋敷経て急坂を登り、岩稜の稜線。鉾岩等の大岩等を慎重に進み、最奥が、可愛岳山頂。三角点あり、小岩の丘の山頂。南側延岡市街、海、北側大崩山等の山々の眺め良い。静か。鉾岩、前屋敷経て、分岐を南登山道へ下る。整備

された登山道で、途中、ガレバ、岩のトラバース道経て、後はなだらかな道を下る。途中、ひべら山の表示の山頂を確認して戻る。

○「行滕:むかばき山」山頂15:05、(同雌岳)同16:50 13:40~18:15(4:35) 林舗道終点登山口より往復。沢沿いの登山道を登り、神社ルートと合流し進む。木橋を2カ所通過し、整備された登山道を登り峠。下って、丸太橋を渡り、なだらかな沢沿いの道を進む。植林地等の中を進み、急坂登ると行滕山山頂。大きな岩の上の山頂。集落、街、海山の眺め良い。二等三角点あり。来た道を峠経て、下り、すぐ雌岳分岐。時間不明だが、トライ。急坂の岩場登り進み、幾つかの小尾根をトラバース気味に進む。道が不明瞭だが、とりあえず進む。稜線末端に出て眺めも良くなり、淡々と急坂、大岩の稜線を進むが時間がかかる。なんとか雌岳に到着。樹林の丘の山頂で、北側に展望有り。夕闇迫り、急ぎ足で、戻りへ。稜線末端経て、滝が見えて、方向を再確認。トラバース道に出ると、夕闇で、道不明。ライト点けて来た方向へ下り進む。大岩等有り、慎重に下り進む。しばらく進むと本道に出会い安堵。パラ雨の中、道を確認しながら、2つの木橋、分岐経て、戻る。

○11月15(日)晴れ 日本山岳誌以外兵庫中央(2山)

○(荒地山)山頂9:20、(鷹取山)同10:35 7:25~11:30(4:05)阪急芦屋川駅より往復。閑静な住宅地を抜け山入。整備された登山道を登り進む。1pの展望地、工事中の鉄塔地経て2p。山が現れ一旦下り、岩の道を登り、急坂の大きな岩稜、大岩の下の潜り抜けをリュックを外して通過し、岩稜帯経て別道と合流し進むと(荒地山)山頂。樹林の中の平坦な山頂。山々の眺め、晴天を楽しむ。登山者数名。来た道を淡々と戻る。幾つかピーク経て、表示のある(鷹取山)山頂。岩の上の山頂で芦有道路、建物群、山々の眺め良い。登りの登山者が多いことに驚きつつ、街に出て公園で食事後駅に戻る。

○11月8日(日)晴れ 日本山日誌以外兵庫淡路(1山)

○(柏原山)16:35~17:05(0:30)林舗道終点登山口より往復。地元の方に林道を教えてもらい感謝。北展望台経て急坂の稜線進むと間もなく、柏原山山頂。樹林の中の平坦な山頂で二等三角点あり、夕日がキレイ。風あり、展望台で淡路市街の眺め確認し戻る。チャレンジ支援後の山歩き

○10月31(土)~11月3日(火)連休の九州遠征その2

○11:3 大分南2山 曇りのち晴れ

○「樞牟礼山」5:55~7:00(1:05)山村公園駐車場より往復。林舗道終点の階段道を進み、広場に出てピンクテープを辿る。尾根、掘り割り等から急坂登り、別の尾根。さらに急坂登り、城跡まで200mの表示。二の丸経て進むと城跡本丸の樞牟礼山山頂。神社のある平坦な山頂。円い月、虫の音、風に山の朝を感じて、急坂は慎重に下山。

○「彦岳」7:45~8:45(1:00)林舗道三差路口より作業道進み、東からの本道に合流。距離表示に助けられながら、登り進むと神社。参拝し北の端に彦岳山頂。草原の樹木疎らな丘の山頂。二等三角点あり、晴れて山々、海、朝日を楽しむ。風強し。森を楽しみながら戻る。今回の遠征は、ここまで。

○11:2 雨 大分南3山(1山)

○「御嶽山」6:35~7:05(0:30)神社鳥居口より往復。コンクリ参道、石段を登り神社。さらに奥に進むと急斜面の岩。鎖あり、2段の岩壁を登り進むと御嶽山山頂。岩稜のピークで曇りながら山々、雲海の眺め良い。岩壁を慎重に下り戻る。

○「はい楯山」9:25~30(0:05)車で林舗道を山頂まで。電波塔群の丘の山頂で白い世界。一

等三角点あり。雨

○(石峠山)10:10~20(0:10)林舗道終点の九州電力中継所の周囲を反時計回りに進み、石峠山山頂。樹林の丘の山頂で三角点あり。雨で絶壁のフェンス周りを慎重に戻る。

○「尺間山」12:15~13:20(1:05)神社第二駐車場より往復。コンクリ参道を登り、中腹を反時計回りに進み、長い石段。数を数えながらゆっくり登り、展望台。雨で見えず、先へと進み、尺間神社が山頂。雨の中、周囲を確認し石段は慎重に下り戻る。

○10月31日(土)~11月3日(火) 大分南 その1

○11:1 大分南2山(2山) 晴れ後曇り

○「障子岳」山頂8:45、「古祖母山」同9:45、(親父岳:1644m)同11:15、(天狗岩:約1640m)同12:30 3:55~15:30(11:35)第一駐車場より往復。時間の制約で暗い中、満月に助けられつつ、ライトつけて出発。林舗道進むとすぐ祖母山登山口。沢沿いに登り進み、急坂経て、明るくなり、国観峠。急坂の掘られた道を登り2度目の祖母山山頂。朝日出て、風が強い。南の稜線へ。出だしが急坂ロープで慎重に下る。その先は、大岩峰群で、梯子5つを慎重に下り一息。枯れ竹道を下り、平地となり、淡々と稜線をアップダウンし、進む。天狗岩は、スルーし、先へ。鞍部の草地で一休みし、急坂を登り進むと障子岳山頂。岩のある丘の山頂で、山々、集落の眺め良い。東へトラバース道から稜線を下り進む。幾つかピーク経て進むと古祖母山山頂。三角点あり、岩のある平坦な山頂。山々、集落の眺めあり。稜線を進むと曇りとなり風も出てきた。障子岳は、登山者おり、すぐ西へと次を目指す。稜線を下り、鞍部の碑跡より急坂登り進むと(親父岳)山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で白い世界。稜線を障子岳経て北へ稜線進む。行きにスルーした天狗へ。急坂登り、最高点。先へ大岩峰の痩せ尾根を慎重に通過し(天狗岩)山頂。三方絶壁の山頂。慎重に痩せ尾根経て稜線に戻る。急坂、大岩峰の梯子経て、祖母山に戻ると大勢の登山者。すぐ下山。登りに見れなかった紅葉、滝、溪流を楽しみ、意外に早く戻る。

○10:31 大分南2山(2山) 晴れ

○「緩木山」山頂14:25、(高城:1060m)同15:00、(長尾山:1106m)同15:45、「越敷岳」同16:25 13:20~17:40(4:20)麓の林舗道より周回。林舗道を東へ進み、登山口より山入。樹林の中を登り進み、分岐より東へ登ると緩木山山頂。城跡の平坦な山頂、三角点あり、紅葉、山々の眺め良い。分岐に戻り尾根稜線進むと(高城)山頂。稜線の樹林の丘の山頂で木漏れ日良い。稜線を下り、登り進むと祖母山への稜線。西へ1p 経て稜線をすすきの中を下り進む。樹林帯となり進むと(長尾山)山頂。三角点のある稜線のピーク。先へ下り進み、下山道の三差路経て登り返し大岩峰。時計回りに登り進み、越敷岳山頂。大岩の上の平坦な山頂。祠あり、夕日、山々、集落の眺め良い。三差路に出て下山道を下り、越敷登山口。あとは、林舗道を探しながら下り戻る。

○10月25(日)鳥取西(5山) 晴れ 日本山岳誌以外

○(古峠山)8:40~50(0:10)林舗道終点よりすぐ山頂。電波塔群の丘の山頂。三角点あり、朝日、晴天、山々の眺め良い。

○(明神山:粟島神社)9:45~10:05(0:20)神社の山を周回。参道より石段を登り、神社の山頂。参拝、散策し南側より下り戻る。

○(湊山)10:15~11:20(1:05)公園近くの駐車場より往復。遊歩道より中海のボート練習眺めながら散策し、城跡への登山口。整備された階段道を進み、石垣を巡るように進み(湊山)山頂。米子城跡本丸の山頂で三角点あり、海、山、街の眺め良い。地元の家族連れ多い。来た道の途中から中海展望台経て戻る。

○(馬ノ山)12:50~13:00(0:10)展望台駐車場よりすぐ山頂。二等三角点、橋津10号古墳の丘の山頂。海、山、街の眺め良い。晴れで、風が心地良い。

○(長尾鼻)13:30~14:40(1:10)青谷浄化センターより往復。作業道を進み、ピークを探す。上へ進むと果樹園等畑地で、奥へ進むも作業道は、下りで、引き返し途中より踏み跡らしきを辿る。茨に苦戦しながらも、2度周回して山頂を確認。一等三角点の平坦な草藪樹林の山頂。畑地等巡りながら戻る。

○九州遠征 その2 10月17日(土)、18日(日)

○10:17 大分南3山(2山) 雨のち曇り

○「三宅山」13:50~14:00(0:10) 曇り 車で林舗道終点。電波塔へコンクリ道登ると三宅山山頂。祠、三角点ある丘の山頂。

○(烏帽子岳:豊後大野)山頂15:25、「鎧ヶ岳」同15:55 15:10~16:30(1:20) 晴れ 烏帽子岳登山口より往復。南舗道より整備された道を登り進むと稜線三差路。東へ登ると烏帽子岳山頂。樹林の丘の山頂。北側に展望あり。三差路に戻り、西の稜線へ。岩、鎖を経て1p、下り、平坦道、岩、鎖道経て「鎧ヶ岳」山頂。稜線の樹林の丘の山頂で、時折陽光あり。大分市の最高峰。来た道を森歩きを楽しみつつ、戻る。

○「御座ヶ岳」17:05~25(0:20)南側登山口より往復。急坂登り、進むと御座ヶ岳山頂。一等三角点、樹林の丘の山頂。夕日、風、虫の音あり。すぐ下山。

○(雲ヶ背岳)17:30~40(0:10) 林舗道終点が電波塔ある山頂。散策し樹林の中に山頂を確認。

○10:18 大分南1山(1山) 曇り「障子岳」山頂6:05(宇曾山)同6:40 5:40~7:40(2:00)南舗道登山口より往復。時間の制約で明かり着けて出発。植林地の坂を登り進むと障子岳山頂。樹林の丘の山頂、三角点あり、街の明かりキレイ。先へ北側の稜線の急坂下り、鞍部より時計回りに登り進むとコンクリ参道。神社参拝し、奥に登り進み、奥社の宇曾山山頂。参拝し、街、山の眺めを楽しむ。来た道を森を楽しみながら戻る。今回の遠征は、ここまで。

○10月15(木)、16(金) 休み取り、九州遠征 17(土)雨のため待機。その1(??)

○10:15 熊本北3山(1山)「大津山」12:35~13:25(0:50)公園駐車場より往復。公園の階段道進み、トラバ道経て神社からの道と合流して整備された階段道登ると大津山山頂。三角点あり。城跡の平坦な山頂。街の眺め良い。来た道戻る。

○「尾ノ岳」15:45~16:05(0:20)r12県境峠より往復。札登山口表示より、草道かき分け進み尾ノ岳山頂。一等三角点、草原の平坦な山頂。陽光、虫の音に秋を楽しむ。来た道戻る。捨て犬に吠えられ苦戦。

○(ツームシ山)山頂17:10、「鞍岳」山頂17:45 16:50~18:15(1:25) ツームシ登山口ゲートより周回。刈払いされた道を進み、北へ登り分岐経て稜線。東へ進み、防火帯の急坂を進むとツームシ山山頂。三角点あり、草原、かん木の丘の山頂。稜線に戻り、西へ林道分岐を確認して進む。急坂を進むと「鞍岳」山頂。二等三角点、岩のある丘の山頂。夕焼け、山々、街の眺め良い。来た道戻る。女岳は、途中で薄暗くなり、断念。林道分岐より南へ下り、林舗道に出て東へ下り薄暮に戻る。

○10:16 熊本東阿蘇3山(2山) 曇り

○「杵島岳」山頂7:15、(駒立山)同8:25、「烏帽子岳」同9:10、「中岳」同12:10 6:30~14:55(8:25)、古坊中より、周回、往復。r111を北へ進み、ヘリポート基地より遊歩道を進む。1p 経て古御池火口群分岐経て小道の登山道を進む。急坂草原の道を登り進むと「杵島岳」山頂。草

原の平坦な山頂で、阿蘇連山、噴煙、雲の眺め良い。旧火口を周回し、コンクリ、階段道を下り登山口。遊歩道を進み、草千里に出て観光馬を見つつ、草原を進むと(駒立山)山頂。境界杭ある丘の山頂。阿蘇の代表的な景観(山々、草原)を楽しむ。草原を北へ横切り、西尾根稜線。馬用ゲート経て細い階段等の道を進む。別ルートと合流しすぐ烏帽子岳山頂。一等三角点、阿蘇連山、草原、麓の街の眺め良い。登山者2人に挨拶し、合流点より東の尾根へ。草原への分岐経て、草の覆う道を進み、r111に出て遊歩道を進む。ヘリポートからも遊歩道進み、古坊中の駐車地に戻る。一休みし本命の中岳へ向かう。遊歩道を東へ登り進み、ドライブイン経て同じ遊歩道を進む。中岳登山口に出て、木道進み、砂千里経て支稜線。アップダウンして、鞍部より急坂の岩道を登り進むと山頂稜線。アップダウンして進むと「中岳」山頂。溶岩の丘の山頂で、山々、街の眺め良い。北へ稜線を登り進むと2度目の高岳山頂。景観を楽しみ、来た道戻る。途中、砂千里は、まるで月に来たみたい。疲れた足にて無事戻る。

○10月11(日)日本山岳誌以外 岡山東(2山)

○(山形仙)10:45~12:20(1:35)声ケタワより往復。縦走路稜線歩きで3段の坂を登り進むと(山形仙)山頂。稜線樹林のピークで晴れて心地好い。西の先へと進むと反射板と三角点のピークで山々の景観を楽しむ。山頂で昼食のパーティに挨拶し、ほか幾組かに挨拶して連峰の眺めを楽しみつつ戻る。

○(矢筈山)13:00~15:15(2:15)JR 美作河井駅より往復。線路下を抜け西へ線路沿いに進み本道出合い。若杉神社を参拝して沢沿いの植林地道をアップダウンしながら進む。山腹から稜線尾根に出て急坂つづら折れ道から直登となり登ると山頂稜線となり、眺めが良くなる。城跡の郭等を確認しながら進み別ルートと合流し進むと(矢筈山)山頂。本丸跡の樹木疎らな平坦な山頂。三角点あり、山々、集落の眺め良い。来た道を確認しながら、軽快に戻る。

○10月4日(日)日本山岳誌以外 三重北(1山)曇り

○(焼尾山)鞍掛峠より例会の山歩きに立ち寄る。9:30~14:45(5:15)コグルミ谷登山口より御池岳、鈴北岳経て鞍掛峠。北へ急坂の稜線進み、三国岳分岐より東へ支稜線進むと(焼尾山)山頂(14:25)。シャクナゲ等樹林の丘の山頂。白い世界でバイク音あり。峠経て樹林帯を下り、トンネル東口駐車地に戻る。

○9/19(土)~9/22(火)九州遠征大分西、熊本東 12山(11山)これで3500名山踏破 [その2]  
前回補記○9/20 大分西 4山(1山)

○9/21 大分西2山(1山)晴れ

○「黒岳本峰:高塚山山頂 9:45、前岳同 8:00 6:10~12:45(6:35)南の山荘口より往復。今回遠征のハイライト。落ち枝等で道がわからない坂を登り山荘分岐。あとは、岩々等の道を登り進み、シャクナゲ公園。大岩からの展望がよい。ここから大岩とシャクナゲの樹林帯を進む。途中テープなどの道を失い、ゴツゴツ大岩とシャクナゲの中を放浪。冷静に高度確認すると前岳の標高。尾根らしきを進ると本道に合流しすぐ(前岳)山頂。岩と灌木の稜線のピークで展望あり。先へ稜線をテープ等見失わないようゆっくり進む。大岩・急坂経て上台ウツシの鞍部。さらに急坂を登り進む。幾つかのピーク経て進み、なだらかとなり進むと「高塚山」山頂。小岩・灌木の丘の山頂。近くの山々・集落、遠くの海岸線・街の眺めあり、好天。来た道戻る、途中、登山者二組に会い挨拶。2組とも山頂からは先に周回するとのこと。紛失した帽子の所在を教えていただき感謝。前岳経て道を失った地点を大岩の絶壁道等経て下り、シャクナゲ公園で安堵。あとは、急坂を淡々と下り戻る。登りも・下りもあまり時間的に変わらず、かなりタフなルート。

○「花牟礼山」13:55~16:50(2:55)林舗道途中より往復。舗道進み、終点より草地道。坂を登

り林道に出会い、つづら折れのなだらかな道進む。そのピークより植林尾根に入る。急坂を登り進みなだらかとなり、隣の別山分岐経て奥に進むと「花牟礼山」山頂 15:25。灌木・丘の山頂で、霊峰碑あり。晴れて静か。来た道を淡々と戻る。元牧場の舗道にまだ早い、アケビが鈴なり。

○9/22 熊本東2山(3山)曇りのち晴れ

○「根子岳東峰」6:05~8:40(2:35)南登山口より往復。牧場ゲート経て舗道進み登山口。牧場を通り、植林地へのゲート。牛も登る土道は固められ、滑りやすく、急坂・ロープ道を上へ。大岩経て痩せ尾根で、雨ぱらつき、風もあり、上に雨具付け痩せ尾根をゆっくり進み、根子岳東峰山頂 7:30。二等三角点、周り絶壁の灌木・岩のある山頂。時折太陽が顔出すが、風が強い青空も見える。来た急坂道を滑らないよう慎重に下り戻る。登山口近くで2組の登山者に挨拶。

○「大矢野岳」山頂 11:15(冠ヶ岳)山頂 13:50 10:20~15:20(5:00)地蔵峠下の駐車場より周回。木階段道登り地蔵峠。ここから稜線を東へ。1P経て、2P目が(大矢野岳山頂 10:50

三角点あり、阿蘇連山等の山々、街の眺めが良い草地丘の山頂。先へ稜線を東に進み「大矢野岳」山頂。樹林の中の丘のピークで、阿蘇南外輪山の最高峰。地元の方と山話。来た道戻り地蔵峠より稜線を西へ。舗道経ての登り返し、樹林の中を淡々と進む。途中でテープあり、方向を北へ辿ると笹藪の中に(番台ヶ原)山頂。三角点あり、平坦な笹藪の中の山頂。本道に戻り、稜線道進み、縦走路より左に曲がり、幾つかの峰を経て進むと(冠ヶ岳)山頂。二等三角点、草原の丘の山頂。山々・街の眺め良い。天候は曇り、来た道を疲れた体を労わるようにゆっくり進み戻る。○今回の遠征は、かなり疲労も嵩みここまで。

○9/19(土)~9/22(火)九州遠征大分西、熊本東12山(11山)これで3500名山踏破 [その1]

○9/19 大分西4山(6山)「宝生山」山頂 9:05「中岳」同 10:30「稲星山」同 11:00「三俣山(本峰)」同 14:45 7:15~17:55(10:40)牧ノ戸峠より九重連山を大周回。晴れのち曇り

○牧ノ戸峠よりコンクリ坂道登り、稜線を進むと(沓掛山)山頂。大岩の稜線のピークで眺め良い。稜線を下り、ゆっくり登り返して進むと分岐で、右に支尾根を進むと(扇ヶ鼻)山頂。大岩のある平坦な山頂。眺め良い。稜線に戻り、東へ進み、左への分岐より急坂登り北の稜線に出るとすぐ「宝生山」山頂。岩々の丘の山頂で、曇りながら山々・集落の眺め良い。その稜線を東へ向かい、特徴的な溶岩の大岩の岩稜帯を慎重に進み、工事中の避難小屋へ下り、久住別れ。稜線を東へ進みすぐ北側への分岐で中岳を目指す。途中より大きな岩々の山あり、そちらへ急坂登り進み(天狗ヶ城)山頂。草地の丘の山頂。九重連山の山々が一望でき満足。晴れて静か。東へ稜線進むと間もなく「中岳」九州で一番高い山(屋久島の山除く)。岩々の丘の山頂。山々の眺め良い。南への急坂の稜線を慎重に下る(登り人々に挨拶するが、キツそう)。鞍部より登り返し「稲星山」山頂。岩々の丘の山頂。雲が湧き出し、虫も多い。別ルート(久住)からの道を登ってきた人に挨拶。先へ稜線を南へ。途中から東へと狭い灌木道を足元を気にしながら下り、鞍部分岐より半時計回りで細い道登り進むと(白口岳)山頂。岩ある平坦な山頂。坊ガツル・大船山等九重の山々、集落の眺め良い。静か、一休み。ここが連山の東の端で戻る。稜線を稲星山経て西へ下り、鞍部で湧き水に出会い息を吹き返す。急坂をゆっくり登り稜線進むと2度目の久住山 12:50。一等三角点、人多い。北へと下り、久住別れより北へ沢沿いに、岩々道を慎重に下り。草原の岩々道経て平坦砂地。小川あり、坊ガツルからのルートと合流し三俣への入り口。岩々道登り、峠が三俣山登山口。泥炭・岩々の道をトラバース気味に北へ登り進む。トレランの人を見かけ出す。1Pは、山腹の道進み、先に見える山を目指す。稜線に出て分岐より右へ進み、2Pが、IV峰で、目指した南峰ではない。やむなく分岐より西へ進み程なく三俣山本峰山頂。三角点あり、草地に石積みのある平坦な山頂。山々・集落の眺め良い。ここで、トレランの外国の女性2人が歓

声を上げながら山頂に飛び込んできた。挨拶し話聞くと沢山の山を駆けてきたとのこと。2人がこちらに来る前に北側のピークより来たのでこちらへ向かう。灌木道を下り、樹木のトンネルを登り返すと、何と(三俣山南峰)山頂。丘の平坦な山頂。来た道戻り、途中、北峰分岐を確認して鞍部に下り、稜線分岐へとショートカットし、来た道下る。途中、パスした山へ登り返すとそこが(三俣山西峰)。草地丘の山頂。ここでもトレラン2人に会う。あとは来た道をゆっくり確認しながら戻る。主稜線の久住別れに出て安堵 16:25。稜線は疲れた体を労り、ゆっくり戻る。しばらくすると、三俣であった、トレラン女性2人が声を上げながら戻ってきた。タフで脱帽。

○9/20「黒岩山」6:20~7:20(1:00) 牧ノ戸峠より往復。北へ舗道進み、展望台の東屋。さらに平坦地を奥に進み、泥炭地の急坂登り、分岐経て 1P。下り登り返して進むと「黒岩山」山頂。三角点ある溶岩大岩の丘の山頂。九重連山・地熱発電、集落の眺め良い。朝日心地よい。来た道を峠に戻り、そのまま舗道を西へと進み、獵師山登山口へ。

○「獵師山」山頂 8:20(合頭山) 同 9:05 7:45~9:50(2:05) 県道登山口より往復。緩やかな尾根道進み、1P分岐。西へと稜線アップダウンし進む。スキー場分岐経て進むと「獵師山」山頂。三角点あり、草・灌木の丘の山頂。西側、山々・風車・集落の眺め良い。稜線戻り1Pより北へ草原をアップダウンし進み、(合頭山)山頂。ススキ・笹の草原丘の山頂。稜線経て戻る。そこから牧ノ戸峠にかけて舗道脇に駐車車の車の列でこの連休の賑わいを感じる。

○「一目山」10:30~11:15(0:45) 麓の広い駐車場より周回。舗道を東へ進み、左の林舗道へ。ゲートを越え、途中テープより西へ、直登の急坂道登ると「一目山」山頂。三角点あり、草原丘の山頂。スキー場・地熱発電・山々の眺め良い。南へ稜線下り、途中より、東への踏み跡辿り戻る。

○「平治岳」12:10~17:40(5:30) 北側有料駐車場・吉部登山口より往復。ルートが長いため、比較的短かそうな、南側より山入り。大船林道進み、すぐ登山口。川沿いに進み、急坂・ロープ道経て樹林帯の道を淡々と進む。駐車場で一緒だった方が、テント泊の荷物ながら軽快で、負けじと競うように只管森の中を進み、迂回してきた大船林道と再び合流。ここで、テント泊の方を見送り、ゆっくり進む。最短ルートは、最新地図でも通行止で、それらしき表示もなく通過し、林道を奥へと進む。別ルートと合流し坊ガツルキャンプ場へ。その最奥が、大船山・平治岳の分岐。左の平治へ。湿地帯の道経て、大水等で削られた登山道を登り進む。道がわかりにくい、上へ上へとテープ等便りに進む。上部で、道を見失った方2人に会い、先に稜線鞍部の十字路に出る。ここから北のツツジが名所とのこと。北へ急坂・灌木細道を茨・大岩等、気を付けながらも一気に登り進む。稜線でトラバースし・下山路確認して進み 1Pの大岩。ここから東へ細い茨等の道を下り登り返し、急坂経て「平治岳」山頂 14:55。灌木の丘の山頂で、先着の若者5~6名が盛り上がっていた。晴れ 山々・集落の眺め良い。風が心地良い。来た道を1Pより、下り専用道(九州電力に感謝)のつづら折れの整備された道を軽快に下り、鞍部の4差路。ここから西へ来た道を確認しながらゆっくり下り、大船分岐・キャンプ地(大勢のカラフルなテント)経て大船林道。ここからは疲労との闘いで、熊本地震で崩壊し通行止めとなった道らしきを右に見て林道・登山道分岐より沢沿いの森を淡々と歩く。疲れたが何とか無事戻る。

○9/12(土)13(日) 日本山岳誌以外(9山)

○9/12 兵庫北(5山) 曇り時々雨

○(蓮台山)山頂 9:05(カサハ山) 同 9:50(久斗山) 同 10:20(濃於美山) 同 10:40 7:00~11:50(4:50) 余部 IC 近くの林道ゲート口より周回。林道を上流へ川沿いに直進。先は岩壁続きで進めないため(ここまで表示は何もなし)、右の岩々の急坂に取り付き、木・根・岩等に掴まりながら上へ。上に出ると本道らしい道で、南へ尾根を進む。小屋に出て、不動尊の表示あるが所在不明。

先へ痩せ尾根経て急坂のケモノ道らしきを辿り上へ上へと進む。開けた尾根に出て青テープ1つ。ここから上は、やぶらしく、左にトラバース。すると大きな岸壁が続くところに出る。ここは、直登困難でさらに左にトラバースし何とか上へ(下りは困難)。上へと樹林の間を進むと稜線尾根(8:45)。日差しと暑さと緊張で半袖シャツは汗塗れ。少し安堵し稜線を1ピーク確認し、反対の西へアップダウンし進むと(蓮台山)山頂。植林・広葉樹の丘の山頂。八幡神社跡あり、晴れてセミの声あり、風が心地よい。稜線を戻り、東へ。痩せ尾根経て、樹林の中を進むと(カサハ山)山頂。ブナ樹林の平坦な山頂。セミの声のみで静か。稜線をさらに東へアップダウンし進み、ブナ林の涼やかな稜線を進むと(久斗山)山頂。二等三角点、ブナ林の丘の山頂。樹間より山・集落・海が見える。稜線を下り進むと(濃於美:ノオミ山)山頂。雨が降り出す。樹林の中の丘の山頂。海・山の眺めあり、北面へテープ辿り、尾根を下ってゆく。急坂等慎重に下り、久斗山三角点登山口の林道に出て、舗道を遠回りしながら戻る。

○(三川山)13:15~16:55(3:40)三川権現寺Pより往復。舗道・林道進み、堰堤を越え、川を2度渡渉しコース分岐(シャクナゲと奥之院)。奥之院コースへ川を渡渉し、尾根に取り付く。急坂続きの尾根を淡々と登り、岩壁等の見える遥拝所。先の樹林の急坂で道を失い、奥の沢に進み、急坂ケモノ道を上へ上へとゆっくり登り、稜線らしきに出る。黄色テープあり。南へテープ辿り、登り進むと本道に合流。山頂への距離表示等目安に植林地を進むと(三川山)山頂。7月のリベンジを果たす。鉄塔群、樹林の中の丘の山頂。二等三角点、山々・雲・風が心地よい。来た道を確認しながら、急坂続きの尾根を下り、取り付き口で、タヌキではない、アライグマに近い動物を見かける(向うが気づかない間少し観察)。渡渉して、権現寺を参拝し戻る。

○9/13 京都北(4山)雨のち曇り。

○(太鼓山)6:25~7:15(0:50)スイス村近くの鴨池より往復。昨晚からの大雨が止み、出発。舗道から旧スキーに入り、舗道登り、2つのリフト終点より北へ。草道となり、ドンドン草丈が高くなり、先人の跡らしきを萱等の草をかき分け進む。急坂で、萱で滑りつつ、進むと最終リフト近くの(太鼓山)山頂 6:45。草藪の中の平坦な山頂。雨が降り出し、草藪分け、樹林に入るが、そこは、背丈以上の笹藪で止む無く境界を下り、草藪を分けて来た道に出る。大雨となり淡々と来た道を全身ずぶ濡れになりつつ戻る。

○(鼓ヶ岳)9:45~10:10(0:25)舗道脇の展望所案内より往復。登山口分からず探し回り、とりあえず入る。草を分け進むと登山道となり、緩やかな道・笹道、東屋経て(鼓ヶ岳)山頂。二等三角点、灌木・草の丘の山頂。山々の展望あり、風が強い。来た道戻る。

○(高山)11:10~12:30(1:20)内山ブナハウスより往復。旧内山集落経て東谷へトラバース道進み、分岐より北へ階段等整備された急坂を登り進む。峠からの道と合流するとすぐ(高山:丹後半島の最高点)山頂。ブナ樹林の丘の山頂。曇り、風あり。来た道少し戻り、ブナの巨木(京都府で一番の幹回り)を確認して戻る。

○(高竜寺ヶ岳)13:55~15:45(1:50)たんたんトンネル北口の登山口より往復。最初作業道間違え 10 分ロス。舗道・林道を沢沿いに進み、終点の堤防下が登山口。整備された道を進み、たばこ岩等経て進むと林道に出る。さらに別林道と合流し進み、右の登山道より再度山入り。急坂・つづら折れのブナ樹林帯を登り進むと(高竜寺ヶ岳)山頂。芝の丘の山頂。三角点、東屋あり、山々・日本海・天の橋立の眺め良い。曇り、風あり。来た道を森を楽しみながら戻る。

○9/5(土)6(日)日本山岳誌以外(11山)

○9/5 鳥取西(7山)晴れ

○(豪円山)山頂 8:10(寂静山)同 8:45(三鈷峰)同 10:50(宝珠山)同 12:10 7:55~13:15(5:

20)センター駐車場より各往復。舗道進み、笹・草が覆う登山道へ入る。時折登山道が顔を出すが、ほとんど草が覆う道を分け進む。急坂経てなだらかになり、草露にズボン濡らしながら進むと(豪円山)山頂。三角点あり、云われ案内、方位盤のある丘の山頂。街・大山の眺め良い。セミの声賑やか。来た道戻り、駐車場に戻らず、そのまま次へ。舗道進み工事専用道の通行止めより右へ遊歩道進む。しばらく進み、階段登ると(寂静山)山頂。東屋、方位盤・地藏等史跡のある丘の山頂。山は曇り出し、セミ・鐘・鳥・工事の音あり。南へ下り遊歩道から工事舗道を進み、下宝珠入口より山入り。急坂道登り、尾根稜線分岐。西へ稜線のブナ林等の道をアップダウンしながら進む。急坂が多い道で、岩稜道にはロープもあり、崩壊地等経て上宝珠越で一息。山容が見え、かん木樹林帯を左斜め上に進み、稜線分岐。南へ雑木の細道・岩稜のピークを幾つか経て進むと(三鈷峰)山頂。岩石の丘の山頂で、雲の白い世界。分岐先の小屋から人の声聞こえる。来た道戻り。幾組かの登山者に会い人気の山(?)。ブナ林経て最初の尾根分岐に戻り、東へ登り返すと(宝珠山)山頂。ブナ林の丘の山頂。周囲を散策。来た道戻り途中、ブナ林の背後に大山の陰しい山々が見えて圧巻なひと時を楽しむ。尾根分岐より舗道に下り、戻る。

○(象山)14:30~15:15(0:45)新小屋峠より往復。登山道を下り、鞍部経て広場からの遊歩道に合流。階段の縦走道を登り、展望台。方位盤あり、眺め良い。マツムシソウの花が多い。なだらかな道進み、縦走路より外れ左へ登ると(象山)山頂。三角点あり、かん木・小笹の平坦な山頂。雲の中で虫多い。来た道戻り。

○(城山)16:40~17:05(0:25)延命地藏・足湯施設より往復。遊歩道を辿り進むと亀井公園・展望台のある(城山)山頂。街・山々の眺め良い。周回し戻る。その後夏の雨降り。

○(四王寺山)18:30~19:10(0:40)北面登山口より往復。登山口分ならずあちこち歩きまわり探し、夕暮れ近くにやっと確認(0:30 ロス)。止む無く急ぎ足で竹林・階段道等進むと上の舗道に出る。南へ進むとすぐ(四王寺山)山頂。寺の奥に展望台ある広場の山頂。街明かり、海岸線の眺め良い。ライト付けて下山(小雨)。

○9/6 鳥取中・東(3山)兵庫北(1山)晴れ

○(蜘蛛ヶ家山)5:35~5:50(0:15)車で山頂公園まで行き散策。北奥が山頂。一等三角点、東屋のある広場の山頂。オレンジの日の出を拝む。この時刻ながらイベントの車が集結していた。

○(太平山)6:35~7:00(0:25)公園の駐車場より舗道進み、電波塔経てすぐ展望台のある(大平山)山頂。小藪の中にピークあり。晴れ セミの声あり、湖・山々の眺め良い。

○(高龔山)8:25~9:10(0:45)林舗道口より往復。伐採の作業道の尾根を進み、山を探しながら進むと西奥に山が見えそちらを目指す。作業道を下り、分岐の細い道を奥へ進むが荒れて来て先不明なため、途中より急坂を南へ、木などに掴まりながら登ると尾根となり西へ進むと(高龔山)山頂 8:45。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。セミ・鳥の声あり、樹間より鳥取の街が見える。木漏れ日・風が心地よい。来た道を少し迷いながら、夏の日差しの中戻る。

○(三成山)12:00~14:30(2:30)南側舗道登山口より往復。民家の脇を抜け登山口。神社経て、テープ等目安に上へ。植林地等の中の道らしきを辿り進むと平坦な徳原の宮跡。案内表示等頼りに登り進む。急坂となり案内少ない中、上へ登り、稜線末端に出て位置を確認し西へ進む。急坂等経て登り進むと(三成山)山頂 13:20。一等三角点、天測点ある樹林の中の丘の山頂。セミの声賑やか。来た道確認しながら戻る。稜線末端から南への方向転換はうまくいったが、その後が不明で道らしきを辿り下ると見覚えのある案内に出て安堵。徳原の宮跡経て、淡々と下り、神社参拝して戻ると夏のスコール。ふれあいセンターで雨宿りし、雨がすぐに上がり、バイカモソウのある上流の小川で水遊びし暑さを凌ぐ。今回はここまで。

○8/28(金)休み、29(土) 日本山岳誌以外徳島南(5山)高知北(2山)愛媛東(5山)晴れ

○8/28 (津志嶽)山頂 8:55(秋葉山)同 10:10 久藪阿弥陀堂登山口より往復。舗道進み終点が登山口。山腹のカーゴ道を進み、奥の旧人家・寺より植林地の中の岩ガレ道を上へ上へと登り進む。稜線に出て三差路分岐で西の稜線へ。すぐ神社となり参拝し岩等の稜線道を淡々と進む。鉄塔分岐より東へ進み鉄塔。次は、西へ。シャクナゲの森へと山腹を進み案内板。ここから道不明でやむなく西へと急坂登り進み本道と合流。樹林の中を縫うように進み、稜線末端の平地。ここから稜線をアップダウンして西へと進み(津志嶽)山頂。三角点あり、丘の樹林の中のピーク。晴天で静か。来た稜線に戻り、道不明のところは、う回路道で分かりにくい、無事案内板に出て、鉄塔から稜線を下り三差路。ここを東へ進むとすぐ(秋葉山)山頂。三角点ある樹林の中の山頂で、セミの声・木漏れ日を楽しむ。三差路より下り、すぐの湧き水を楽しみ、炎天下の舗道歩き経て戻る。

○(中尾山)13:45~15:55(2:10)中尾高原登山口より往復。グラススキー場脇の道を登り進み終点より遊歩道へ。整備された歩道進み、終点の空き地をさらに奥へ進み道迷い。手の長い獣が木から降りて谷へ下るも鳴き続け、笛を吹きつつ進み、次のピークで間違いに気づき・終点の空き地戻る。ここから北へ下り登り返すと(中尾山)山頂 15:10.三角点ある樹林の丘の山頂。虫の音のみで静か。来た遊歩道に出て戻ると雨が降り出す。

○(東宮山)山頂 18:15(天行山)同 18:50 17:05~19:40(2:35)川井峠駐車場より往復。

鳥居の奥の入り口より急坂の植林地を登り、登山道(電波塔が見える)。倒木等ある道を北へと進む。天行分岐経て進み旧林道。北へ進み。尾根取付きは、神社方向でない尾根を直登。急坂を時間の制約で、急ぎ登り進み(東宮山)山頂。神社2つ拝む。二等三角点、樹林の中の丘の山頂。山々・海・街の眺め良い。来た道を急坂尾根を急ぎ・慎重に下り林道。川井峠の表示板より来た道を急ぎ戻る。天行分岐で右へ入り登ると稜線。幾つかのピーク経て(天行山)山頂。樹林の中、石積みのある山頂。夕暮れでかすかに手帳の字が見える程。急ぎ来た稜線を引き返す。幾つものピークを再確認し稜線の東宮山表示の分岐経て三差路分岐に何とか戻り、薄暗いが安堵。ライト付けて、ここからはゆっくりと道を確認しながら、細道・左側崖地等・倒木に注意し下る。電波塔上の分岐より、急坂植林地を街頭と月明かりに助けられ、舗道に出て戻る。

○8/29(大森山)山頂 9:20(佐々連尾(サザレオ)山)同 9:55 7:50~11:50(4:00)白髪隧道南口駐車場より往復。今日も暑くなりそうな天候の下、鉄塔への広い道進む。途中の沢筋崩壊経て、岩・ガレバの植林地の中を進み、樹林帯抜けて、日差しを浴びるとすぐ猿田峠。東へ稜線進む。次第に岩等の急坂・直登道で、岩・木・根等掴まりながら、上へ上へ一気に登り進む。なだらかな草原となり、いくつかピーク経て(大森山)山頂。この連山の最高点で、樹林まばらな丘の山頂。虫多く先へ。笹等の草梅雨で靴・ズボンを濡らしながら下り進む。稜線の岩々のピーク等を越え、笹が刈り払いされた(刈り払いに感謝)草原の道を下り、登り返すと(佐々連尾山)山頂。三角点あり、樹林・笹の丘のピークで、先にブナの森があり。大森山等の山々と稜線の草原の眺めを楽しむ。来た道戻る。大森山付近で2人連れと写真撮りの方に会い挨拶。急坂の岩々は、転倒したら真下に滑落してしまうことを下りで気づく。慎重に木・岩・足掛かりを確認して下る。幾度か急な斜面経てなだらかとなり、猿田峠経て岩ガレ道を下り、沢水を楽しみ戻る。

○(大谷山)山頂 14:40(金見山)同 16:10 14:10~16:55(2:45)R9唐谷峠よりそれぞれ往復。金見山へ至る(唐谷山、天狗森、木峰)も山とする。まず西へ進む。遊歩道だが、草が茂る道を少しかき分けつつ、蜘蛛の巣に何度も絡みつかれながら、炎天下の暑い日差しの中、稜線の木陰を探しながら進む。1テーブル・イスのっ休み場経て急坂登り、日陰の道進むと(大谷山)山頂。立

派な椅子・テーブルのある丘の山頂。セミの声、瀬戸内海の眺めあり。稜線を戻り唐谷峠より東へ。急坂、草藪分け登り進むと(唐谷山)。丘のピーク。下り、鞍部より日差しを受けつつ、硬い土に草が生い茂る道をかき分け、かき分け登り進む。汗が一気に噴き出す中、なだらかにあり、(天狗森)山頂。境界標等ある丘のピーク。ここから方向は東へ。樹林帯経て、笹等で道が見えない草藪を分けて下り、鞍部が、別ルート下りの分岐。暑い日差しの中、大汗を拭い、草藪を分けながら登り進み、なだらかな木陰の樹林帯へ。緩やかな坂を進むと(木峰)山頂。木陰で助かる。稜線を進み、草藪の堅い道を草を分けながら下り、日照りで硬い道の坂を草を分けつつ登り進むと(金見山)山頂。先に縦走路が続く丘の草原の山頂。二等三角点、夏の夕暮れ、セミの声・そよ風楽しむ。来た稜線の草藪道を淡々と登り、下りし、日差しが緩くなり助かる。唐谷山経ての下りで夕暮れの瀬戸内海・四国中央の街・海岸線・夕日が、絶妙のコントラストで映画の1シーンのようで、感激しつつ唐谷峠へ戻る。汗が良かったが、充実の夏山歩き。例会あり、今回はここまで。

○8/21(金)休み～8/23(日)晴れ 山口東2山、同(5山)、兵庫北(2山)

○8/21「小五郎山」8:45～11:25(2:40)南側林道終点登山口より往復。久しぶりの日本山岳誌の山。酷な暑さが続く中の山歩き。整備された道を登り進み、樹林の山腹の道を淡々と進み向峠。ここから稜線尾根道。広葉樹の森の中、徐々に道を笹が覆い始め、笹を分けながら、急坂等経てなだらかとなり、「小五郎山」山頂 10:10。先着2人に挨拶。縦走するとのことで、山話。三角点あり、灌木・草地の平坦な山頂。晴れて山々の眺め良い。小鳥・虻等虫の音確認し、来た道戻る、途中急坂で2人連れに挨拶、暑さでややバテている様子。森林浴を楽しみながら戻る。

○「平家ヶ岳」13:20～18:20(5:00)山への南側県道崩壊工事で全面通行止めの地点よりほとんど林道歩きで往復。舗道進むと頭上で修復工事現場ですぐ通過。あとは、普段の県道を沢沿い木谷峡を楽しみ、史跡・名勝確認しながら進んで三差路の林道口。沢沿いに直進。旧舗道だが、大水等で削られ、林道の橋分岐を直進し、前回断念した場所を再確認。そこから林舗道を淡々と坂登り進む。平家集落跡に出るとそこが東側の林道ゲートある登山口 15:10。跡地で一息入れ、林舗道を登り進むと山への入り口 15:35。急坂経て、下に道はあるが、笹に覆われた道(午前中より厳しい)をかき分け、急坂経て進むと「平家ヶ岳」山頂 15:55。笹・樹林の丘の山頂。二等三角点あり、鳥、虫・セミの音のみで静か。曇り。来た道の急坂は慎重に笹を分けて下り、林道・ゲートに出て沢で水を楽しむ。長い舗道を清流・岩・滝を楽しみつつ戻る。

○8/22(成君寺山)8:45～9:15(0:30)登山口表示板より往復。(最初通り過ぎて2時間以上ロス。)小藪分けて、樹林帯の稜線を辿る。アップダウンして進み、程なく(成君寺山)山頂。三角点あり、草・灌木の平坦な山頂。小鳥・虫の音あり、山々の眺めもあり。来た道戻る。

○(小羅漢山)山頂 10:25(法華山)同 11:25 羅漢高原駐車場より周回。暑い日差しの中、階段道・旧遊園地・不知火杉経て縦走路の東屋。ここから西へ下りすぐ北への階段道進むと(小羅漢山)山頂。先客2人に挨拶。高床式の東屋ある、樹林・笹の丘の山頂。山々の眺めあり。縦走路に戻り、整備され多遊歩道を淡々と下りロッジ。イベントある様子で、そのまま通過し広い駐車場を西端へ進み、細道経て広い作業道に出る。直射日光が照らす炎天下を只管進み、樹林帯へ。遊歩道の広い階段等の道を進み、ベンチのある稜線。そこからすぐに(法華山)山頂。笹原・丘の山頂。羅漢等山々の眺め良い、三角点あり、使用禁止の高床式の東屋あり、一休み。来た道をロッジ経てイベント音を聞きながら登り返し、MTBコースの植林地進み、羅漢高原Pの駐車場の西奥に出て戻る。

○(白滝山)山頂 15:05(大師山)同 15:40 13:40～16:30(2:50)登山口休憩所・駐車場より周回。一番暑い時刻で、タオルを濡らしゆっくり出発。民家経て山に入るも道不明。やむなく尾根ら

しき小藪を辿る。暑さで玉のような汗をかきつつ上へ。鉄塔に出て道を期待したが、小藪道しかなく、同様に尾根を上へ。進むと大きなブロック壁に阻まれ西へ回り込み上へ登ると何と舗道。東へ進むとすぐ広い白滝山グランド。東の端まで進み、トラバ道経て、沢からの本道(?)と合流しシダ等の坂道を登り進むと稜線分岐。雷が鳴り始め、東への急坂岩・階段道を淡々と進む。雨乞岩に出て展望を楽しみ、さらに奥へ。下り登り返して(白滝山)山頂。三角点、方位盤ある岩・小松の丘の山頂。山々・ダム眺め良い。風が出て雷鳴も聞こえる。急ぎ分岐まで、驚いたヘビの岩滑りにさらに驚きつつ戻る。急坂岩々道を慎重に確認しながら登り進むと間もなく(大師山)山頂。大岩・灌木の丘の山頂。セミの音・雷音も。ウサギ岩・山々の眺め良く、風が心地よい。急坂岩々道を慎重に下り分岐。シダ等の道を下り、次の分岐は、グランドへトラバ道選択し、白滝山グランド。西へ進み舗道終点から車舗道等を確認しながら(登りの電波塔等)登山口に戻る。

○8/23 兵庫北(2山)(来日岳)山頂 9:05(大師山)同 10:30 8:15~11:00(2:45)今日の夕方用事あるため、大移動し砂利林道三叉路近くより各往復。道がわからないため、只管砂利林道を西へ進む。途中、稜線尾根歩きし、再び林道に戻り、急坂道を回避し右へ林道を回り込み進むと、立派な舗道に合流。あとは只管、林舗道歩き。つづら折れの道を淡々と進み、階段経て広い駐車地。さらに奥に進むと(来日岳)山頂。一等三角点、地蔵が幾つも並ぶ、芝丘の山頂。電波塔あり、晴れて、セミ・虫の音賑やか。夏の日差しで、山々・海・集落の眺め良い。木陰・風が最高のごちそう。来た道戻るもショートカットで失敗。西へ舗道を進み過ぎて15分のロス。林道から稜線道の急坂・竹林等の道経て下ると、車の見える林道に出て戻る。車を少し東へ移動し、再び少し掘られた林道を下り進む。途中から人の声が聞こえ、不思議がる。温泉からの道と合流し坂を登ると(大師山)山頂。そこは、ケーブルで一般観光客が簡単に来れる観光地。大師堂・観音像・カニ塚等を巡り、小瓦投げもあり。山々・海・川・温泉街(城之崎温泉)の眺め良い。来た林道に戻る。今回はここまで 本当に暑い夏の3日間の山歩きを満喫。

○8/15(土)16(日)日本山岳誌以外 兵庫北(3山)京都西(2山)岡山北(2山)  
鳥取南(2山) 晴れ

○8/15(頭光嶽)山頂 9:45(石戸山)同 10:20(岩屋山)同 10:45 8:55~11:30(2:35)石がん寺駐車場より周回。林舗道進み寺を参拝し、奥の院への尾根道を辿る。植林地・奥の院手前の鐘突き堂経て進むと(頭光嶽)山頂。鉄塔のある丘のピーク。山々の眺め良い。岩場道を下り、採鉱跡。奥へ進み、急坂登り稜線分岐。北へと稜線進むと(石戸山)山頂。一等三角点、稜線の樹林の丘のピークで、木陰、青空、風、小鳥の声楽しむ。稜線を分岐まで戻り、石がん寺への直通ルート進むとすぐ(岩屋山)山頂。岩屋古城跡、祠のある丘の山頂。先へ下ると鉄塔道となり、淡々と下り、石がん寺で参拝し沢沿いの遊歩道を散策して戻る。

○(烏ヶ岳)13:30~40(0:10)車で電波塔下のPまで行き、舗道坂登るとすぐ(烏ヶ岳)山頂。一等三角点、電波塔群の丘の山頂。福知山の市街・山々の眺め良い。車で少し移動。

○(鬼ヶ城)13:45~14:20(0:35)林舗道登山口より往復。北へ植林地の道を進み、十字路を北へ直進し東屋経て進むと(鬼ヶ城)山頂。方位盤ある芝・丘の細長い山頂。日差し強いが、烏ヶ岳等山々の眺め良い。来た道戻る。

○8/16(駒の尾)山頂 7:20(鍋ヶ谷山)同 7:50 6:15~9:10(2:55)駒の尾山荘奥の登山口より往復。道が不明な中。植林地の整備された道進み別の林舗道終点に出る。北へ不明な道を旧の石段等の道らしきを進む。時折丈草分けて進むと別の立派な林舗道が下から上へ続いている。すぐの沢より、西上の尾根目指し、急坂植林地を登る。何も目印のない急坂尾根を上へ上へと只管登り進む。少し緩やかになり、西側へ斜めに続く植林地の獣道らしき進むと東粟倉ルート(本

道)と合流。整備された登山道を進むとすぐ草原となり、登り進み、西ルートと合流してすぐ(駒の尾)山頂。二等三角点、平坦な笹原・円形に配置された石・大きな山名石のある山頂。朝日・風が心地よい。東の先へと縦走ルートへ。避難小屋を経て刈り払いされ整備された広い稜線道をつかピークを経て進むと(鍋ヶ谷山)山頂。稜線笹原のピーク。来た道に戻り、駒の尾より、分岐を経て不明なルートの分岐を確認し、尾根へ下る。少し道を間違えたが、登り口の沢に出て、その後も来たルートを慎重に確認しつつ、無事戻る。

○(牛臥山)山頂 11:45(海上山)12:25 11:00~13:35(2:35)牛臥公園より往復。夏の暑さで意識も鈍くなる中、木陰・時折吹く風に癒されながら、鉄塔・旧公園施設を経て稜線進む。時折ピンクテープあり(下り時に助けられる)。樹林の中を淡々と尾根を進み、稜線より少し西の(牛臥山)山頂。山の由来・碑ある丘の草原の山頂。集落・山々の眺め良い。稜線に戻り、東への稜線をアップダウンしながら樹林帯を進む。急坂を経て(海上山)山頂。三角点あり、ナラ・クリ等広葉樹の平坦な山頂。木漏れ日・風が心地よい。来た稜線道戻る。途中支尾根などで道迷いしながら、方向を確認して、テープ等目印をも確認して無事電波塔群の公園に戻る。暑さで気力失せて、今回はここまで。

○8/7(金)休み~8/11(月)日本山岳誌以外(10山)徳島中央(5山)西(2山)南(1山)  
高知北(2山)

○8/7 曇り(犬嶽山)9:45~11:25(1:40)南登山口より往復。民家の上の道を植林地へと入り、参道・コケ見物しながら進み、お寺。さらに上へ進むと(犬嶽山)山頂。三角点ある平坦な樹林の中の山頂。陽光あり、虫の音のみで静か。来た参道に戻る。

○(西三子ニシミネ山)12:40~16:10(3:30)R16号登山口より往復。鉄塔道で、ザレ場等を経てトラバ道を進むと後山峠。稜線の尾根を幾つかピークを経て(西三子山)山頂 14:30。三角点あり、石灰岩・樹林まばらな丘の山頂。霞む中、山々の山容見て下山。後山峠より稜線を進み、鉄塔を2つと三角点を確認し、急坂の岩沢を慎重に下り、トラバ道に出て戻る。

○(樫戸丸)18:15~19:35(1:20)剣山スーパー林道(砂利道)の風の広場より往復。到着が遅れ遅い出発。急ぎ足で、尾根稜線を只管進む。アップダウンしながら進み、(樫戸丸)山頂 18:55。草原・岩・樹林まばらな丘の山頂。山々の景観あり。急ぎ足で下り、薄暗い中戻る。

○8/8(青の塔)山頂 8:10(夏切山)同 8:40「伝説のハイカー編」6:15~11:45(5:30)南側西谷口より往復。暑い日差しの中、杉道を経てテープ・境界標頼りに急坂のガレ・岩場を慎重に登り進む。大岩群を経て、最後急坂岩場を経て(青の塔)山頂。二等三角点ある周り灌木がまばらな丘の山頂。山々の眺めあり。稜線の縦走ヘトライ。テープ・境界標等頼りに東へ稜線をアップダウンし進み(夏切山)。稜線の草原の丘のピーク。樹木まばら。さらに先へとシダ地帯を下り、ヤセ尾根の1Pを経て先に進むと三角点のあるピーク 9:15。山名なし、先まで稜線続くがここで暑さと急坂・ザレバ登りで体力消耗し戻る。夏切を経て青の塔。先へ下るが、急坂の絶壁に近い道。少し下るが、危険を感じて、必死で慎重に引き返す。西側に境界標らしき赤い杭の稜線あり、山頂近くまで引き返しその境界標・テープのある格段に安全な急坂道を慎重に下る。ザレバは転ばないように下り、大岩群を経て戻り、清流の沢水を楽しむ。体力消耗で、後は、移動・ルート探索に終始。

○8/9(大星山)山頂 8:25(西大星山)同 9:10 6:20~11:20(5:00)林道猪野々線ゲート手前の橋口より往復。昨日大雨で心配したが、天候回復。巡り合わせた釣りの方に挨拶し出発。ゲートを経て進むと、広い伐採地跡。眺めよく、林道進み。分岐より上へ登り進むと登山口。伐採地との境界の紐等のある道を辿り、鉄塔保守道へ。鉄塔の番号を確認しながら、稜線尾根を進む。鉄塔 NO26 より急坂稜線進むと(大星山)山頂。二等三角点、灌木・小笹・シダの丘の山頂。小鳥・

風の静かさを楽しむ。鉄塔に下り先へと、ブナ等の樹林のトラバ道下り、赤布より再び稜線に登り、獣道・踏み跡を辿り、シダの草原に出て、シカ道らしきを上へ進むと(西大星山)山頂。シダ・小笹の草原の丘の山頂で、犬ブナあり。大星等の眺めあり、風も心地よく、別天地にいるよう。来た稜線を鉄塔番号確認しながら、登山口に出て、夏の日差し・沢水を楽しみながらゲート経て戻る。

○(小桧曾山)15:10~17:35(2:25)京柱峠より往復。雨の中、雨具付け出発。稜線の植林地の急坂道等を東へ登り進む。時折、雨が強くなる中、テープ・境界標目安に進む。稜線に出て南側へ進む。既に水溜りのできた、平坦な登山道を進む。進むにつれ、風が強くなり、笹原の草原に出ると突風のような強風。上へと飛ばされないよう進むと(小桧曾山)山頂 16:30。笹・灌木の丘の山頂で、樹林の中で一息つき、すぐ下山。強風・雨の中、来たルート確認しながら平坦な稜線の樹林帯に戻り少し安堵。あとは、来た稜線を滑らないよう慎重に戻る。

○8/10 晴れ(三ツ頭山)8:00~8:55(0:55)林舗道よりすぐ三ツ頭山山頂。樹林の中の平坦な山頂で、祠・三角点あり。徳島県内の一等三角点の三頭山と勘違いした山歩きで、付近を散策し戻る。

○(友内山)11:40~13:10(1:30)神社上の林舗道のコンクリ階段より往復。植林地の急坂道進み、つづら折れ道経て進むと神社奥社で参拝し、その奥が(友内山)山頂 12:25。陽光・木漏れ日・風が心地よい。三角点あり、樹間より山々・集落の眺めあり。別名:木綿間山で、万葉集にこの山が2句ある案内あり。来た稜線に戻る。この4日間の山歩きを2句で表すと次の通り。

○「豪雨に 溝も深まる 山の路」 「山深し 鹿の子呑気な 緑陰」

今回はここまで。

○7/31(金)休み~8/2(日)日本山岳誌以外 高知北(5山)、兵庫中央(3山)

○7/31 高知北(4山)曇りのち晴れ

○(子持権現山)9:00~35(0:35)林舗道縦走路登山口より往復。笹路分け進み、祠より急坂の岩稜直登道で修行用大鎖あり。足掛かりがある途中まで進むも、先は足掛かり乏しく滑りやすく危険。止む無く左の樹林帯の木等に掴まり急坂を踊り場まで進む。修行用の直登は、怪しく避けて、左より狭い踏み跡辿り、灌木の先が(子持権現山)山頂。岩稜のピークで、土小屋・山々の眺め良い。風・日差しあり。急坂岩稜道を慎重に下る。後で車道から眺める子持権現の険しい岩山を再確認。

○(伊吹山)9:55~10:20(0:25)林舗道口より縦走ルートを往復。階段上り稜線となり、西へ進むとすぐ(伊吹山)山頂。草原の丘の山頂で、三角点あり。瓶ヶ森・石鎚等山々の眺めを好天で風が心地よい中、楽しみ戻る。

○(手箱山)10:45~15:00(4:15)土小屋登山口より往復。以前歩いた岩黒山・筒上山は分岐のみ確認し只管歩いた。遊歩道の樹林帯経て丸滝小屋。大きな岩稜帯は、出っ張りにトタンの道でゆっくり慎重に進む。山側に大きな石垣のある開けた分岐に出て、手箱権現の鳥居を潜り、アップダウンしながら稜線を進むと手箱山山頂 12:55。祠あり参拝。開けた丘の山頂。南側絶壁で山々の眺め良い。小鳥の声・風を楽しむ静かな至福の時。雲が湧き出して来て、東の稜線の先は笹の下に道があることを確認し来た道戻る。天候の崩れを心配したが、逆に良くなり、巨大な岩稜の峰々と森を楽しみながら戻る。

○(自念子ノ頭)16:10~17:00(0:50)林舗道登山口より往復。笹の稜線道をアップダウンしながら東へ進み支線を登ると(自念子ノ頭)山頂。大岩の上の灌木のピークで、山々の眺めあり。稜線の笹をかき分けながら戻る。

○8/1(西門山)4:30~6:05(1:35)晴れ 稲村トンネル先の登山口より往復。時間の制約で薄

暗いうちに出発。稜線に出て、稲村山と反対側の東へ進む。幾つかピーク経て進むと(西門山)山頂 5:15。三角点あり、ブナ等樹林の中の丘の山頂。小鳥の声・日の出楽しみ下山。明るくなり、大きな岩稜の峰を縫うように歩いて来たことを確認しながら戻る。会合のため、帰阪。

○8/2 兵庫中央有馬3山(湯槽谷山)山頂 14:00(灰形山)同 15:00(落葉山)同 15:40 9:05~16:00(6:55)例会で 11 名と有馬温泉口より周回。曇りのち晴れ 街を抜け魚屋道。炭屋道経て紅葉谷。水量の多い川を幾度か渡渉し蝸セミの声を聴きつつ登り進むと極楽茶屋跡 12:30。いよいよ有馬三山へ。鉄塔先のピーク経て下り登り返すと(湯槽谷山)。樹林の中の丘のピーク。急坂階段道下り登り返すと(灰形山)山頂。稜線の樹林の中の丘のピーク。六甲等山々の眺め良い。細尾根を下り登り返すと(落葉山)山頂。三角点ある、樹林・笹の中のピーク。寺・神社等経て戻る。

○7/23(木)~26(日)4 連休その 2 日本山岳誌以外兵庫・岡山(26 山)遂に 3400 名山を踏破。

○7/25 曇り時々晴れ 岡山東(1 山)中央(8 山)

○(佐伯天神山)5:25~6:05(0:40)和気美しの森Pより往復。キャンプ場のゲートを2度開閉して稜線進むと佐伯天神山山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂。曇り・風あり、奥へ進み、城跡・狼煙台等確認して戻る。

○(中将峰、西光峰、不老峰、十禅寺山:金剛峰)8:15~9:00(0:45)9 合目十字路より稜線を往復。広い遊歩道で、ピーク毎に木の標識柱あり、散策して戻る。西光峰に東屋あり、海、山の展望あり、十禅寺山は、笹・草茂る平坦な山頂で静か。

○(王子ガ岳)10:05~10:50(0:45)山頂近くまで車で行き散策。丘の東屋のある山頂で、二等三角点あり。島・瀬戸内海・瀬戸大橋の眺め良い。人が多く、近くのピークを散策し戻る。

○(由加山)12:00~12:50(0:50)奥の舗道分岐より往復。舗道進むと寺と神社あり、その奥に進み、給水施設への急坂登り、その施設が1P。さらに稜線を進むとさくら園地で、由加山山頂。山々の展望楽しみ戻る。

○(福山)山頂 15:20(幸山)同 16:30 14:55~17:20(2:25)浅原峠より周回。峠より作業コンクリ道の急坂進む。農地脇経て稜線を登り進むと間もなく(福山)山頂。広い城跡の広場の山頂で、三角点あり、倉敷の街・山々の眺め良い。人が多く人気の山。奥へと次の山探すが不明で、大きな八畳岩より引き返し展望所より下を見るとそれらしき山あり、とりあえずそちらの方向へ下ると上の横道コースに出会う。北へ下りおいしい湧き水でのどを潤し、次の三差路を北へ下り登り返すと幸山山頂。巨岩がいくつもある史跡で、街・山々の眺めを楽しむ。来た道戻り、湧き水を再度楽しみ、上の横道の遊歩道を南にアップダウンしながら進む。浅原コースと合流して来た稜線に戻る。

○7/26 雨時々曇り 岡山西(4 山)兵庫西(2 山)

○(阿部山)8:00~8:35(0:35)舗道分岐口より往復。間違つて阿部清明の云われの史跡見学しつつ山を探すも見つからず、雨が降り出す。雨が上がり戻る(1:45 の散策)。旧キャンプ地入り口の案内を再確認し少し手前の直線道分岐先より入ることを確認し、舗道分岐に戻る。分岐の先から右へ舗道を進む。舗道から作業道を奥へ・上へと登り進む。樹林帯に赤テープあり、道らしきも。笹等草露に濡れながら奥へと進むと阿部山山頂。二等三角点ある樹林の中の丘の山頂。来た道戻る

○(竹林寺山)8:40~9:25(0:45)山頂下駐車場より散策。展望所へ登ると(竹林寺山)山頂。現在は天体観測の施設がある丘の山頂。山々の眺め楽しみ、散策して戻る。

○(四尋山)10:45~11:10(0:25)烏ノ江峠より往復。次の山の手前にあり、草刈された入り口よりロープある急坂を小さなカニを別々に2匹見て驚きつつ登り、なだらかとなり四尋山山頂樹林の丘の山頂で、セミの音が賑やかで、船の音も聞こえる。急坂を慎重に戻る。

○(御嶽山)11:25~40(0:15)舗道を車で山頂まで進み、散策。神社のある山頂で、山々・海の展望を楽しむ。奥に二等三角点あり、稜線進むと間もなく三角点。樹林の中の丘のピークですぐ戻る。

○(仁寿山)山頂16:20(小富士山)同17:10 15:35~17:40(2:05)舗道ゲート先から西奥を探すも道なく、ゲートに戻らず(後で後悔)、取りあえず上へと急坂登る。茨・小藪等分けて進む。鉄塔が見えてさらに小藪濃くなる中、遮二無二鉄塔に出る。雨が激しくなる。上へ上へと小藪かき分け登り進む。雨・草露でズボン濡れ放題。何とか本道に出て、コンクリ固めの道を通り舗道に出るとすぐ(仁寿山)山頂。すでに濡れてしまったが、雨具付けて一息。雨がやむで山頂確認。鉄塔群の丘の山頂とフェンスの中に埋められた三角点を確認。街。山々の眺め確認し次へと途中から出会った本道の岩々道を慎重に下る。鞍部の十字路より東へ登り返す。岩々道をゆっくり登り進むと(小富士山)山頂。岩盤の平坦な山頂で、姫路の街・海・山々の眺めを大いに楽しむ。風が強い。北へ少し下ると夥しい石仏に見守られた奥の寺を参拝。沢山の石仏を前に間違いはできないことを実感しながら、来た岩々道を慎重に下り、十字路より南の奥山へ進むとすぐ舗道。下ってゆくと何とそこが、ゲート口で何て無駄な歩きをしたのかと後悔しつつ濡れで戻る。今回はここまで。

○7/23(木)~26(日)4連休 その1 日本山岳誌以外兵庫・岡山(26山) 遂に3400名山を踏破。3千名山達成からほぼ1年での早歩き(?)。これからは遠方・島等多く、かなり鈍る予定。

○7/23 淡路島(5山)(妙見山)山頂9:00(釜口山)同9:45(伊勢ノ森:常隆寺山)同11:25 8:30~12:25(3:55)大塔峠手前の駐車地より周回。曇りの天気が徐々に回復。林舗道進み十字路の大塔峠より妙見宮へ向かう。つづら折れの作業道を進み、三叉路より右へ舗道進むと間もなく(妙見山)山頂。神社あり参拝して三叉路に戻る。そのまま舗道を下り、NTT道分岐経て2P目の山へ。舗道よりテープあり、樹林の中を進むとピークで、(釜口山)山頂。一等三角点、天測点のある樹林の中の丘の山頂。鳥・虫の音、風が心地よい。三叉路経て、大塔峠に戻り、西へ、林道を進む。寺への道に入り、倒木より上の稜線に登り進むと電波中継施設と魚供養碑あり。南へ進むと(伊勢ノ森)山頂。神社・三角点ある樹林の丘の山頂。山々・海の眺め良い。神社参拝し、戻った先の常隆寺を参拝して戻る。

○(竜宝寺山)13:45~14:05(0:20)寺奥のコンクリ参道より往復。蒸し暑い中、急坂のコンクリ参道を登り進み、石段を登ると本堂で参拝。左から奥の山に入るとすぐ(竜宝寺山)山頂。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。蚊も多く、すぐ西の稜線を下り、参道に出て戻る。

○(感応寺山:松尾山)14:55~15:50(0:55)淡路ふれあい公園駐車場より往復。整備された階段道登り、稜線。曇りながら蒸し暑い中、北へ進み、古道分岐より東側の草丈道進む。車道で参拝者を眺めつつ上へ進むと寺のある(感応寺山)山頂。丘の山頂で山・街・公園の眺めよく、風が心地よい。古道経て戻る。

○7/24 兵庫西(3山)岡山東(3山)曇りのち雨

○(大山城山)5:15~5:45(0:30)林舗道ゲート口より往復。林道進み登山口。西へシダの道を進み、急坂経て電波中継施設・楯山城跡碑案内経てなだらかな稜線進むと(大山城山)山頂。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。虫多くすぐ下山。中継基地より姫路の街眺め戻る。

○(的場山)山頂7:15(鶏龍山)同8:00 6:35~8:35(2:00)龍野公園より周回。茶屋の先へと

進み、遊歩道進む。途中より上への道を進むと広場の三叉路。廟への階段登り、岩々の急坂道・樹林帯経て(的場山)山頂。樹林の中の丘の山頂。三角点、電波塔あり。街、山・海の眺め・小鳥のさえずりを楽しむ。南へ稜線を下り、両見坂より、城跡の史跡を確認しつつ登り返し、本丸の鶏龍山山頂。樹林の中の平坦な山頂。街の眺めあり、南へ史跡確認し遠回りして戻る

○(天狗山)10:15~12:40(2:25)神社口より往復。小雨の中出発。雨水等で掘れた登山道を淡々と進む。(小天狗:前山)経て、雨が本降り近くなる中、下り登り返し進むと(天狗山)山頂 11:10。岩に埋め込まれた三角点あり、大岩のある丘の山頂。雨降りで白い世界。来た道を淡々と戻る。

○(烏泊山)13:55~16:55(3:00)斎場手前より往復。道不明でやむなく、斎場西の獣道を上へ。旧作業道に出て奥へと進む。次の分岐で右の木階段へ進む。横への道が続くため、途中から急坂を上へと登り進むと支尾根で、階段道あり、そのまま稜線をアップダウンしながら進む。倒木・シダを避けながら進むが、シダの森となり、雨具付け突入。茨もあり、茨を避け、深くなるシダを分けて道らしき(?)を進む。シダが背丈以上で暗がりとなり壁の状態が進めず、左にトラバースして進むが、また同じで暗がりの壁。やむなく下から潜り突入すると木の階段あり、とりあえず潜り進む。茨で手に傷を負い、やむなく藪用手袋をつけて、潜りかき分けてシダの群落を木階段目安に進む。稜線となりシダが激減し、西へ稜線を進むと(烏泊山)山頂 15:15。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。本格藪山で少々疲れ気味。来た道戻る。シダの群落地帯は何とか無事に下るがその先できた木階段道が不明に。幾度か行ったり来たりし、方向感覚も麻痺し、登ったシダ藪の手前まで行き、引き返すことに。木道を慎重に辿りながら、来た木階段道らしきを慎重に確認し、来た方向へ急坂下り、木道分岐2つ経て沢筋を下り、旧道に出て安堵。無事駐車地にずぶ濡れになりながらも戻れて本当に大安堵。その1は、ここまで。

○7/18(土),19(日)新日本山岳誌以外の山 岡山中央(10山)

○7/18 (5山)

○(鬼ノ城山)山頂9:05(犬墓山)同9:40 8:55~10:10(1:15)施設管理センターよりそれぞれ往復。遊歩道経て進むとすぐ鬼ノ城山山頂。東屋・大きな岩盤の丘の山頂。古代の山城で、山々・街の眺めがよい。センターに引き返し反対の西へ稜線を進むと犬墓山山頂。三角点あり、灌木樹林の中の山頂。小鳥、虫の音あり、晴れて蒸し暑い中戻る。

○(二上山)12:35~13:00(0:25)林舗道分岐より往復。舗道登り進むと電波塔群。その間の小藪分け進むと(二上山)山頂。一等三角点、丘のピークで、暑い日差しと樹林の涼しさを楽しみつつ戻る。

○(本宮高倉山)15:30~35(0:05)車で林舗道を山頂まで行き散策。円形の石積みとその円形上を囲む樹林の中に三角点あり。電波塔ある大きな広場の平坦な山頂。

○(龍ノ口山)17:20~19:25(2:05)南の湯滝口より往復。林道進むとすぐ右側に小道あり、その道を登り進み、林舗道。右へ進み鉄塔前より小道急坂登り進むと1Pの東峰の案内あり。標高が足りず、辺りを散策し、林舗道に下り、探すが山は不明。西に山が見えて振り出し迄戻る18:00。今度は、真っ直ぐに沢沿いの道を進む。出がけに会った方に挨拶し急ぎ足で進む。2つ目の4差路で神社と反対側の山頂へ稜線を進むと程なく(龍ノ口山)山頂 18:50。樹林の中の丘の山頂。山々、岡山の街の眺め良い。ヒグラシ蝉の声に夏の夕暮れを感じる。急ぎ足で来た道を辿り、薄暮に戻る。

○7/19 (5山)(操山)山頂 6:15(笠井山)同 7:50(石鉄山:古墳の森)同 8:10 5:55~9:30(3:35)里山センター口より往復。朝起きて車の左後ろのタイヤがペシャンコで意気消沈の中取り

敢えず出発。林道経て沢沿いの道を登り進むと稜線。西へ稜線を進むと(操山)山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂。小鳥・虫の音のみで静か。次への山を探しながら行ったり来たりで時間をロス。旗振り台古墳跡でラジオ体操を終了した方々に山を訪ね、方向を確認し北へ下って舗道に出て、池を回り込み、進む。金蔵山古墳跡を確認しさらに奥へと進む。半袖で蚊に喰われ放題。散策の方に時折挨拶しつつ、奥へと進み稜線進むと(笠井山)山頂。大岩・電波塔のある広い丘の山頂。来た道戻るが、一つ高い山あり、広場のようで、急坂道進むと(石鉄山:古墳の森)山頂。古墳の上に三角点あり。大岩・広い平坦な山頂。来た道引き返し進むが、道を間違え反対側の街に出て、戻り、何とか歩いてきた道・稜線に出て無事戻る。さて、空気の抜けたタイヤを応急キットで、タイヤをもとに膨らませて少し安堵。近くのディーラーへ連絡し持ち込みし作業依頼。混雑の日曜日ながら親切にタイヤを確認し、パンク修理していたディーラーの方に感謝。

○(金甲山)14:40~50(0:10)山頂まで車で行き、散策。建物の上に神社と二等三角点。電波塔群のある丘の山頂で、山々・海の眺め楽しむ。

○(怒塚山)15:40~16:45(1:05)R45沿いの登山口より往復。ここも蚊に追われながらの山歩き。鉄塔の保守道を淡々と右斜めに登ってゆく。斜めに斜面歩きで時折慎重に進みながら稜線を進むと怒塚山山頂 16:15。樹林の中の丘の山頂で、金甲山等の山々・街・海の眺め良い。来た道を少し涼しくなった樹林の中、鉄塔を数えながら戻る。 大ハプニングの今回はここまで。

○7/11(土)12(日)新日本山岳誌以外 兵庫中央(2山)、北(3山)

○7/11 雨(鎬射山)14:50~15:15(0:25)ゴルフ場手前より往復。舗道を下り、寺の参道進む。右奥の社を参拝しその上へ急坂登り進む。ゆるやかとなり、左に鳥居を見て奥へ進むと(鎬射山)山頂。三角点ある、樹林の中の平坦な山頂。鳥居より滑りやすい石の参道を下り、参拝して戻る。

○(大岩ヶ岳)15:50~19:30(3:40)千苺貯水池駐車場より往復。遊歩道をダムからの流量の多い濁流の川を右に眺めながら上流へ。ダム放水の水しぶきを受けながら、橋を渡り対岸へ。下流に進み、左手の小沢を越えすぐその小沢の右側の石垣の道を登り、静かな小川に出る。テープ目印辿り北へ。ダムの右側ピークを経て下り、沢。そこが登山口。あとは、雨の中、稜線に登り進む。幾つかピーク経て急坂の岩々の道を登ると(大岩ヶ岳)山頂 17:00。二等三角点、樹林まばらな丘の山頂。雲の中、小鳥の声楽しみ、来た稜線戻る。途中から緑等テープある道へ戻り進む。山頂への別ルートで、近くの山目指すが、山頂への分岐の先が、大水で谷が冠水し草藪状態で先に進めず、断念。別ルートで再び大岩ヶ岳山頂に立ち、急ぎ足でその別ルートを下る。薄暗くなり、沢歩きに不安出たが、何とか小川より石垣道下り、ダム下の川経て薄暮に戻る。

○7/12 雨のち曇り(瀬川山)7:55~8:15(0:20)瀬川林道登山口より往復。整備された階段道等登り進むと間もなく(瀬川山)山頂。二等三角点、開けた草原・丘の山頂。霧・雲の白い世界で小鳥の声楽しみ戻る。車で少し移動。

○(十石山)8:15~9:35(1:20)上と同じ林道の登山口より往復。整備された道を徐々に下り降りて進むと(十石山)山頂。広葉樹の中の平坦な山頂。雲の中で、来たブナ等の森を楽しみながら戻る。

○(白菅山)11:10~18:35(7:25)山の南側林舗道堰堤・橋口より往復。三川山を目指したが、見つからず(白菅山)と周辺を歩き回り、徒労の中戻る。北側からのアプローチが正解か(?)。時折、陽光を垣間見つつ、沢沿いの林道を黙々と登り進む。オフロードバイクに抜かれ4差路で休むバイクの2人に挨拶。右の舗道進みピーク先より尾根目指しとりつき、すぐ稜線の1P。境界石のみで何もなし。北の奥に2P進むも同じで4差路に戻り、西へと進むも山らしきなく、4差路に再

び戻り、看板表示確認。近くに山あり、目指す三川山は、かなり遠い地図。止む無くゲートの先の砂利林道を一気に下ってゆく。途中、濡れた長靴を素足で履いていたため、長時間の歩きで、靴擦れ。止む無くそのまま歩き続ける。下り進み、鞍部より登り返し進むと白菅山登山口経てすぐ林舗道。舗道を上へと進み、ピーク経て下ると何と幾度も出会う4差路。止む無く先程の白菅山登山口より、ブナ等の広葉樹の森を案内表示とテープを辿り急坂登り進むと(白菅山)山頂 15:25。三角点ある、平坦な樹林の中の山頂。雲と小鳥の声に癒される。登山口に戻り、林舗道を山を探して先に下ったが、目指す山見えず断念し、林舗道に戻る。途中より稜線歩きし最初の1P経てショートカットで林道を下る。森・沢を楽しみつつ戻る。

○7/4(土)5(日)広島中央(1山)西部1山(5山) これでは新日本山岳誌の広島県を踏破:記載は、「山名」にて記載。(山名)は、新日本山岳誌以外の山で、山岳誌の山の残りは、島の山(島根・高知)を除くと山口県・九州・北海道の一部で約315山。7/5登山後現在で歩いた山は、3382山。4000名山までの山岳誌の残り約315山との差の約300強は、山岳誌以外の山歩きが必要となる。山仲間から貴重なお話を頂き、以前書き込みした各県の山(本をベース)、一等、二等三角点、千名山等のうち関西以西の近いエリア(九州はやや遠く山岳誌の山と同時進行で歩く予定)の山歩きがしばらくは、続く予定。新型コロナ、豪雨等でアプローチは、厳しさを増す可能性があり、ゆっくり歩きとなりますが、今後とも宜しくお願い致します。

○7/4(小田山)12:00~13:45(1:45)イラスケ登山口より往復。雨の中出発。整備された道を進む。鉄塔を2つ経て尾根進み、笹ヶ峠からと合流し東へ稜線進む。旧作業道横切り、急坂等登り進むと小田山山頂 12:25。一等三角点、平坦な樹林の中の山頂。雨で静か。来た道を峠分岐経て下ると雨も上がり、景観を確認しながら戻る。

○(経小屋山)16:30~40(0:10)林舗道終点の東屋まで車で行き散策歩き。丘を登るとすぐ経小屋山山頂。二等三角点、樹林の中の丘の山頂、霧で曇り。

○(河平連山コウヒレンザン)17:35~19:00(1:25)大里ヶ峠(東)登山口より往復。ピークが幾つもある山。稜線尾根を淡々と登り、滝分岐経て只管進むと第8峰。アップダウン繰り返して7、6と進み、5峰が河平連山山頂 18:15。少し削られた三角点ある、大岩の丘の山頂。散策していると雲が切れて、夕日、青空、山々、集落の眺めが素晴らしい。小鳥の声・風が清々しい。来た道を途中分岐より三段滝を鑑賞して戻る。

○7/5(剣上山)山頂 6:40「高鉢山」同 7:55(黒滝山)同 9:20 5:45~11:15(5:30)谷和集落より周回。登山口不明で止む無く目指す山の方角へと進む。獣ゲート経て沢から尾根に登りその稜線を辿り進むと作業道に出て十字路。向いの東側に山の表示あり、取り合えずそちらに進む。植林地経て、尾根進むと稜線。目指す山は反対の北側に見える。そのまま稜線を大岩のピーク(眺めがまるでもののけ姫の狼のねぐらにソックリで唸りたくなる)をいくつか経て最後急坂登り進むと剣上山山頂。大岩の上の灌木樹林の山頂で、ここで叫ぶ(ヤッホーと)。山々・朝日、沢・小鳥の音を大いに楽しむ。来た稜線の大岩ピークを楽しみながら、登山口に戻る 7:15。広い旧作業道を西へと下り気味に進む。目印より右へ入り、川を長靴で渡渉し平坦な道を進むと高鉢山入り口。落ち葉等のある緩やかな道を進み十字路。東へと急な岩々を慎重に登り進むと「高鉢山」山頂。二等三角点、樹林の中の丘の山頂。小鳥の声・朝日・虫の音を見聞きしつつ、剣上山等の山々・ダム眺めを楽しむ。十字路に戻り、先の黒滝山へトライ。途中に高七山があると思われる各ピークで山表示探したが見つからず(往復とも)。稜線の幾つものピークを黒滝への分数表示(3/10等)を辿って西へと進む。トンネル口からの登山道分岐の先の展望台より、ダム・山々などの豪勢な展望を大いに楽しむ。稜線を先へ下り登り返すとすぐ黒滝山山頂。樹林の中の平坦な

山頂。近くの道路の車の音・沢の音がかすかに聞こえる静寂地。来た稜線道を確認しながら十字路を経て登山口。東へ進み、再度渡渉し広い作業道に戻る。十字路を経てさらに東に進み、細い通路進むと獣避けの塀。扉口より集落側に出て入山ゲート口を確認して戻る。久しぶりの長い長靴歩きで少々疲れ気味。

○(大野権現山)12:50~15:20(2:30)自然公園駐車場より往復。蒸し暑さもあり疲労気味ながら、ゆっくりとベニマンサク湖の西の端まで散策しながら進む。林道に入り進むと登山口。緩やかな整備された道を進み稜線の合流点。トラバース気味に山腹の緩やかなアップダウン道を進む。大岩が出て来て、登り進むと大岩群の中に大野権現山山頂 14:05。三角点あり、神社ある丘の山頂。曇りで虫多し。大岩の上より街・山々の眺め楽しみ、来た道戻る。自然公園は、見学者まばら。今回はここまで。

○6/27(土)28(日)日本山岳誌以外 岡山西・北・東(7山)

○6/27(成羽天神山)10:40~11:05(0:25)林舗道登山口より往復。樹林の中の稜線進むと間もなく天神山山頂。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。曇りながら、太陽が顔出す。来た道戻る

○(荒戸山)12:40~13:40(1:00)神社口より周回。整備された林道をコナラの大木に感嘆しながら、倒木を回避して進み、分岐。左回りへ進む。玄武岩の柱状の亀裂の岩々等をトラバース気味に進み、坂を登り回り込むと荒戸山山頂。二等三角点、樹林の中の平坦な山頂。木漏れ日・そよ風が楽しい。先の展望台より山々の眺め確認して、東回り経て戻る。

○(天銀山)15:45~17:25(1:40)林道口より周回。林道進み、分岐で案内不明なため、作業道を上へ上へと登り進む。う回路を取らずに直登で急坂の植林地を木等に掴まりながら登り進む稜線。右に(北へ)と稜線を笹小藪等分け進み、最後は、道不明で小藪を分けて進み天銀山山頂 16:30。二等三角点、植林・広葉樹境界の樹林の中の丘の山頂。曇り・小雨パラつく天気、静か。来た道を稜線のテープ辿り笹等分け下り、来た道を過ぎて尾根を黙々と下る。雨が降り出すも、急坂・倒木・小藪あり、道迷いを避けるため、一心に下り、平坦地に出ると、そこは草藪で、旧作業道らしきあり。既に濡れていたが、雨具を付け。草藪分けて道を探しながらも山イチゴを楽しみつつ、進む。少し開けた作業道から林道に出て、只管下り、分岐で案内図見るも不明で、そのまま下へと下り、見覚えのある表示を見て安堵しつつ無事戻る。

○6/28(三坂山)6:35~9:20(2:45)山の北側の大山のみちを往復。昨晚の雨で遅い出発。林道を進み、沢が寸断した崩壊道の大きな土管を慎重に越えて進む。イチゴは旬が過ぎつつあるが楽しみながら、林道を進み終点が登山口。古道の史跡のある整備された道をゆっくりと進む。東屋・地蔵等経て進むと十字路の道祖神の峠。右に(西へ)急坂・なだらかを繰り返す稜線を進み 1Pの屈曲点で西へ下り急坂登り返し2P。岩稜の急坂を慎重に下り登り返すと三坂山山頂 8:05。二等三角点、かん木・丘の山頂で、風・小鳥の声・虫とこの時期の山を楽しむ。来た道を急坂は慎重に下り、峠。後は軽快に下り林道。天候が良くなり、陽光・沢・イチゴを楽しみながら戻る

○(三ヶ上)10:55~12:55(2:00)林道終点の芝生口より往復。整備された広い坂道をゆっくり登り進む。樹林の中の粘土質のすべりやすい道から、大きな石ころ道となり、水場。登りはパスして、樹林の中の木漏れ日の道を淡々と登り進み、なだらかとなり三ヶ上山頂 11:45。修行僧の石仏ある、丘の草原の山頂。山々・街の眺め良い。奥へと下り登り返して南峰。さらに先へ下り進むと開けた三角点ある場所。日差し強く来た道戻り、三ヶ上。遙か先に2山あり、道らしきもあり、行けそうだが、ルート不明で断念し下山。樹林帯で車で追い越した麓から歩いてきた親子3人連れに挨拶。樹林の中の森林浴を楽しみ、沢水で喉を潤し、芝草の登山口に戻る。

○(黒沢山)14:40~15:25(0:45)林舗道途中の電波塔口より往復。山頂近くまで車で行けそう

だが、途中に駐車し舗道坂をゆっくり進む。寺との分岐を左へ進み、道なりに進むと山頂案内の登山口。自然歩道の階段道進むと黒沢山山頂。三角点・ベンチのある、まばらな樹林の平坦な山頂。風・小鳥の声で涼み、来た道戻る。

○(妙見山)17:20~17:30(0:10)林舗道を車で山頂下の登山口まで行き、坂を登るとすぐ妙見山山頂。一等三角点、樹林の中、電波塔脇の丘の山頂。登って来た自然歩道、整備された草原を散策し戻る。

○6/20(土)21(日)広島北・東 3山(8山) これで広島県はあと1山。あと主な残りは、山口、九州と北海道の26山で合計約330山。このままでは、4000名山に約350山が不足。止む無く、各県の山の本、各地区の100名山、1,2等三角点、日本千名山などで関西以西のエリアを主体に組み込むため、日本山岳誌以外の山がこれから増えます。表示は(山名)で、ご了解願います。

○6/20「市間山」山頂 9:50「立岩山」同 10:45 9:05~13:10(4:05)林道登山口より往復。

植林地の急坂・広葉樹林の尾根を進み、市間山山頂。三角点ある樹林の中の丘の山頂。小鳥の声・緑陰が心地よい。先へ稜線をアップダウンしながら、ブナ等の森を楽しみながら進む。大岩を左から巻いて立岩山山頂。稜線・岩稜の丘の山頂。三角点あり、ダム・山々の眺め良く、太陽は顔だけ出さず曇り。来た道に戻る。途中地元の方9名のグループに挨拶。

○晴れ(天狗石山)山頂 14:35(三ツ石山)同 15:10(一兵山家山)同 17:00 13:40~17:40(4:00)来尾峠よりそれぞれ往復。車が数台停まる峠より東の急坂尾根を淡々と進みなだらかになり進むと天狗石山山頂。大岩と展望台のある山頂で、山々、先の平坦地の眺め良い。先へ下り、旧無線施設等の平坦な舗道を東へと進む。案内表示で左へ進み、湿地帯を経て樹林の中進むと三ツ石山山頂。平坦な樹林の中の山頂で、三角点あり。来た道を天狗石を経て急坂を慎重に下り、来尾峠 16:15。そのまま西向かいの山へ。急坂の土塁道らしきを進み、1P。稜線進み、屈曲点で西へ下り、ゆっくり登り返し進むと一兵山家山山頂。二等三角点ある平坦な山頂。周りは、樹林・笹で青空・小鳥の声・陽光が心地よい。来た道戻る。

○(大潰山)18:20~19:20(1:00)林舗道登山口より往復。沢沿いに進み、樹林帯の急坂・直登道を遅いスタートのため、急ぎ足で登り進む。緩やかになり、大潰山山頂 18:55。三角点ある平坦な広場の山頂。雲が湧き、青空・鳥の声聞いて静けさを楽しみ、急ぎ足で来た道戻る。日が長く、明るいうちに戻れた。

○6/21「深入山」5:20~6:45(1:25)南登山口より往復。急坂の草原の中の、滑りやすい固い土の道を進む。時折り朝日が顔を出す。ガレバ道を経て東ルートと合流し稜線進むと深入山山頂 6:00。平坦な広場の山頂。三角点あり、北側に山の同定用の案内図2つあり。ここから眺められる西中国の山々は、ほとんど歩いたことが確認でき、苦労の記憶が蘇る。よくもまあ、歩いたと自分を褒めたい。地元の夫婦連れに挨拶し山話。草原の景観を楽しみながら戻る。

○(牛曳山)山頂 13:05(伊良谷山)同 13:25(毛無山)同 14:00(竜王山)同 16:25 12:00~17:55(5:55)比婆県民の森センターより周回して往復。多くの車が駐車する中、東側のキャンプ場からの山案内を辿る。緩やかな遊歩道の樹林帯の道をさほど暑くもなく淡々と進む。稜線に出て、東へ進むと牛曳山山頂。表示棒にマジックで山名が書かれている。ピークは小藪の中で、境界杭あり。樹林の中の稜線のピーク。分岐に戻り、北へ尾根を進むと間もなく伊良谷山山頂。人が幾人かいて賑やかな灌木・岩の丘の山頂。開けていて日差しを真ともに受ける。三角点あり。先へと縦走路進む。静かな樹林の中を下り、登り返して進むと毛無山山頂。三角点ある広い平原の山頂。一息入れ、風・遠くの山々の風景を楽しむ。かなり間隔を空けて話す4名のご婦人方にセンターへの直ルートを確認に教えてもらい下りへ。樹林の中、広いつづら折れの遊歩道を淡々

と下り進む。家族連れが多く挨拶しつつ、センターに戻る 14:50。ここから、この4月に歩いた山の記憶を思い返して、立烏帽子下の駐車場からの次の山ヘトライすることで出発。林道を淡々と登り進み、展望地分岐より左へ稜線下の整備された道を軽快に進む。巨木のブナ等の森の稜線をアップダウンしながら上へ上へと進むも、少し遠い気がしだすと足の疲れでゆっくり進む。何とか立烏帽子下の駐車地に出る 16:00。あとは、南へと階段道経て平坦な稜線の樹林帯を進む。林道を横切り、奥に稜線を進むと竜王山山頂。広い草原の平坦な山頂。三角点あり、陽光・小鳥の声・山々の大展望を大いに楽しむ。来た道戻り、林道で登山者に挨拶。部分日食の時間帯だと教えてもらい挨拶。少し気にしつつ、太陽を眺めて、何とか一瞬だけ、日食らしき見えて満足。来た長い道のりを淡々とブナ巨木・木漏れ日等に支えられながら、林道に出てセンター駐車場に戻る。遅い時間で満杯だった車は、ほぼゼロとなっていた。今回は、無茶な下道移動に4時間をかけたが、夏前の緑陰・陽光・山々の景観・ブナ等の豊かな森を大いに楽しめて大満足。

○6/14(日) 日本山岳誌以外の兵庫西(2山)曇りのち雨

○(城山) 13:40~14:50(1:10) 一等三角点 曇り 林舗道ゲート口より往復。ゲートよりすぐを左に入ったが道は旧作業道で藪で進めず、舗道に戻り進む。左の山側の旧道入口より整備されたつづら折れの道を進み、大手門跡で本道と合流。二の丸経て本丸の城山山頂。一等三角点、広場の平坦な山頂で、加古川の街・山々の眺めあり。城跡の石碑等あり。雨上がりの蒸し暑い曇りで家族連れを見かける程度。来た道戻り、途中から直下りの急坂・岩々を経て戻る。

○(書写山) 16:45~18:45(2:00) 日本千名山の山。小雨の中、東坂参道を往復。街の中を登山道案内辿り、街外れの登山口より整備された参道を丁目の石柱表示頼りに岩々道を直登で進む東屋経て寺社門・ロープウェー山頂駅経て奥に進み本堂。右脇より白山権現を目指し、流水で掘られた道を雨が強くなる中進み、白山権現。参拝しその上が書写山山頂 17:45。樹林の中の丘の山頂。来た道を淡々と戻り、東屋より姫路の街の眺めを一望でき満足。岩は滑らないよう慎重に歩いて戻る。

○6/6(土)7(日) 広島北4山(3山) 島根南2山(1山) これで  
島根県の残りは隠岐諸島の4山

○6/6「雲月山」山頂 10:50(岩倉山) 同 10:20(高山) 同 10:35 10:10~11:25(1:15) 雲月峠登山口より往復。急坂の草原道登るとすぐ(岩倉山)山頂。稜線末端の草原の山頂。西へ稜線を下り登りして進むと(高山)山頂。丘のピークで岩倉・雲月の草原の稜線の眺め良い。下り別ルートと合流し稜線を進むと「雲月山」山頂。稜線の丘のピーク。二等三角点、草原の稜線・山々の眺め楽しむ。ニガナの花を教えてもらい、来た道戻る。登山者多い、人気の山。ササユリはまだのよう。

○「大佐山」山頂 13:40(三方山) 同 14:45 12:35~16:30(3:55) 大佐スキー場より往復。スキー場の作業道、ゲレンデの端を登り進み、急坂草地経て平坦地。旧休憩所経て最終リフトの先より山入り。稜線進むとすぐ「大佐山」山頂。二等三角点、草原の岩のある平坦な山頂。山々・集落の眺め良く、小鳥の音が楽しい静かさ。奥へと稜線の縦走にトライ。稜線の灌木帯から樹林帯のブナ等の森林浴を楽しみながら進む。幾つかピーク経て、別ルートと合流し土塁の道を進むと(三方山)山頂。土塁のピークで、陸軍の標石ある三差路の丘の山頂。樹林の中、木洩れ日楽しみ、来た道を少し黄イチゴを楽しみつつ戻る。

○「掛頭山」17:20~45(0:25) 電波塔のある林舗道終点より散策。砂利林道を奥へ進み、スキーリフト終着点の先のピンクテープから登るとすぐ掛頭山山頂。樹林の中の平坦な山頂で三角点あり。林道からは、曇りながら少し麓の眺めあり。

○「臥龍山」18:00～19:20(1:20)車で少し林舗道に戻り、同山との縦走路の標柱のカーブ口よりトライ。遅い出発で、急ぎ足で整備された広葉樹の森を進む。すぐ猿木峠で別ルートと合流。なだらかな道を淡々と登り進む。再び別ルートと合流し、進むと臥龍山山頂 18:45。大きな岩・ブナ等の広葉樹の中の丘の山頂。一等三角点、大岩に足掛かりを探し登り満足。下りは先に進み慎重に下る。遠くで雷の音あり、すぐ来た道を急ぎ戻る。日が長く助かる。

○6/7「春日山」5:30～7:35(2:05)林舗道のこしまつ橋先の駐車地より往復。林道を淡々と登り進み、清水の先の右側の登山口より山入り。植林地を経て広葉樹の森を距離表示に助けられ進む。緩やかになり進むと鳥居のある神社の春日山山頂 6:35。樹林の中の丘の山頂で、南側より雲海・山々・朝日・小鳥の声を大いに楽しむ。山写真の案内あり、幾つか登った山の同定を楽しむ

山を下り始めるとすぐ曇りとなり、山頂の天候に感謝し戻る。

○(葎草山)8:45～11:25(2:40)山の南の林舗道宿木谷線途中より往復。前の山の近くにある一等三角点を目指す。林道進み、作業小屋の先は旧道であまり使われていない様子。草を避けながら奥へと進み、林道終点。先の峠までと何とか草等分けて進むが沢は何も目印・踏み跡なし。止むを得ず右(東)側の植林地の急坂の獣道らしきを上へ上へと登る。尾根稜線に着き、取り合えず上へと尾根稜線を辿り1P。何も無いが先に目指す(?)山らしき見えてそちらへ稜線を確認しながら東へと進む。急坂を左から回り込むように登ると広い平坦な展望広場。山々・海岸線の眺めが良い。奥へと進むと(葎草山)山頂 10:15。一等三角点、樹林の中の丘の山頂。木漏れ日・小鳥の声楽しむ。本道は向いの稜線より来ている。来た道を稜線辿り下るが、途中より道不明となり、尾根を取り合えず来た方向へ下る。孟宗竹の林より先に下れず、少し戻り沢筋より下るとすぐ林道に出て少し安堵し、暑い日差しの中、戻る。

○「弥畝山」13:30～16:55(3:25)林舗道弥畝線峠より往復。風力発電の舗道を少し進むと階段道の遊歩道でアップダウンしながら進み、展望案内図より振り返って眺めを楽しむ。先へ進むと風量発電 11 号機。そのまま砂利道を進むと反射板あり散策し、再び遊歩道に出会い、そのまま奥へと進む。ブナ林を楽しむがそこで道が終了のため、テープのある先へ笹藪分け進むと作業道。ピークを目指し、再び笹藪に突入し、藪漕ぎして1P。何も無く先へと作業道へ笹を分け下る。その作業道を奥に進む。途中ショートカットして作業道に再び出ると右側に旧道あり、そこを辿り進む。奥の風力発電に出て、反射板見つけそこに登るが茨・藪で動けず、道らしきを探し進み途中より引き返し、再び笹藪に突入してピークを探す。平坦なピークとなり弥畝山山頂 15:35。樹林の中のピーク。帰路は、笹藪を分けて、風力発電に出て、来た道らしきを迷いながらも作業道を辿る。電波塔への舗道より遊歩道を辿り、穏やかな日差しの中、予想よりはるかに時間を費やしたが、無事戻る。

○5/30(土)31(日)広島北4山(4山)

○5/30 晴れのち曇り「伴蔵山」9:35～11:05(1:30)舗道を車で進み、展望台周辺を笹小藪分け探したが山が不明。その展望台入り口向いの舗道を少し下ったところに石碑のある広場あり、そこから旧作業道進み終点まで進むと電波塔が見えて、そこへの舗道に経てすぐ伴蔵山山頂 10:50。無線中継所の丘の山頂で、三角点あり。視界今一つ。来た旧作業道を山イチゴ楽しみ戻る。

○(大仙山)12:05～10(0:05)車で山頂まで行き散策。小藪の中に三角点あり。

○(神ノ倉山)13:25～45(0:20)車で山頂まで行き散策。大岩に山頂の表示あり、電波塔脇の岩場より山々、集落の展望良い。南の奥に進み、藤棚の先の石積みの上に三角点を確認。

○「龍頭山」16:10~40(0:30)林舗道終点の広い駐車場より往復。整備された遊歩道進むとすぐ龍頭山山頂。三角点、方位盤ある丘の山頂。山々、田園・集落の眺めが抜群。崩壊しかけた立ち入り禁止の東屋あり。曇りながら、5月の風を楽しみ戻る。

○「熊城山」山頂 18:25(丸掛山)同 18:55 18:05~19:15(1:10)林舗道終点より往復。日が長く明るいうちに戻る。整備された公園の遊歩道の階段道を上へ上へと進み、三差路分岐。右へ(北)急坂階段経て稜線進むと熊城山山頂。三角点ある稜線のピークで樹林の中で風あり、曇り。先へ道を確認し来た稜線道を分岐・鞍部経て登り返してなだらかな道を進むと(丸掛山)山頂。植林等樹林の中の丘の山頂。樹間より夕焼けを楽しむ。来た道を三差路経て戻る。時折パラ雨あり。

○5/31 雨のち曇り「阿佐山」山頂 10:55(毛無山)同 12:20 9:20~13:50(3:30)林道阿佐山橋口より往復。昨晚より雨で少し天気回復を待ち遅い出発。林道分岐を右へ進み、木橋を2つ経て、沢沿いに登り進む。道を覆う草・笹の露で雨具も濡れつつ、植林の尾根道を辿り進むと稜線に出て二十丁峠の三差路の縦走路分岐。左(北)へなだらかな樹林帯の道を進む。ブナ樹林帯に出て、下り登りして最後笹を分けて進むと小屋でその奥に笹を分けて進むと阿佐山山頂。一等三角点、周り樹林・笹の丘の山頂。小雨で開いてない小屋(側にアンテナあり)の雨避け庇のあるベンチで少し雨宿り。下りは、ピンクテープの多い道を間違い下り(電波塔の線あり)、引き返し笹等分け地味な進んで来た道(あまり目印なし)を淡々とブナ林等眺めながら下る。三差路分岐(11:35)で、今日はこの山系のみ決めて縦走にトライ。整備された縦走路をアップダウンの少ない西側の山腹経てなだらかに下り、十字路分岐。表示・テープ多いが、不明で、とりあえず直進(南へ)しなだらかな稜線を進む。少し草露が気になるが道はしっかりわかり、幾つかの支線合流して進む。平坦になり、大きなブナに囲まれた(毛無山)山頂。三角点ある樹林の中の丘の山頂で、ブナの大木・霧霞が幽玄の世界を垣間見せてくれ、大満足。来た稜線を十字路経て二十丁峠分岐。あとは、来た尾根道、沢筋の道を清流・堰堤を確認しながら下り、滑りやすい木橋2つを慎重に渡って戻る。古い雨具と少し亀裂のできた長靴は、雨水避けならず、ズボン・靴下はビショ濡れで、今回はここまで。

○5/22(金)休み~24(日)島根南・中部・西 11山(4山)晴れ

○5/22「冠山」9:40~12:40(3:00)野原谷登山口より往復。整備された登山道進み、たたら跡の水場で一息入れ、トラロープの急坂経て進むと稜線の三差路。右へ急坂登り進むと冠山山頂11:10。二等三角点、稜線のピークで、360度のパノラマ、山々・集落の眺め楽しむ。先へ稜線進み西峰確認し来た道戻る。登山者1人に挨拶。

○「京太郎山」山頂 14:45(おむすび山)同 15:45 13:50~15:55(2:05)林道石見高原線入った旧駐車場よりそれぞれ往復。道不明で稜線に登り、獣道らしきを西へ辿る。時折テープ見かけ、アップダウンしながら笹等分けながら進む。急坂経て左へ進むと京太郎山山頂。三角点あり、樹林・小笹の中の丘の山頂で、陽光心地よい。少し山々の眺めあり。来た稜線を慎重に確認しながら戻り、駐車地より先へ舗道進むと本来の旧駐車場を確認。その側のピンクテープより山に入り、尾根を直進すると(おむすび山)山頂。標石・杭のある平坦な樹林の中の山頂で、すぐ駐車地に戻る。

○(高山弥山)18:10~19:25(1:15)電波塔への鎖ゲートより舗道を往復。NTT 電波塔確認後先の高い山に進む。その山は(高山弥山)で三角点ある樹林の中の丘のピーク。先へ進むも下りのため戻る。夕日楽しみながら薄暮に戻る。目指した高山は不明。

○5/23(土)晴れ「高山」4:50~7:50(3:00)昨日のリベンジで NTT ゲートより往復。林舗道進

み途中朝日拝む。ショートカットの電線路進むと電波塔下の道。再び高山弥山踏み、先へ進むと下りで山らしきなく、聖人石等散策し戻る。案内を見返して、NTT の電波塔が高山と気づき再度登り直して電波塔。周りの笹藪の獣道等かき分け 1 周したが何もない。朝日・小鳥の声・高山弥山の眺め楽しみ戻る。少し車を移動し(城上山)へ。作業道等進み、鉄塔下より稜線、急坂、獣・岩・樹林の中を淡々と登り(城上山)山頂確認し来た急坂を慎重に下り、作業道の山イチゴを楽しみ戻る。

○「矢滝城山」8:30~9:40(1:10)矢滝トンネル東口より往復。整備された道進み、稜線より山腹を巻くように進み、開けた丘に出ると矢滝城山山頂 9:10。小屋があり、先客(冠山で会った人)に挨拶。大きなマムシ居てびっくり。そのマムシは、穴に入りしっぽだけ出していたのですぐ通過。三角点のある広い城跡の山頂で360度の大パノラマ。晴天で昨日・今日歩いた高山・海・町の眺め良い。来た道を森林を楽しみつつ戻る。

○「大江高山」10:05~12:30(2:25)飯谷登山口より草刈りのご婦人方にお礼の会釈をしつつ、日差しの強い林舗道を進む。田植えの時期で田園風景を見ながら進み、参道の石段経て神社を参拝。左側の奥へ進むと登山道。急坂ロープ道、岩・ロープの急坂を只管上へ上へと登り進む。稜線となり西へ進むと大江高山山頂 11:25。一等三角点、周り樹林の広い平坦な山頂で山・海・集落の眺め良い。暑さで少しバテたため、一息入れ、急坂を慎重に下り戻る。

○「浅利富士」15:05~16:10(1:05)少年自然の家駐車場より往復。整備されたコンクリの参道進み、大岩等の岩石道進むと浅利富士山頂。大岩のある丘の山頂。街・海岸線・山々の眺めを大いに楽しむ。奥の地藏堂参拝し戻る。

○(高角山)17:15~18:35(1:20)NTT の鎖ゲートより舗道を往復。電波塔目指し進む。展望台への山道へ入り進むとすぐ(高角山)山頂 17:50。一等三角点、電波塔脇の丘の公園の山頂でパノラマの大展望。山々・海岸線等の眺めを堪能。一等三角点でラッキーな夕日に感謝し戻る。

○5/24「漁山」4:50~6:05(1:15)野坂峠鳥居口より往復。整備された植林地の道を淡々と進み、林道に出て、さらにコンクリの急坂道登り進むと漁山山頂。二等三角点、小屋・反射板のある山頂で、山々・海の眺め、朝日を楽しみ戻る。

○「大麻山」7:10~45(0:35)神社より往復。参道階段進み、神社参拝し、左の舗道進むと電波塔群の公園の広い平坦な山頂。展望台より山々・海岸線の眺め楽しみ、左のコンクリ道・神社経て戻る。

○「比礼振山」9:05~20(0:15)舗道を山頂まで車で登り散策。海岸線の眺め楽しみ、神社参拝し三角点を確認。電波塔のある公園の山頂。

○「日晩山」10:10~13:15(3:05)滝側のルートを往復。日差し強い中、広い道路脇に車を止めて、入り口の林舗道に戻り、出発。林舗道進むと広場でそこが登山口。沢沿いの溪流・滝を眺めながら、木洩れ日、沢の涼風等でさほど暑さ感じず、渡渉・岩の階段等を登り進む。沢に下り登り進むと親子に会い挨拶。沢が細くなり、源流確認点経てすぐ稜線となり日晩山山頂 11:45。まばらな樹林の広場の山頂で、三角点あり、展望台より海、山々の眺め良い。一休みして下ると親子連れに再び会い挨拶し、木洩れ日・沢水・滝を楽しみながら戻る。

○「金木山」14:55~16:15(1:20)林道途中より往復。日差し少し和らぐ中、地元の方に駐車地を確認し了解をもらい出発。林道進み終点近くで右へ入ると登山口。竹林・植林の整備された道進む。急坂・ロープ道経て進むと金木山山頂。三角点あり、丘の細長い山頂。山々・田園・集落の眺め良い。来た道を淡々と戻り、林道の駐車地近くで地元の方に山の整備の御礼の挨拶。今回はここまで。

○5/17(土)18(日)広島北1山、島根南2山(1山)

○5/17 曇り小雨

○「猫山」13:00~15:10(2:10)北側登山口より往復。広い駐車場より整備された登山道進む。沢沿いの道を上へ上へと左にスキー場見ながら進み同終点より合流し渡渉して右にトラバ道を進む。幾つか沢経て、稜線尾根より急坂・緩やか・急坂道進み、猫山山頂 14:10、二等三角点、岩の丘の山頂。新緑のブナ林の中の山頂。雲で視界なし。来た稜線尾根を慎重に下り、途中湧き水楽しむ。トラバ道経て、リフト終点よりスキー場に出て、山々・田園風景を楽しみ戻る。

○「玉峰山」16:25~18:05(1:40)森林公園登山口より往復。整備された登山道を、沢沿いに進み、山荘分岐より尾根のつづら折れ道進む。潜り岩、大岩等経てなだらかとなり進むと玉峰山山頂 17:15。三角点ある樹林の中の山頂。曇り、草つゆでズボンがびしょ濡れ。来た道戻る。帰りは、登りにパスした雄滝を見物して戻る。

○5/18 晴れ

○「三郡山」5:15~7:20(2:05)山の南西の亀嵩林道橋手前より往復。橋経て林道進み終点が登山口。小川渡り、自然観察登山道の整備された道進む。倒木等避けつつ、新緑の森を急坂、緩やか、急坂経て進み三郡山山頂 6:15。開けた丘の山頂で二等三角点あり。方位盤、幾つかのルートあり。朝日、雲海、山々の眺め、小鳥の声等別天地に居るよう。来た道をブナ等の新緑の森を楽しみつつ戻る。昨日の玉峰山と砂の器の案内合わせてお勧めの山。

○「琴引山」山頂 10:50、(草ノ城山)同 12:20 9:10~15:00(5:50)スキー場口より往復。スキー場を登り進み登山口。沢沿いの整備された道を進む。十畳岩、大神岩経て進み、両脇大岩の石段経て神社参拝し上へ進むと琴引山山頂。二等三角点、岩・土台石の残る丘の山頂。山々・集落の眺め良い。先へ大万木山への縦走路にトライ。見事なブナ林を見つつ、下り登り返して、別縦走路と合流し北へと縦走路を辿る。アップダウンしつつ、ブナ林に魅せられ、進む。遥か先に山らしきあり、遠く、引き返そうかと思案したが、今日はここで終了と決めてブナ等の森の稜線を辿る。別ルートの登山者に会い挨拶し、目指す山はまだ先かと確認。もう少しと教えてもらい、林道からの別ルート道と合流し、急坂登り進むと予定した(草ノ城山)山頂。ブナ林等の中の丘の山頂で、遥か先に大万木山等の山々が見える。少し疲れたが、来た道をブナ林の木漏れ日等に癒され、淡々と戻る。最後鞍部からの登り返しは長く感じたが、何とか琴引山に戻り 14:05、神社・岩々等経てスキー場に出て戻る。今回はここまで。

○5/1(金)休み~5/6(水)連休山歩き 3300 名山を踏破 その3

○5/5 佐賀西3山(2山)、長崎北2山 晴れ

○「黒髪山」山頂 6:25「青螺山」同 7:45「牧ノ山」同 9:10 5:45~10:50(5:05)乳待坊登山口より往復。整備された石段等の道を進み見返峠十字路。南に進み、大岩の下から切り返して鎖・梯子・ロープの岩盤の道を滑らないよう慎重に進み稜線。南へ進むと天童岩のある黒髪山山頂。北側以外絶壁の大岩の山頂で、雲で視界今一つ。見返峠へ慎重に戻り、北へ。稜線進み次のピークが(青螺御前):樹林の中の岩の山頂で、晴れて青螺山の眺め良い。一旦下り急坂を登り返すと青螺山山頂。黒髪連山の最高点のピークで、樹林の中ながら南側に晴れて登って来た山々が朝日・青空の中に見えて至高の山歩きを満喫。稜線をさらに北に進む。途中の大岩の急坂は、濡れて滑りやすく、ことさら慎重に下り、3つの合流・分岐点(青牧峠他)の鞍部より登り返し進むと(牧Ⅱ峰):樹林の中のピークで、小鳥の声、雲の先に街も見え晴天で別天地にいるよう。さらに少し稜線を進むと牧ノ山山頂。樹林の中の丘の山頂。三角点あり、木漏れ日が心地良い。来た稜線に戻り、青螺分岐より国体の縦走路のトラバ道進む。支尾根からすぐの下りの岩場で靴が

滑り、右手の平について無事であったが、岩に右手の平を強打し打撲(昨日の擦り傷の失敗で軍手をして少し助かったが・・)。他特に大きな支障なくそのまま歩き、見返峠経て戻る。峠から登りの幾組かの家族連れハイカーとすれ違いし、人気の山を確認。

○「国見山」11:20~12:45(1:25)林道終点(九州自然歩道)より整備された階段進み緩やかになり進むと国見山山頂。一等三角点、樹林の中の平坦な山頂。展望台より山々の眺め良い。家族連れ等見かけ挨拶。

○「八天岳」13:10~45(0:35)車で山頂まで行き散策。電波監視施設等あり、付近を散策し三角点と山頂表示確認。

○5/6(水)晴れ 大移動し山歩き 島根南1山

○「鈴ノ大谷山」11:50~14:00(2:10)R3入江山橋より未舗装の林道を車で進み、途中の通行禁止表示から往復。沢沿いの林道を堰堤等を見ながら進み、登山表示がないため、行き過ぎて戻り、東へ小沢沿いの急作業道を茨を避け、洪水防止の高い流水用堤を乗り越えながら直進。尾根稜線まで進み、ピンクあり。そのテープの稜線を北西へ辿る。トラロープ・境界標を目安に覆い被さる笹をかき分けかき分けして、急坂・踊り場・急坂進み、なだらかとなり鈴ノ大谷山山頂13:05。周りが笹・ブナ等樹林の丘の山頂。山表示板幾つもあり。初夏の日差し、小鳥の声のみで静か。来た稜線の急坂を笹に掴まりながら下り作業道。林道に出て沢の流れと陽光の輝きに癒されながら戻る。今回はここまで。

○5/1(金)休み~5/5(火)連休山歩き 3300名山を踏破 その2

○5/3 雨時折曇り 佐賀南2山、長崎北1山(1山)

○「御船山」10:40~11:55(1:15)武雄神社口より往復。神社参拝しと大楠の木見て、梅園奥の登山口より往復。時折大雨・雷のなる不安定な天気の中、オレンジテープ辿り急坂登り一気に御船山山頂11:20。大岩と社あり、参拝し街と山々の眺め確認。雨で滑る中、慎重に下り戻る。

○「黒岳」14:10~15:05(0:55)陥没舗道手前より往復。九州自然歩道進み、鉄塔下より直登し、再び本道と合流。つづら折れの雨で滑り易い急坂道をゆっくり進み、稜線。左へ進み黒岳山頂14:35。三角点あり、大岩のある丘の山頂。稜線の奥に稲荷神社あり、参拝して戻る。

○「安満岳」17:10 から 17:55(0:45)駐車場より往復。自然歩道を下り上り返して広場。ここから西へ石積の道を進み安満岳山頂。神社あり参拝し、南側の絶壁確認し戻る。少し移動し○(鯛ノ鼻)18:25~19:15(0:50)鯛ノ鼻公園を散策したが、山がなく、駐車場手前の旧林道より往復。急ぎ足で少し下り谷よりテープ目印に稜線を辿ると三本テープ、のぼり旗竿のある鯛ノ鼻山頂。樹林の中のピークで、南側に展望あり。夕方となり、急ぎ足で、来た稜線のテープ辿り、薄暮に戻る。

○5/4 小雨・曇りのち晴れ 長崎北3山、佐賀西2山「伝説のハイカー編」

○「屏風山」山頂6:15「佐志岳」同7:55 5:25~9:45(4:20)早福トンネル南口手前林道より大周回。舗装の林道進み、早福港分岐より左へ進むと屏風山登山口。樹林の直登道進み、鳥居より石段・石積の整備された道を進み、電波塔経て屏風山山頂。石仏の脇に一等三角点ある、樹林の中の丘の山頂。展望台からも視界なし。下りに転び右小指擦り傷。登山口から舗道分岐に出て早福港への舗道進む。峠で両側コンクリの切通しで先に進むと目指す山側の右側に古いテープ確認。急斜面の獣道辿り上の稜線に出る。あとは、北へと稜線をいくつかのピーク経て進む。最後の大きな山は、稜線を左に進み、岩場の急坂を何とか登る(下りで降り口探しに一苦労)。その上は、急坂で進むと大きな岩稜帯で取り付こうとするが、上が不明のため、途中に見た獣道を右へと半周位、トラバースしつつ回り込み、上へ登れる位置に進み、つつじの花を見ながら稜線

に出る。北へ進むと佐志岳山頂。権現・仏像のある丘の山頂。岩々が散らばる草原。小雨で視界今一つ。来た道戻る。無理やり登った降り口探して時間・体力浪費しつつも、慎重に岩々の急坂下り、最終ピークの岩場迄何とか進むがその先が不明に。沢に2度下り、方向を再確認し尾根に登り返し、進む方向を再確認する。幸い車道の車の音が時折聞こえる。2つ目の沢から南側の尾根に登り、確認していると車道らしき見え、その南方向に急坂下り進むと早福トンネル南口。上を進み西側の広い用水路に出る。用水路と道路の間の急なコンクリ道下るとすぐに尻餅。何とか転がらずに、水の少ない階段状の用水路に長靴で下りて、無事舗道に出て戻り大安堵。疲労で大休止。

○「白岳」12:00~12:55(0:55)大鳥居口より往復。石段を登り神社で参拝。左に進み、急坂経て、岩場に出る。この急な岩場を慎重に登ると後ろに公園と池の眺めが良い。森への入り口が不明で、左の端より森を進み、本道に合流し進むと白岳山頂。二等三角点のある周り樹林の平坦な山頂。本道を下り、先の岩場の左端に出る。西へ回り込み来た岩場を慎重に下って戻る。

○「大野岳」晴れ 14:30~50(0:20)山頂口まで車で行き散策。公園の道を進み、高い平坦な広い大野岳山頂。山々の大展望と小鳥の声、そよ風を楽しみ、下りに桜の脇の二等三角点、山標識を確認し戻る。

○「腰岳」16:05~17:00(0:55)トラピスト院奥の林道より往復。大水で荒れた林道を確認しながら、2度林道をショートカットし林道を先へ進むと登山口で山頂まで300mの表示。急坂の滑り易い直登道を登る。途中下りの登山者に挨拶して登り進み、なだらかとなり腰岳山頂。三角点、2つの石碑、共同アンテナのある丘の広い山頂で北側に伊万里の街、南側に山々の展望を楽しむ。来た道を軽快に戻る。

○5/1(金)休み~5/5(火)連休山歩き 3300 名山を踏破 その1

○5/1 晴れ 島根南2山(1山)

○「大神ヶ岳」山頂 11:05(赤谷山)同 11:45 10:30~12:55(2:25)鳥居のある登山口より往復。整備された登山道進み、平岩・社・潜り岩経て岸壁の下の社を参拝し、右回りで登り、回り込み大神ヶ山山頂。大岩の南側絶壁の山頂。山々の眺め最高。そこから奥へと稜線を下り、登り1P。展望良い。さらに稜線を西に進み立岩経て進むと赤谷山山頂。二等三角点、稜線のピークで、南側の眺め良く、小鳥の声・そよ風がさわやか。日差しは初夏。来た道戻る。登山者2人に挨拶し、ヘビ3匹に遭う。

○「安蔵寺山」13:40~18:05(4:25)匹見登山ルートより往復。林道途中より鉄板橋2つ渡り、旧林道を直進し、倒木で迂回しながら進み、旧林道終点の登山口。沢を渡り、分岐で新ルートへ。整備された急坂を進み、ブナ林経て稜線。西へ稜線を下り上り返すと安蔵寺山山頂 15:35。二等三角点ある、平坦な山頂で、山々の眺め良い。帰りは中峰に寄り来たルートを下る。途中、沢で忘れ物の勘違いし再び2山歩き戻り(40分のロス)。あとは淡々と来た道確認し戻る。

○5/2 晴れ 島根南3山

○「燕山」5:10~7:45(1:35)安蔵寺トンネル登山口より往復。つづら折れの植林地道登り、稜線。北へと下って行き、打原峠の十字路。ここより稜線を登り返し植林地の急坂進むと燕山山頂。三角点あるヒノキ樹林の丘の山頂で山々の眺めあり。来た道を峠に下り登り返してブナ等の大木の森を楽しみながら戻る。

○「三子山」9:05~12:10(3:05)石谷登山口より往復。登山口の作業の方より道を教えてもらい往復。その方の軒先を通り、ワサビ田経て、奥へと植林地を進む。幾つか沢を経て、さらに沢沿いの道を辿り、つづら折れの道経て稜線。右へ急坂登ると北峰。北側の眺め良い。戻り西へ進

むと三子山山頂の中央峰 10:45。二等三角点、周り樹林の広い丘の山頂。さらに奥に進み、南峰を確認し、再び中央峰経て来た道下る。途中おいしい沢水を初夏の日差しの中、楽しみ戻る。

○「盛太ヶ岳」13:50~16:45(2:55)北側林道途中より往復。舗道の林道登り進むと途中より、草の茂る道に。旧林道終点より山入り。暑さでバテ気味で、何とか展望地まで行き一息。少しギアチェンジし、登り進むと笹路の直登の急坂。只管上を目指し全開モード。笹等つかみながら登り進む、緩やかになり盛太ヶ岳山頂 15:25。三角点、大きな桜、社・仏像あり拝む。広い丘の山頂で好天もあり山々の眺め良い。鳥の声・風が静か。来た笹の急坂を慎重に下り戻る。

○4/29(水)広島北1山、島根南1山 晴れ

「福田頭」9:00~11:40(2:40)林舗道南側登山口より往復。植林地経て、沢沿いの道進み、幾つかの渡渉・滝3つ経て登り進み大波峠。あとは稜線のブナ等樹林の急坂・なだらかな道を進み福田頭山頂 10:25。三角点あり、樹林のまばらな稜線のピークで、抜群の山々の眺め。晴天で静か。来た稜線戻る途中、来た時と同じ2組の登山者に挨拶。大波峠より新緑・沢・滝・陽光を満喫して戻る。

○「矢筈山」13:05~16:05(3:00)北側林舗道終点より往復。道不明な山。林道進むと大水で掘られた林道や使われず草・笹茂り放題の旧道進み終点。目指す山が見えて、沢沿いを辿るのを諦めて、東の植林地の急坂を慎重に登り、尾根稜線に出る。境界標赤・白2つ確認。稜線沿いに水の白ペンキの目印とピンクテープ辿る。屈曲点で白の境界杭確認し西へ稜線を登り進む。テープあるも、道なく、歩き易いところを探し、テープも確認しつつ進む。急坂で笹尾根となり、北側の植林地沿いの獣道進み、山頂の末端に出る。あとは稜線を西に進み矢筈山山頂 14:35。三角点あり、ブナ・ナラ林の平坦な山頂。山々・北側の集落の眺め良い。晴天でそよ風心地よく静か。来た道戻るも、途中間違いで山頂末端に一度戻り、2度目は、来た尾根道・テープ・杭・方向を確認しつつ、慎重に下り、2本境界杭に戻る。西への植林等の急坂は、慎重に下り、陽光のもと林道歩きを楽しみつつ戻る。

○4/25(土)26(日)広島北5山(3山)

○4/25 晴れ(内黒山)10:00~10:35(0:35)今日目指す山の手前の内黒峠より往復。ブナ林の道を進み、間もなく内黒山山頂。植林地の丘の山頂。朝日・そよ風、小鳥の声楽しい。来た道の下りで樹間より、山々の眺めと陽光を楽しみつつ戻る。

○「恐羅漢山」山頂 12:00(旧羅漢山)同 12:25「広見山」同 15:30 11:05~18:35(7:30)恐羅漢スキー場駐車場より往復。スキー場の右側の急坂階段の登山道進み、最終リフトより先の尾根進み山入り。トラバース気味に登り進み、稜線分岐。南へ進むと間もなく恐羅漢山山頂。三角点、岩のある平坦な山頂。先へ稜線を下り、ブナ樹林帯下り、平坦な湿地帯経て、急坂登り返すと(旧羅漢山)山頂。大岩のある丘の山頂で、木の梯子登った大岩の上から山々の展望楽しむ梯子を慎重に降り、先へと西側を下る。途中、国道488から登って来た方と会い、山話。刈り払いされた稜線を北へ辿り途中から西よりに下り、ジョシのキビレ(分岐)13:40。ここで思案の末、稜線を直進。これが後で仇となる。背丈以上の笹藪を分け進む。幾つかピーク経て左の奥に山が見え、沢へ下りショートカットしつつ、再び笹・灌木藪分けて進む、稜線 14:15。ここから稜線を南に進む。笹・灌木藪に手こずり、足元が滑り、運悪く灌木が右目を直撃(出血した模様だが、目も特に支障なく見える)。そのままより慎重に笹と灌木の稜線藪を獣道の跡を追うようにゆっくり進む。幾つかピーク経て、目先に目指す山らしき見えるピーク 14:55。ここからも灌木藪を薄いところ、通り易いところを探しつつ下り、鞍部。ここから笹藪で、左の尾根の笹藪地帯を熊に合わないよう、(怒りも含め)声を上げつつ、大笹をかき分け、かき分け、エンドレスのような笹藪尾根をゆっくり

登ってゆく。稜線近くになり、いきなり本道に出て安堵 15:15。そこから西へ進むと間もなく念願の  
広見山山頂。二等三角点ある、笹の刈り払いされた広い丘の山頂。晴天で山々の眺め良い。す  
ぐに戻りにかかり、来た本道進み、歩いてきた藪尾根を左に見つつ進み、急坂を下ってゆく。沢  
に出て、目印テープ等確認しながら下り、旧林道に出会うとそこに夥しいテープあり、渡渉して来  
た尾根を目指す。植林の中の茨を気にしながら、テープを探しつつ北へ。急坂登り、笹道にが  
出て笹を分けて、テープを辿るとジョシのキビレ三差路に無事戻り、大安堵 16:05。あとは刈り  
払いされた稜線道を疲れた体に鞭打つようにしつつ、ゆっくりアップダウン繰り返しつつ登って  
ゆく。急げないがゆっくり一歩ずつ進む。カマのキビレの分岐道を確認しつつ、稜線を辿り、  
植林地・大岩経て旧羅漢山。北へ稜線を下り登り返して恐羅漢山一息入れて稜線を下り、  
分岐より来た東へトラバ道。淡々と下り、スキー場に出て、急坂をゆっくり下り無事駐  
車場に戻る。(車内で右目の周りは、少し裂傷か、赤い血の塊を確認。)

○4/26 曇り「砥石郷山」5:55~7:55(2:00)恐羅漢スキー場より往復。セラピーの整備された  
道進み、展望台。さらにトラバースするように登り進み、稜線鞍部の夏焼峠。北へ進み、  
分岐登り口より急坂をゆっくり辿り進み1P。あとは、ブナ林帯の森をアップダウンし  
ながら進み砥石郷山山頂。先の展望地より山々の眺めあり。二等三角点、ブナ樹林等  
の中の平坦な山頂。写真撮り忘れ(後で気づきやむなく、駐車場より山を撮影)来た  
道戻る。1Pより急坂を慎重に下り、夏焼峠。あとは整備された道を淡々下る。駐  
車場で山作業の方々が揃い、ラジオ体操をしているのを眺めつつ車に戻る。

○「三段峡」8:40~9:15(0:35)横川口より二段滝・猿飛まで川沿いの清流・岩々の  
激しい流れを溪流上の細道を散策して戻る。ほか車中より、岩々の激流・清流等  
の眺め楽しむ。

○「聖山」10:15~11:55(1:40)中の甲林道途中より往復。林道を登り進み、  
十文字峠。ここより山入り。整備された緩やかな尾根を進み、高岳分岐経て  
聖山山頂 11:10。三角点ある、カラマツ・広葉樹林の中の平坦な山頂。陽光・  
風あり、小鳥の声聞こえ静か。先の展望地より山々の眺め確認し来た道戻る。  
軽快に尾根を下り、峠。林道を半ばまで来て雨降りに。そのまま駐車地  
に戻る。雨降りのため、車で待機し書き物。雨が止み、移動。

○(高岳)13:00~14:25(1:25)縦走道先の舗道・橋の登山口より、天候を心配しつつ、  
仮出発。道を沢添いに下り、作業小屋を右に見て進む。木橋渡り進むと登り口。  
ナラの枯れ木対策中の森の案内あり。ナラ等の林の中をゆっくり高度上げ進む。  
平坦・急坂等経て高岳山頂 13:45。三角点あり、笹の刈り払いされた広い丘の  
山頂。雲で視界今一つだが、小鳥の声・風あり。聖岳への縦走路を確認。来た  
道を淡々と下り、特に雨にも合わずに戻る。今回はここまで。

○4/18(土)19(日)広島西2山、広島北2山(1山)

○4/16「大峰山」11:55~13:00(1:05)晴れ R42 笹ヶ峠より湯来林道入り途中より  
往復。林道進み北側登山口。沢沿いに登り進む。植林地・急坂・ブナ林経て稜線。  
祠を拝み、稜線を右へ、岩稜を慎重に右回りで進むと大峰山山頂 12:25。大岩の上  
の山頂で、風強いが、日差しが心地よい。山々・集落の眺め良い。近くの大岩を  
巡り、来た道戻る。

○「天上山」14:25~17:35(3:10)南側サイクリングロードと林舗道分岐通行止め  
より往復。林舗道登り進み、ピーク先は下りのためピークに戻りピンクテープより  
山入り。尾根の小藪を分けて進む。急坂・岩々経て1Pの三角点。標高足りずここ  
は別の様子。北側の先に高い山あり、遠いがそこを目指す。稜線のテープ等ある  
道らしきを小藪かき分けて進む。岩々のピーク経て進むと本道合流。整備され  
た登山道で、三差路経て天上山山頂 16:10。二等三角点、周り樹林・小笹の  
広い丘の山頂。強風の曇りの中、西側の山々の展望良い。来た道を本道から小  
藪稜線、岩々の

ピーク、三角点・急坂岩の尾根を慎重を下り、尾根小藪道、林舗道経て戻る。

○4/19 伝説のハイカー編 曇りのち晴れ

○「五里山」山頂 7:35(万城山)同 7:15 5:45~9:00(3;15)R488 三坂峠より往復。昨晚の強風と雨も止み、曇りの中、出発。舗道を島根側に進み、途中より取り付く。尾根に出て進むとすぐ巡視路道に出て、鉄塔。そこから先は道なし。ピンクテープあり、笹小藪分けて、尾根、稜線を進む。植林地へ経て、少し残雪ある地帯。時折テープ見失うが、稜線を北・東へと進んでいく。笹藪が残雪や薄いところを探しつつ、なだらかな稜線進む。いくつかのピーク経て、テープルートと離れた北側の(万城山:樹林・笹小藪の丘のピーク)に寄り、テープ稜線に戻り、深くなる笹藪を避けつつ、残雪・薄いところ探し稜線を進む。最も標高の高いところに進むとそこが念願の「五里山」山頂。一部笹が刈り払いされた平坦な丘の山頂で、図根点石と小さな表示あり。ブナ林・沢の音・小鳥のさえずりがさわやか。時折、太陽が顔を出す。来た道をテープ等頼りに残雪も利用し下るも時折、来た道か不明となる。何とか方向・テープを確認しつつ稜線を辿り鉄塔に出て安堵。林舗道に慎重に下って無事戻る。身支度をしていると、地元の方が大鷲の調査で来たのに会い、挨拶し山話(五里山を今朝歩いて来たと話したら驚かれた)。次の山のルート教えてもらい感謝。

○「十方山」11:15~14:20(3:05)北側林舗道通行止めより往復。林舗道進み、工事の仮鉄板橋渡り、少し荒れた林道進むと十字路の獅子ヶ谷登山口。水越新道へと直進。直登道で植林地・急坂・ブナ樹林帯・急坂経て最高点。少し下り進むと十方山山頂 12:40。先客あり挨拶。二等三角点、周り笹の刈り払いされた丘の広い山頂。晴れて山々の大展望を楽しむ。一休みして、来た道戻り、最高点で先程の2人に挨拶し急坂を軽快に下り十字路登山口 13:30。表示板にすぐの案内ある水越峠へ寄り道確認。林道を湧き水と岩稜の沢の流れを楽しみつつ戻る。今回はここまで

○4/11(土)広島北1山(3山)島根南1山 これで鳥取県を踏破(3県境:三国山を歩いて)。

○「比婆山」山頂 10:35(烏帽子山)同 11:00(池ノ段)同 12:10(立烏帽子山)同 12:35

9:25~13:50(4:25)第一キャンプ場より周回。橋を渡り林道を直進し山入り。植林地のなだらかな整備された道を進む。ブナ林帯となり、緩やかなつづら折れの道を陽光浴びながら進み稜線。北へ進むと比婆山山頂。神話伝説のある丘(御陵)の山頂。稜線を北に下り、東ルートを登り返すと烏帽子山山頂。平坦な広い山頂で山々の眺め良い。方位石、烏帽子岩あり。ここまで若い2人の後を追うような山歩き。戻りは西ルートを下る。西側の山々の展望が最高で、過去登った山々の同定を楽しむ。比婆山経て南へ立派なブナの森を陽光受けながら散策を楽しみ下る。越原越より右へ尾根道辿り進むと(池ノ段)山頂。先客2人。方位石ある丘の山頂で360度の大パノラマ楽しむ。西へ稜線散策して東へ下り、鞍部の縦走分岐より登り返すと(立烏帽子山)山頂。稜線のピーク。先へ急坂のつづら折れの道を下り、駐車場分岐より北へ戻る。伝説謂れのある千引岩経てブナ林・陽光・沢を楽しみながら、トラバース気味に下り、越原越。ここから斜めに植林地道下り林道終点。日差し受け、沢の流れと音を聞き、春を満喫しながら戻る。

○「三国山」曇り 15:15~18:35(3:20)島根側三井野地区より周回。藪山で農作業中の方に聞いても不明の山。林舗道三叉路に駐車し、旧作業道を小藪分けて南へ。1Pより稜線テープ目安に北へ。次の分岐は左にテープあるが、右(北)へ笹小藪分け稜線進む。2P経て植林地稜線を東へ進む。急坂を藪を避け獣道らしきを辿り進むと三国山山頂 16:30。意外とすんなり来これた。。二等三角点、小さな山表示のあり、広葉樹・ヒノキ植林境界、笹小藪の丘の山頂。来た道を獣道辿るが、途中道間違いに気づき稜線へ登り返す。稜線を淡々と進むが北への稜線分岐見失い稜線を直進。途中より北へ尾根下りる。沢に出て笹藪を漕いで彷徨い歩きつつ、沢を下り進

むとR314の広島側 17:55。方向間違いしたが、県境に戻り、林舗道経て何とか登りの倍以上の距離を歩き無事戻る。目印・方向・標高確認不足を反省。明日雨のため、今回はここまで。

○4/4(土)5(日)広島北1山。島根南5山

○4/4「猿政山」11:05～15:20(4:15)南の広島側上湯川林道途中より往復。倒木通行止めより地元の釣り人に挨拶して出発。沢沿い林道を分岐経て終点まで進み、渡渉し、植林地に入る。旧道らしき尾根を辿り小藪分け進む。旧作業道に出て、迷いつつ右へトラバ道を笹をかき分け進む。尾根末端経て先も笹が覆う道でかき分け進む。山の方向が西側のため、次の見える尾根末端まで行かず、途中の枯れ沢を北へ。獣道・急な岩場を慎重に進み、クマの寝床経て、小藪を登ると稜線の本道出会い。ブナ林の稜線を登り進み猿政山山頂 13:10。周りがブナ・笹の丘の山頂。地元の小学校校歌碑あり。一等三角点、鶯の声、日差しの温かさに春を満喫。山々眺め良い。稜線に戻り、急坂は、慎重に下り、県境分岐より南側へ。道不明でやむなく、来た方向目指し、急坂を木々等に掴まりながら下る。トラバ道に出て、笹を分け進む。尾根末端をいくつか惑いつつ進み、見覚えのある登り口の沢を確認し安堵。後は、来たトラバ道より小藪の植林地尾根を下り渡渉経て林道終点。沢と春の日差しを満喫しながら戻る。

○「鯛ノ巣山」16:10～18:05(1:55)滝分岐の駐車場登山口より往復。遅い出発で急ぎ足で沢沿いの道を渡渉しながら進む。植林地尾根に経て、コウモリ岩の6合目。大きな岩稜帯の下の道を辿り、つづら折れの道経て緩やかな稜線。間もなく鯛ノ巣山山頂 17:15。ブナ林の平坦な山頂。三角点あり、山々・集落の眺めあり。穏やかな日和だったが、急に雲が湧いてきて急ぎ来た道を淡々と戻る。沢等水の豊かな山。

○4/5「栃山」5:35～6:30(0:55)キャンプ場の登山口より往復。松や落ち葉を踏みしめ、整備された道を淡々と登り進み、稜線末端で日の出を拝み、西へ稜線を進むと栃山山頂。二等三角点、周り樹林の平坦な広い山頂で、南側に雲海・山々の眺め・東に朝日のコントラストを楽しみ、軽快に戻る。

○「鳥屋ケ丸」7:45～9:45(2:00)北側林舗道水源地らしきところより往復。道を辿ると沢となり後は、境界標等目安に沢沿いに進む。急坂の岩場に出て慎重に岩を登り、境界標を辿り急坂の尾根を小藪分けて進むと稜線。東へ鞍部経て進むが、標高足りず引き返し、西の稜線へ。笹藪の密林避け獣道進み、鳥屋ケ丸山頂 9:05。二等三角点、ヒノキ植林・笹小藪の丘の山頂。来た稜線より尾根・岩々経て沢筋下って戻る。

○「鶴降山」11:20～12:30(1:10)北側林舗道登山口より往復。整備された道進むと祠あり。そこからが地元の方に登山口と藪を教えていただいた通りの藪。笹等分けて進み、刈り払い地に出てまた深い笹藪。分けて進み、急坂岩よじ登りその上も同じ笹藪。薄いところを探しつつ再度の密林藪経て鶴降山山頂。石積の史跡ある平坦な山頂。二等三角点を笹の下に確認。戻りも最初から道間違いしつつ、方向を確認しながら、笹藪分け、岩々・笹藪・刈り払い地経て駐車地の東側に無事戻る。

「大万木山」14:00～16:05(2:05)位出谷口駐車場より往復。整備された道を辿り、トラバ道経て権現コースの直登を辿る。整備されたつづら折れの道を進み、大岩地帯経てブナ林の森を進む。展望台・大ブナ経て大万木山山頂 15:10。ブナ林の広い平坦な山頂。二等三角点あり、曇りで縦走コース確認し下山。大きな犬ブナ、展望台より桜と見まがう白い霧氷樹林を楽しむ。ブナ林を堪能しつつ戻る。今回はここまで。

○3/28(土)29(日)奈良南(2山)広島中央2山 例会下見:大峰奥駈道の最終章

(新日本山岳誌以外編)と大移動し通常の山歩き。

○3/28(七越峯)山頂 14:25(吹越山)同 15:50 13:45~18:20(4:35)熊野本宮順峯起点よりほんの少しを往復。例会の縦走出発点の玉置山・玉置神社・玉置辻及び駐車場を散策 8:50~10:55(2:05)後、移動し熊野本宮を参拝(ルート・タクシー手配を確認)後の遅い山歩き。明日天候崩れるため、行けるところまでと出発。整備された奥駈道をアップダウンし、林舗道横切り等経て進み、(七越峯)山頂。神社参拝。展望台より山々の眺めある平坦な山頂で、桜・ツツジが見頃。山を下り、公園経て稜線を進み、峠・吹越宿址経て(吹越山)山頂。桧植林地の稜線ピークで少し山々の展望あり。さらに先へトライし、林舗道の山在峠まで行き、来た道を引き返す。時折小雨パラつく中、薄暮に橋の下の駐車地に戻る。

○3/29 広島中央 晴れ「窓ヶ山」10:05~11:35(1:30)憩の森登山口より往復。林道終点の東屋のある駐車地より沢経て、本道合流し、距離表示に助けられ植林地から尾根の急坂をゆっくり登り、東峰(行きは素通り、帰りに昼時の登山者の賑いと大岩・表示を確認)。西へ稜線進み、幾つかの大岩の展望地経て、キレットを慎重に下り、登り返すと窓ヶ山西峰山頂 10:40。大岩の丘の山頂。三角点あり、瀬戸内・街・山々の眺め堪能。散策して、帰りは、稜線の大岩からの展望を楽しみながら戻る。

○「東郷山」12:50~15:00(2:10)白井ノ滝駐車場より往復。林舗道の坂を進むと白井の滝。さらに沢沿いに林舗道進み登山口。小川沿いの道を辿り、鉄塔巡視路の登り口兼登山道に出る。そこから急坂の階段道等を進むと第一鉄塔。距離表示あり、展望がよい。さらに第2、3鉄塔経て稜線の尾根に出る。急坂経て東郷山山頂 14:00。二等三角点あり、ブナ・笹のある丘の山頂で、小鳥のさえずり、日差しを楽しむ。下りに地元の登山者に挨拶し、春山の日差し・景観を確認しながら戻る。今回はここまで。

○3/20(金)~22(日)岡山西 1山(2山)3/20、広島北 4山 3/21、広島中央3山(1山)3/22  
これで岡山県の山を踏破。

○3/20「二子山」山頂 12:15(下二子山)同 13:45 10:20~15:00(4:40)南側林道のコンクリ橋より往復。沢沿いに北へ林道を進み、車の轍が残る分岐より一部崩壊している道と雑草茂る中を分けて奥へと進み、山分岐の案内表示。右へ藪入りを覚悟で急坂辿り進む。上に行くに従い笹が覆い、テープを頼りに笹をかき分け登り進み稜線末端の境界標。遠くに山が見えるが、稜線も笹が生い茂り、かき分け、時には、植林地の斜面の藪の薄いところを探しながら数回の屈曲点経て進む。途中で鹿・クマ(?)が音を立てて出てゆき、こちらも驚き、笛を吹きながら通過。山頂直下の急坂もテープ頼りに獣道を笹を分け進み、なだらかになり、本笹藪を分けて進むと念願の二子山山頂。藪山で来れるか不安だったが無事来れて満足。二等三角点、笹藪と回りが樹林の平坦な山頂。まだらに少し雪があるのみで、春風の中、山々の展望あり。来た稜線笹路を笹の薄いところを探しながら末端経て、急坂下り分岐口へ戻る。次に下二子山を目指す、道不明。やむなく遠くから見えた山の方向へと、北側へ進み、途中より西の峰を目指し残雪利用し笹藪を進む。稜線に出ると西に林道見えてそちらに下り、あとは、その少し荒れた旧林道を上へ上へと進んでいく。方向転換地点にピンクテープを確認して進むと旧作業道の終点が(下二子山)山頂。三角点あり、平坦な小笹・灌木の山頂で雪を纏う大山の眺めが最高で、陽光、眺望を楽しむ。来た旧作業道を分岐に戻り、林道・沢を日差しを楽しみつつ戻る。

○(大佐山)16:40~17:00(0:20)近くで気になっていた山で車で山頂下の公園まで行き、後は散策歩き。プラネタリウム・測候所・電波塔の一角の丘の山頂。二等三角点あり、展望台より、大山等の山々の眺め楽しむ。

○3/21「寒曳山」6:30~8:05(1:35)南側林舗道終点より往復。整備された植林地の中の道をトラバース気味に進み、急坂の岩のある樹林帯を慎重に登り、稜線末端の岩場。稜線を北へ登り進むと寒曳山山頂 7:15。刈り払いされた芝の丘の山頂。二等三角点、朝日、小鳥のさえずり、雪のないスキー場、山々、集落の眺め良い。来た道を急坂は慎重に、森歩きを楽しみながら戻る。

○「日野山」8:40~10:05(1:25)東側登山口より往復。林道を史跡の案内を見ながら進む。分岐を左に城跡を目指す。沢沿いの植林地を進み、分岐より右へ山入り。急坂進み、郭の番号を確認しながら、上へ上へと登り進み、二の丸、三の丸案内を経て進むと本丸の日野山山頂 9:20。三角点あり、NO27の郭。平坦な城跡の山頂で山々・集落の眺め良い。来た道を史跡案内を確認しつつ、陽光を楽しみながら戻る。

○「犬伏山」11:25~12:55(1:30)西登山口より往復。荒れた林道の途中に駐車し、林道進む。植林帯となり最初の分岐でゲートのある右へ進む。進んでいくと伐採道となり、とりあえず上まで進み、上の山の方向へ急坂を登り進むと本道に合流して 1P。先の稜線にテープが続いており、笹が覆う笹路をかき分けながら 2P 経て進むと犬伏山山頂 12:25。二等三角点、笹の樹林の中の山頂で、山々の眺めあり。日差しが暖かく、小鳥の声を楽しむ。来た稜線笹路をテープ等確認しながら 1P 戻り。あとは、来た道を辿ろうとしたが、来たルートが不明となり、西奥の尾根に道が見えそちらへ進み、本道合流。笹の刈り払いされた道を下り、登山道表示に出て、さらに作業道進み、林道の登山道案内に出る。さらに林道下ると最初に間違えた分岐に出会い、あとは一部林道をショートカットし、家族連れに挨拶して戻る。

○「女亀山(メンガメ)」15:10~17:15(2:05)西側林道の途中より往復。植林地スペースに車を止め、林道歩き。伐採された山を見つつ、林道を進むと鳥居と登山道の案内あり。登山道を一旦下り、木橋の沢を渡り、植林地を沢沿いに進む。距離表示を頼りに広葉樹の森に出て、尾根に出る。ブナ林の急坂を登り進むと女亀山山頂 16:10。ブナ林の中の平坦な山頂で、山々の眺めあり。一等三角点、風あり、夕方のブナの森を楽しむ。来た道を森、植林地、伐採地の景観を楽しみながら戻る。

○3/22「白木山」6:05~7:50(1:45)北東側林舗道登山口よりハイキングコースを往復。整備された山腹道をトラバースするように進み、直登コースと合流し稜線。南へと滑りやすい急坂を 2 つ経て白木山山頂 6:50。曇りながら太陽がおぼろに見える。風が強い。電波塔・神社のある平坦な広い山頂。地元の登山者あり、山話。来た道を急坂は滑らないよう慎重に下り、分岐の稜線をそのまま北へ直進。境界標辿るが次の山がなく、途中より東側へ急坂を慎重に下りトラバ道の本道に合流して散策しながら戻る。

○「堂床山」山頂 10:10(西冠山)同 11:20「可部冠山」同 11:30 8:50~12:55(4:05)南原峡登山口より周回。天候不明で、行けるところまでと出発。沢沿いの遊歩道進み、加賀津ノ滝。ここから登りに入り、急坂をゆっくり上へ上へと登る。途中トラバースして尾根を登り進むと堂床山山頂。一等三角点あり、平坦な樹林の中の山頂で、日差しが温かい。遠くで雷の音あり。先へと下り、明神ダム湖が見える。稜線をアップダウンしながら進む。北西側の遠くの山は暗くなり、雷も聞こえる。淡々と樹林の中の稜線道進み、三叉路表示の西冠山山頂。樹林の中のピーク。雨がポツリと来て、急ぎ足で先の冠山へと稜線を下り登りして北へ進む。急坂経て、雨ばらつく中、可部冠山山頂。雨降りとなり、木陰で雨具を出し一息。三角点あり、大岩のある丘の山頂で、雨に煙るが、山々の眺めあり。上に雨具付け、稜線に戻る。三叉路の西冠山に戻り、南原峡へと下る。樹林帯の中、軽快に下り進むと雨もやみ、余裕を持ちながら下る。ダム分岐経て、急坂下ると登り

始めの時見た分岐に意外と早く戻れた。天気予報はあつたが、あまり濡れず少し助かった。今回はここまで。

○3/15(日)広島中央3山(2山)曇りのち晴れ

○「福王寺山」8:45~9:50(1:05)福王寺駐車場より往復。コンクリ舗装の急坂進み福王寺。参拝し奥より山入り。稜線に出て、番号のある石仏を辿り進むと最高点の三鬼大権現。さらに進むと福王寺山山頂 9:15。電波塔のある稜線末端の丘の山頂で北西側に街・山々の眺めあり。風あり、小雨・綿雪が舞う荒れた天候。来た稜線辿り、石仏巡りし池を経て福王寺。急坂道をゆっくり戻る。

○「武田山」山頂 11:55(火山)同 12:55(カガラ山)同 14:05 11:10~14:40(3:30)大町ルートより往復。晴れ 用水路脇の登山口を進み、砂防ダム経て分岐より吹き通しへ。稜線鞍部でここから西へ。急坂の整備された道辿ると道の修復の方がいて挨拶。史跡等経て進むと大勢の人がいる武田山山頂。銀山城跡・大岩のある丘の山頂で、三角点あり。広島市街、湾・山々の眺め良い。先へ進む。急坂下り、水越峠。南側に突き出た稜線を辿り、鞍部より急坂経て連山の最高峰の(火山)山頂。三角点あり、岩の多い平坦な山頂。街・山々の眺め良い。来た道戻り峠より急坂を登山者に挨拶しながら登り、武田山に戻る。人はわずかで、あとは、稜線を道作業者に挨拶して吹き通し。ここから東へと急坂登り、稜線より北へ進むと(カガラ山)山頂。登ってきた2山の眺めと街の眺めが良い。陽光を楽しむ好天。あとは、吹き通し経て戻る。

○「宗箇山」15:10~16:00(0:50)北側の鍬投げ峠より往復。急坂道・なだらか道経てトラロープの急坂経て稜線に合流。東へと稜線進むと程なく、宗箇山山頂 15:30。4代目宗箇松ある平坦な山頂。ハイカー多く広島の街が目前で湾・山々の展望に大満足。稜線から分岐へ。急坂を慎重に下り、景観を楽しみながら戻る。およね会参加(往復2千km)後の足慣らしの山歩き。

○3/8(日)広島中央3山(2山)曇りのち晴れ

○「呉娑々宇山」山頂 9:10(藤ヶ丸山)同 8:30 7:10~10:25(3:15)北側植物公園ゲート口より往復。土砂災害工事中の沢沿いの作業道進み渡渉して旧道を進む。旧キャンプ場経て、テープ等目安に沢沿いを進み、岩稜帯より右へ取りつき、獣道辿り上へ登ると道あり。トラバース道を左に進むと、公園のアドベンチャーコースに出て上へ登ってゆくと舗道。さらに南へ進むと、目指す山の隣の山の案内あり、その表示に沿って登り、遊歩道を1つ経て稜線に出て東へ進むと三差路分岐、同じ分岐を2つ経て隣の山へと遊歩道を登り進むと(藤ヶ丸山)山頂。三角点と岩のある丘の山頂。曇りで視界今一つ。下りにトレランの人々に会い挨拶。稜線に戻り、案内表示頼りに西へアップダウンし進み、みはらしの丘。山々・街の展望良い。さらに稜線を進み、電波塔手前の呉娑々宇(ゴサウ)山山頂。二等三角点ある丘の山頂。広島の街・山々の眺めよい。青空見え、風あり。稜線に戻り、途中より、管理センターの方に下り、舗道に出る。北に下り進むと登った地点に戻る。あとは、アドコース・トラバ道、尾根の境界テープ道・沢筋の岩石層の崩壊止め施設等眺めながら戻る。

○「木の宗山」10:50~11:50(1:00)三田ヶ峠登山口より往復。整備された急坂階段道を進み、展望広場。稜線根進み、岩々等の急坂を登ると木の宗山山頂 11:20。三角点ある平坦な山頂で、広島湾・街・山々の眺め良い。来た急坂道を慎重に下り、尾根の樹林の景色と植樹されたカバー付きの樹木を眺めながら戻る。

○「阿武山」山頂 14:30(権現山)同 13:25 13:05~15:45(2:40)南西の神社参道より往復。参道進み、左の尾根へ入る。岩々の尾根道登ると多宝塔で参拝。上へ整備された遊歩道を家族連れ等を眺めながら、登り進み権現山山頂。電波塔脇の丘の山頂で、三角点あり、街・山々の眺

め良い。先へと下り車道終点。トレラン等人が多い。先へ下り、稜線をアップダウンして進み、三差路分岐の鳥越峠より登りになる。直登もあるが、右への整備された緩やかな道を淡々と登り進み阿武山山頂。二等三角点、周りが樹林の平坦な山頂。晴れているが風もあり、山々・街の眺め良い。帰りは、急坂の直登道を少し滑りながら慎重に下り、稜線は、樹林帯を楽しみながら進む。権現山経て、多宝塔を参拝して戻る。

○3/1(日)広島東4山(1山)晴れ

○「蛇円山」8:30~55(0:25)展望広場より往復。整備された階段道を登り進むと蛇円山山頂神社・二等三角点のある広場の山頂で、南側の山々の眺めが良い。朝日が清々しい中、冬風あり展望広場(電波塔あり)に戻り、朝の山々・集落の眺めを楽しむ。

○「星居山」10:35~55(0:20)森林公園駐車場より往復。整備された階段道のある植林地内を進むと星居山山頂。電波塔・東屋のある丘の山頂。一等三角点あり、展望台から山々の眺め良い。

○「宇根山」12:30~40(0:10)寺の駐車場より散策。大師像・ミニ四国霊場巡り経て宇根山山頂。二等三角点、電波塔のある丘の山頂で、冬風の中、陽光が心地よい。

○「鎌倉寺山」14:35~16:25(1:50)キャンプ場近くの登山口より往復。テープ等頼りに沢筋道・急坂谷筋の尾根道を登り、トラバースして登ると十字路の稜線。左へ稜線進むと鎌倉寺山山頂 15:35。樹林の中の稜線のピークで山々の眺めあり、十字路に戻り、先の稜線へ登ると(権兵衛山)山頂。稜線の先(西)の山並みが見える。あとは来た急坂を一度間違いつつも、ゆっくりと確認しながら下り、シダの群落を眺めつつ戻る。

○2/22(土)~24(月)高知東最深部 3山(2山)これで四国はあと残り1山妹背山(島)最後にお知らせがあります。

○2/22「亀谷山」13:40~16:45(3:05)曇りのち晴れ 北亀谷林道最初の分岐より往復。雨が上がり、出発。川沿いに進み橋を渡り、右側の尾根末端は急斜面でパス(帰りはここを降りる)し先の植林地より山入り。雨で緩んだ植林地の中を上を目指して急坂をゆっくり登る。尾根に出ると本道らしき道あり、左奥へと進む。すぐ林道支線末端の広場に出て、先へ進むと北亀谷林道の本道。1.5キロポイント経て奥に進むと雨の後で、沢が狭い岩々のため、竜のように踊っている流れで、圧巻の景観を眺めつつ、渡渉のテープ地点。渡渉して植林地の尾根道を淡々と登り尾根稜線を獣道・茨・小藪を分けて進み、本稜線となり進むと念願の亀谷山山頂 15:25。ルート不明で困難と思っていたが、来れて大満足。三角点あり、稜線上の灌木の中のピークで南側急斜面、山々の眺め良い。青空、強風の天候。来た稜線・植林地経て渡渉し林道を陽光・景観楽しみつつ歩く。林道支線末端広場より本道をそのまま下り、登りに見た崖の尾根末端は慎重に降りて戻る。

○「鐘ヶ龍森」山頂 9:10(高善森)同 7:25 6:05~11:40(5:35)R12・島林道・泉林道三差路口より往復。北側からアプローチできず、東側からのリベンジ。三差路を東へ急斜面の林道進み、あとは尾根への林道を辿り進む。日の出を見て、途中より山入りし稜線の境界杭等目安に奥へと進むと(高善森)山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂で、朝日・青空がよい。次へ稜線を北方向へ辿る。1P、2P経て作業道・稜線の境界標目安に進む。植林地の急坂登り、稜線を左に屈曲して進むと笹藪の中に鐘ヶ龍森山頂。二等三角点、笹・灌木の中の丘の山頂。陽光・青空・山々の眺めあり、また白い標識柱あり。来た道を辿り、稜線・林道・2P・1P経て林道に下り、そのまま林道歩きして戻る。

○2/24(月)「伝説のハイカー編」

○「烏帽子ヶ森」山頂 11:25(西又山)同 8:30 6:05~15:40(9:35)別役登山口より往復。

前日少し下見したが、岩峰の見立てで考え過ぎたりで熟睡はできず、薄明りの中、木橋を慎重に渡り出発。植林地道を淡々と登り進む。2度沢を渡り、3度めから道が怪しくなり、消失。止む無く、右側の急斜面尾根の獣道らしきを慎重に、木、岩等掴みながら上へ上へ。倒木等回避しながら進むとケーブル線の中継設備を経て尾根稜線に境界標・テープのある本道 7:35。あとは、稜線尾根の急坂を淡々と登り進み、ケーブルアンテナの魚梁瀬登山口分岐の稜線。北へ稜線を進むと(西又山)山頂。廃小屋ある丘の山頂で、ブナ林がよく、小鳥のさえずり、山々の眺め、朝日を楽しむ。冬風あり。稜線をアンテナ分岐に戻り、急坂を魚梁瀬口への道を慎重に下ってゆく。どこが分岐が不明だが、幾つかの鞍部を経て稜線を進む。中間あたりで笹藪道となり、鹿道らしき等探しながら笹を分けて進み、中間ピーク。先に伐採後の植林跡が見える。稜線は笹藪のため、その植林道を下って鞍部より登り返す。行動中に何も食べないで来たため、体調がおかしい。あくせくしながら疲労困憊の体で稜線分岐のピーク。西に目指す烏帽子が見えてあともう少しと油断したことが仇に。先への降り口が絶壁過ぎて降りる場所が見つからず止む無く少し下り、わずかな空間で、藪への戦闘態勢に切り替え。右へトラバースしてゆくと茨が邪魔をし半袖シャツに張り付く。外そうと急斜面で作業でアドレナリンが全開し過ぎた。茨に引っ掛かりつつも何とか広いスペースへ。先の下に急坂だが道あるのであとは慎重に下り、鞍部。先へ細尾根進むと又も急斜面の絶壁で左へ獣道らしき分けて急坂慎重に下るとトラバ道。でも絶壁の僅かな道で慎重に進み広い鞍部に出る。あとは、もう一つコブ稜線を経て進む。稜線をゆっくり進み、目指す山の袂に着いて、赤テープ確認。ここも笹藪尾根道のため、左のトラバースの整備された道を進み。ただ、一向に登る気配ないため、途中より急斜面の植林地をバテバテの状態ですローモーションのようにゆっくり休みつつ辿る。何とか尾根稜線に出て、アンパンを1個食べて、現在地確認。西へと同じスローな歩きで進み烏帽子ヶ森山頂。三角点あり、ヒノキ樹林のある広い平坦な山頂。陽光・小鳥の音が心地良く、山々の眺めも良い。食事して一息。花粉症のクシャミ・鼻水、考え過ぎ(当たったが)の睡眠不足、食事の摂取不足にアドレナリン全開の前壁2つで体調今一つ。来た道戻る。2つの絶壁は、1つ目は、トラバ道を慎重に辿り、本道合流点に赤テープを確認。2つ目は、急坂だが慎重に道辿ってピークからの入り口は、西側の奥であることを確認。あとは来た稜線道を下りは、淡々と下り、登りはスローモーションな歩きで休みつつ登り返してアンテナ分岐。あとの下りは軽快に来た道を確認しながら下り、登りの合流点を経て尾根を下り、2つテープ口より北西側の植林地へ下ってゆく。途中間違えたところを経て淡々と下り、古い木橋渡り無事戻る。これで難攻と思われた安芸の深い山々を踏破でき、大満足。反省は体調と食事の摂取。○車のフロントガラスが跳ねた小石でひび割れを初日の下山後にあり、当面山歩きは、自粛か？

◎お知らせ:今まで皆様のご協力で 3000 名山を踏破できたことの記念にCDと小冊子が、周りの皆様のご支援で完成しました。この場をかりて改めて御礼申し上げます。

○2/15(土)広島東3山(3山)曇り

○「灰ヶ峰」8:50~9:00(0:10)車で山頂まで行き散策。三角点あり、展望台より呉市街、山々、瀬戸内海の眺め良い。

○「烏帽子岩山」10:15~11:50(1:35)天応登山口駐車地より往復。沢筋の道を進み、急坂岩々の道を上へ上へと登る。右手に大きな岩峰あり、その急斜面を大勢でロッククライムの練習しているのを眺めつつ、その谷の境界地よりさらに岩々の急坂が続く。木の根、岩を頼りにロープもある急斜面を慎重に登り、ドンガメ岩。さらに登り別ルートと合流して烏帽子岩山山頂 11:00。

平坦な岩のある山頂で、山々・呉港の眺め良い。下り出発の重装備でアイゼン付けた5名の方に挨拶。来た道を急坂岩々は、滑らないよう慎重に下り、ロッククライムの練習を横目で見つつ、沢筋経て戻る。

○「銚取山」13:25~18:10(4:45)平原登山口より往復。バイパス下の山案内表示より、バイパス下を抜け、コンクリ階段登り・降りして登山口。小岩・落ち葉の道を進み。沢より右岸の多少荒れている登山道を登り進む。途中、眼下に水が少なく、倒木・岩々等の谷を右下に眺めつつ進み、植林地経て安芸アルプス縦走路の稜線に出る。左手に坂山が見える(タイムアップで登れず)。右へと急坂道をゆっくり登り進み、遊歩道が現れて間もなく銚取山山頂 14:40。三角点あり、樹林の中の平坦な山頂。山々の眺めあり。縦走路を南へ下って、登り返して、憩いの広場。さらに下ると、林舗道に出る。少し進み、植林地を登り返して進むと鉄塔 2 つの奥に(原山)山頂。三角点あり、樹林の中の丘の山頂。縦走路をさらに南下し下って行き、分岐より左の急坂を登り進むと三差路のピークが(591峰)山頂。旧陸軍標石あり、樹林の中の山頂。左へ縦走路進むと反射板と先に洞所山見える(時間なく、眺めるだけ)。山頂から右へ急坂を慎重に下り、原山からの道と合流。さらに下り、林道に出て西へ進むと(天狗防山)山頂 16:10。樹林の中、稜線ピークの山頂。先へ下らず、来た道を引き返す。三差路を2つ経て、稜線急坂道を淡々と登り返し原山。林舗道・憩いの丘経て稜線進み、再度の銚取山 17:15。急坂道を慎重に下り、稜線分岐より平原口へ。足を挫かないように足元を確認しながら、淡々と下る。植林地を抜けて、はるか下の沢筋を左下に眺めつつ、ざれた道を急ぎつつ下る。沢筋の落ち葉・ゴロ石道は慎重に歩いて、遠くに街明かりを見つつ、薄暮に駐車地に戻る。明日の天候は雨でR2のPエリアで、待機したが未明の2時より雨となり帰路へ。

○2/11(火)広島東3山(4山) 晴れ

○「野呂山」(弘法寺山、膳棚山)8:40~10:35(0:55)ビジターセンターから車で移動しながらの山歩き。(弘法寺山)ビジターセンター向かいの山で丘を登ると樹林の中の山頂で、東の野呂山山頂とあり。近くを散策して三角点を確認。同所より瀬戸内海の眺めあり。

「野呂山」車で移動し施設の奥の給水設備の裏が山頂で、野呂山の中の頂上とあり、大岩・樹林の中の丘の山頂で公園の眺めあり。

(膳棚山)電波東群の奥のゲートより進むと電波塔の間のフェンスに沢山表示のある山頂。樹林の中の山頂。付近を陽光を楽しみながら散策。

○「休山」(日佐護山、三津峰山)12:00~13:25(1:25)山頂まで車で行き、縦走路を車で移動しながら山歩き。

「休山」公園の広場に大きなウッドデッキと東屋を合わせた展望所あり。瀬戸内海、島々、山々呉の街の眺めを楽しむ。電波塔ある山頂。

(日佐護山)車舗道より稜線を上り下りし神社経て舗道横切り、登り返して稜線より少し西へ入ったところが山頂で、樹林の中のピーク。地元の方5名に挨拶し車舗道を歩いて戻る。

(三津峰山)車舗道三差路口より急坂階段道を登り、稜線進むと山頂。二等三角点あり、樹林の中の平坦な山頂で、呉の街・港の眺めあり。下りに前の山で出会った縦走の方々へ会い挨拶。

○「古鷹山」14:25~16:05(1:40)奥小路登山口より往復。整備された道を進み、尾根。距離表示に助けられながら、トラバース道進み、急坂経て稜線。まず左へ。急坂のロープ・鎖のある岩タルートを慎重に登り、古鷹山山頂。江田島、周りの海等の眺め良い。方位盤と五省訓あり、祝日で地元の海上自衛隊の旗が棚引いていた。若い方1人が来て挨拶(帰りに走って降りて行

った)。自衛隊員の鍛錬の場らしく、帰りに急ぎ登る若い5名に会い挨拶。稜線分岐に戻り反対側のピークの二等三角点を確認し折り返す。あとは、来た道を暖かい日差しの中、久しぶりに半袖シャツでの山歩きを楽しみ戻る。

○2/9(日)晴れ 広島東4山(3山)

○「岡田山」8:00~15(0:15)車で電波塔の先の岡田神社まで行き、散策しすぐ岡田山山頂。一等三角点、樹林の中の平坦な山頂。岡田神社より、朝日、山々の眺め満喫。

○「天神嶽」9:25~11:35(2:10)西駐車場登山口より往復。整備された登山道を登り進み、樹林帯。尾根を進み、中天神・西天神分岐より左に急坂登ると稜線分岐。左の急坂登ると天神嶽：西天神 山頂 10:00。樹林の中の丘山頂で、奥に大岩あり、朝日、山々の眺め堪能。冬風あり。稜線に戻り、東へ進むと(中天神岳)山頂。巨岩が立ち並ぶ山頂で、眺め良い。さらに稜線を南へ下る。途中、山の云われ書きや石仏等経て、鞍部に出て、急坂登り返すと(東天神岳)山頂。ここも大きな岩のある山頂で西・中天神等眺め良い。来た稜線に戻り、中天神の先よりトラバース道経て、最初の分岐に戻り、森を散策しながら軽快に戻る。

○「大土山」12:30~13:55(1:25)水越峠より往復。広い林道をドンドン登ってゆき、ゲートと左への分岐を左に進み、林道終点。少しある雪を踏みしめ、潜り岩経て稜線を進むと大土山山頂 13:05。二等三角点あり、電波塔脇の樹林の中の丘の山頂。山々の眺めあり。来た道を散策しながら淡々と林道道に戻る。

○「鷹の巣山」14:50~16:50(2:00)通行止めの森公園手前の林舗道の第一登山口より周回。ゲートのある林道を奥へと進み尾根。作業道と並行の登山道を登り、急坂経て鷹の巣山山頂 15:25。一等三角点、草原の丘の山頂で、南・西側の山々の眺め良い。展望台は閉鎖中。時間あり、北への縦走路へ。植林地の急坂を下り、十字路より登り返して進むと(カンノ木山)山頂 16:10。大岩の山頂で、鷹の巣等山々が陽光に映えてキレイ。来た稜線に戻り十字路より南へ下り、林道に出て右へ進み、林道を下ると第二登山口。林舗道を下り、駐車地に戻る。今日は、天候に恵まれて、絶好の温かい冬山の1日を満喫。

○2/2(日)広島東3山(3山)晴れ

○「葦嶽山」7:25~9:00(1:35)野谷コースを往復。林道よりすぐ山入りして植林地抜けて沢沿いに登り進む。つづら折れの道、急坂経て稜線のコル。右へ急坂進むと葦嶽山山頂(別名日本ピラミッド)8:05。松のある平坦な山頂。山々の眺めあり。コルに戻り、反対の稜線進むと、奇岩・巨岩群でその先に笹を分けて進むと(鬼叫山)山頂。樹林の中のピーク。来た道に戻り、巨岩の名称を確認してコル。あとは、沢と朝日を楽しみながら戻る。

○「大黒目山」晴れ 9:25~11:55(2:30)篠津原口(釣り堀手前)旧林道口より往復。使われない林道は、山へ登るところだけ踏み跡の道。テープ等頼りに進み、沢を経て、猪の掘り返し道を進み三差路の稜線コル。右へ登り進み権現神社。巨石と碑あり参拝しコルに戻る。反対の稜線をアップダウンしながら進み、1P経て進むと石垣の上の大黒目山山頂 10:50。一等三角点あり、樹林の中の平坦な山頂で、陽光、そよ風と山々の眺めを楽しむ。来た稜線を引き返し、登りにスルーした樹林の中の(権現山)山頂を確認して三差路に戻る。あとは、陽光と森を楽しみ戻る。

○「岳山」山頂 13:55(前岳)同 14:25 13:15~15:10(1:55)R421の矢多田(北)登山口より周回。猪ゲート、植林地経て階段等のある登山道を倒木を回避しながら進む。登るに従い急坂となり、大岩がゴロゴロで、縫うように登り進み、ひときわ大きな屏風岩。さらに急坂進み稜線に出て

樹林帯を進むと間もなく岳山山頂。二等三角点あり、樹林の中の平坦な山頂。陽光・小鳥のさえずり、霞むが山々の眺めあり。時間があるため、稜線を南へ進む。展望岩で周囲の眺めを楽しみながら進むと前岳山頂。三角点あり、すぐ脇の杵抜岩と西日を楽しむ。来た稜線を少し戻り、途中から矢多田(南)への下山路を樹林・日差しを楽しみつつ下る。植林地、ゲート、集落、(南)登山口駐車場を経てR421に出て(北)駐車場へ戻る。

○1/25(土)26(日)広島東4山(2山)

○1/25「馬乗山」:山野峡、帝釈峡 11:35~13:30(1:55)岩谷権現の鳥居口Pより往復。豪雨の影響で工事通行止め多く、2つの溪谷の中で登れる山を登る。石段道を進み巨岩下の権現神社参拝。右奥へと階段の自然歩道進み三差路。ここを右へ進む。間もなく、林道に出て、すぐ左のピンクテープの電線下の刈り払い道を辿る。再び林道と合流し舗道に出て別舗道と合流しすぐの電波塔の階段道の奥が、馬乗山山頂 12:30。電波塔脇の平坦な山頂。樹林の中で、視界今一つ。さらに奥の馬乗観音参拝し、来た道の森を散策しながら戻る。

○「二子山」15:45~16:25(0:40)R259 先の舗道より往復。前回失敗した地点より手前から、小藪分け尾根に出て、旧作業道を横切り、急坂登ると二子山山頂。旧神社の建物と三角点がある平坦な山頂で、西側に山々の眺めあり。双子の西のピークを散策して植林の稜線に戻る。

○1/26「虫原山」6:25~8:30(2:05)曇りのち晴れ R12 より入った小串林道の野田集落外れの林道口より往復。やや明るくなる中、つづら折れの林道を淡々と進み、虫原峠(岡山県の標識ある県境)。北の尾根へ進み、急坂経て、植林地・作業道を横切るを幾度か繰り返す。テープが出て、笹原を経て虫原山山頂 7:35。二等三角点、樹林・笹原の平坦な山頂で、山々の眺めあり、朝日・小鳥のさえずりを楽しむ。来た笹原、急坂を慎重に辿り、虫原峠に戻る。あとは、林道をショートカットして朝の森の気配を楽しみつつ戻る。

○「御神山」山頂 12:25(大行山)同 11:45(小行山)同 13:45 9:50~15:15(5:25)R26 龍雲寺奥のPより往復。尾根を辿り、西側の奥へと進んでいく。1Pではるか先に目指す山らしきが見えて、稜線の 2Pを経て、下り作業道・沢路の合流点に出る。そこから沢沿いに進み広い林道に出る。ここからも沢沿いの道をゲートと坂の舗道経て終点まで進む。何も表示なく、右の尾根に取り付く。小藪の獣道らしきを辿り、急坂経て(大行山)山頂。分水嶺縦走路の札ある、稜線のピークで、山々の眺めあり。先へと目指す山を確認しつつ、急坂を下り、源流口の沢を渡り、東側の稜線辿り、支尾根より稜線に出てアップダウンして稜線を進む。植林地等の樹林の稜線を進み、青のテープを見かけて進むと御神山山頂。二等三角点、標高888.8mと末広がり目出度い山。稜線上のピークで、東西の山々の眺め、陽光が心地よい。来た稜線を辿り、急坂を登り返して、大行山に戻る。そこから尾根の道を間違いつつ、無事来た稜線に戻り、林道終点。そこから向いの南側へ笹原の急坂経て登り進むと(小行山)山頂。丘の山頂で、小さな表示板あり。慎重に急坂を戻り、林道終点。あとは来た林道・交差道・1P経て稜線を辿る。好天に気を緩し、違う尾根に入って惑うも、来た尾根に何とか復帰する。あとは、尾根の小藪を分けて下り、旧道に出て無事戻る。

○1/10(金)休み~1/13(月)連休で四国最深部を山歩き。高知東5山(1山)徳島県境含む。これで3200名山を踏破。また徳島県の山を踏破。四国は残り高知の最深部の安芸の3山と沖ノ島1山。安芸の残り3山は、普通車でのアプローチが難しい山3つ(亀谷山、烏帽子ヶ森、鐘ヶ龍森)時間と労力を要するため(今回アプローチを少し試みたが)、早くて2月下旬以降か?不明だが

○1/10「野根山」山頂 12:55(装束山)同 14:25 11:10~16:20(5:10)蛇谷(砂利)林道 4 km先に駐車し往復。登山口不明なため、林道を 1 kmほど進み、壊れた小屋、沢前のピンクテープより山に取付き、急坂登り、支尾根に出て、進むと上の林道。さらにその林道を進み、次の 2 つの作業小屋の間にピンクテープありここの急坂登り、沢を一つ右に進み、上に登り進むとピンクテープのある登山道(?)。山腹の道を辿り右へ進んでいくと植林の標石。さらに進むと野根街道の本道らしき三差路に出会う。山頂への案内あり、左に進み、先の三差路を左(東)へと進み倒木の樹林帯を経て野根山山頂。三角点あり、ヒノキ等の樹林の丘のピーク。北に山々、南に海の眺めあり。三差路に戻り、本道を辿り下ると岩佐関所跡。ここから四国のみちで、西へとアップ、ダウンしながら進み、街道の史跡巡りし、次のピークが(装束山)で一等三角点。展望台あり、山々、海の眺め良い。来た街道道に戻り、関所跡を経て三差路、あとは、登ってきたルートを確認しながら慎重に急坂を下り、車の置いた林道の上方に出て林道を下り戻る。駐車地手前で、山側にピンクテープの登山口らしきを確認して戻る。

○1/11 晴れ「千本山」山頂 7:45「甚吉森」同 9:40 5:45~13:00(7:15)千本山登山口より往復。長い山歩きのため、ライト付けて暗いうちに出発。魚梁瀬の立派な杉を眺めて、整備改修されている道を淡々と進む。幾つかの云われのある巨大杉を見つつ、上へ上へと進み、展望台。明るくなり、展望台より、ダム of 景観が見える。ここも巨木の美林が並ぶ。先へと稜線・トラバース道を進み、千本山山頂。樹林の中のピーク。その先にテープあり、甚吉ヘトライ。テープ等頼りに稜線をアップダウンしながら進む。広い伐採跡で道探しに戸惑うも、先への稜線を確認し右と左の遠方に林道を確認しつつ、稜線を下り進み。1 つ沢越えて左(西)ヘトラバ道進み、尾根に取り付く。同様な尾根登りを繰り返し、急坂のつづら折れの道を経て次の急坂登ると山頂の稜線ですぐ甚吉森山頂(徳島県との境界)。二等三角点あり、稜線上の平坦なピークで、北に四国の主稜線の山々、南に朝日・山々の眺めを見られる最高のロケーション。風は冷たい。来た稜線道を確認しながら、淡々と下り、千本山まで誰にも会わず。その先で 2 人連れの登山者に挨拶。やなせの杉の美林、陽光を楽しみながら戻る。

○「稗己屋山」14:25~16:00(1:35)二ノ谷林道(砂利)を車で行けるところまで行き、崩壊地の工事現場手前に駐車し(工事の方に了解を得て)、急坂植林地をなるべく崩さないよう、木等頼りによじ登り、尾根。笹が少しある、獣等の道を辿り、登ってゆく。別尾根と合流し西へ登り進むと、稜線の本道に出会い、初めて山の案内札見かけ安堵。稜線をアップダウンしながら進み、少々荒れた道を進むと稗己屋山山頂 15:20。樹林の中の平坦な山頂で三角点あり。青空、陽光、鳥の声を静寂の中楽しむ。来た道を確認しながら、急坂は慎重に下って戻る。工事業者の方は誰もいなかった。

○「天狗森」9:05~12:50(3:45)林道ゲート口より往復。雨で遅くの出発。ゆっくり小雨の中出発。すぐの林道分岐を右へ橋を渡ると北平林道。あとは、林道を淡々とつづら折れの道を上へと距離表示に助けられながら、登ってゆく。途中で雨が止む。3 キロ位で工事の現場事務所脇のカーゴ軌道起点と登山口。小枝造作の手摺り、階段道を登り、カーゴ軌道と並び登り、あとは、軌道と別れて、トラバ道を 2 度経て、カーゴ軌道に合流し、植林地を経て軌道終点。テント 2 つあり、ここで、植栽の作業中の模様。迷路に近い馬酔木の森を抜けて樹林帯に入り、急坂。つづら折れの道、急坂を経て天狗森山頂 11:10。一等三角点、周りが樹林の丘の山頂。雲で視界今一つ。来た道戻り、途中からダム湖・魚梁瀬の集落を眺め楽しむ。来た道を淡々と戻り、林道に出て、景観を確認しながら戻る。

○1/13「八杉森」晴れ 6:55~13:25(6:30)R208 八坂神社口より往復。最初目印あったが、す

ぐになくなり、やむなく、急坂の植林地を上へ上へとひたすら登る。1 つ目の林道を横切り上へ。急坂登り、2 つ目等線り返して植林地の急坂を登り、稜線近くで粘土質の林道。そこから北へと赤い境界標辿り、下ってゆく。広い林道に出てそのまま、まっすぐに北へと直登・林道線り返し進む。コンクリ道経て先へとしばらく林道を進む。途中再び、境界標辿り山入りし、林道に出てすぐまた山入りして境界標辿り急坂を登り進む。2 つの赤の境界標に出て、右(東)へ折れ進むと、再び作業道。十字路を直進し、右に境界標を見ながら尾根を進むと別ルート(ピンク・青の2トンのテープと赤の境界石。そこからテープを辿り登り進むと八杉森山頂 10:20。三角点あり、樹林の中の平坦な山頂で木漏れ日が心地よい。疲れて一息入れ、静けさを楽しむ。来た道を確認しつつ下るが、稜線上で別道の行き止まりの道に出て登ると別の三角点に会い、本道に引き返し、最初の稜線出発点に戻る。そこからは、急坂の植林地を下り、林道に出て、目安の下り口を2つはうまくいったが、最後の林道で目印不明となり止む無く、とりあえず植林地を西へと下る。急坂を慎重に下り、沢口に出る。ここの急坂の岩では、余計に慎重にゆっくり下り何とか、と河原に出る。広い少し浅めの川を長靴で何とか渡渉し、長瀬橋。右か左か迷うが、北(奥)へと進むと間もなく愛車見つけて無事戻る。

この山域は植林作業道があるが、ゲート・道荒れ、さらに主要道にも工事のための通行時間規制もあり、アプローチが一番の課題。冬(暖冬だが)本番のため、当面自粛。ただ、天候次第で山歩きもする? 予定。

○年末年始 10日連続の山歩き 広島・山口・福岡の山々 その4

○1/3 福岡東3山(1山)曇りのち晴れ

○「尺岳」7:50~10:00(2:10)R61 林道ゲート口より往復。旧林道を沢沿いに進み、川分岐を直進して尾根稜線に出て畑ルートと合流し、トラバ道進む。広い林道の車止めの杭があるところで合流し登り進むと尺岳平の広場で右の尾根を進み尺岳山頂 9:00。祠あり、方位盤ある石の丘の山頂。山々・街の眺めあり、曇り。登山者1名挨拶。来た道確認しながら数名の登山者に挨拶しながら戻る。

○「皿倉山」10:45~13:10(2:25)市ノ瀬峠より往復。九州自然歩道の整備された道の尾根を前日の山歩きの疲れを感じながらゆっくり登り進む。鷹取神社参拝しすぐ(権現山)山頂。二等三角点、電波塔・広場の平坦な山頂。舗道を下り、皿倉平の広場。舗道を登り返し進むと皿倉山山頂 12:15。電波塔・広場・ケーブルのある広い山頂で、山々・街の眺め良い。晴れだが、風が強い。皿倉平に戻り、帰りは、権現山の迂回路のトラバ道を軽快に戻る。

○「福智山」15:15~17:55(2:40)上野峽の白糸の滝ルートを往復。コースタイムでは、厳しいので一番短いコースを選択し急坂の岩場等を急ぎ足で登り、林道横切り、樹林帯を抜け、半袖シャツで、風の強い灌木の間の道を進み、1Pより下り八丁。登山者1名と会い、急坂登ると福智山山頂 16:25。一等三角点、岩々の丘の山頂で、霞むが山々の眺め良い。晴れだが風強く、すぐ下山。来た道を確認しながら、林道から近くに見える山を断念し急坂を慎重に急ぎ足で戻る。登りの途中で会った地元の方2名と同時刻に戻る。

○1/4 福岡東2山、山口西1山(2山)晴れ

○「牛斬山」山頂 8:45「香春岳」同 10:15 7:35~11:10(3:35)五徳越峠より北と南に山歩き。まず北へ、急坂経て、稜線道進む。牛斬峠経て霜の降りた稜線道進む。急坂経て牛斬山山頂 三角点あり、平坦な岩のある山頂で、筑豊盆地・山々の眺め良い。好天で霜が溶け始める。長丁場のトレランの方数名に挨拶。稜線を淡々と戻り、五徳越峠 9:45。引き続き南の香春岳へ、刈り

払いされた防火帯らしき道を進み分岐より、岩登りコースへ。少し進むと、樹林の中、急坂の岩々で、微かなペンキ・テープ等頼りに本格的な岩登り。途中の踊り場で帽子を外し、手袋を嵌めて、久しぶりに本格モードの急坂岩歩き。岩等の持ち手、足掛け位置を逐一確認しつつ、少し慎重になりながら一気に攻め登る。山頂近くの大岩で先行の2人に挨拶して間もなく香春岳(三ノ岳)山頂。あっという間に登る。三角点、大岩のある丘の山頂で、晴天の中、山々・街の眺め良い。地元の方2人と山話し、一般ルートを少し惑いつつ峠に戻る。

○「竜王山」13:35~17:00(3:25)R244 吉見・浄水場登山口より往復。参道進み、中宮を参拝し、急坂樹林帯の道を強風を受けながら登る。上宮の鳥居を左に見つつ、尾根道を進み、鬼ヶ城分岐経て竜王山山頂14:40。一等三角点あり、360度パノラマの丘の山頂で、晴天の強風の中、海岸線・山々・街の眺め良い。次へと南に下り進むも、ルートいくつかあり道迷い。地元方に目指す山の歩くルートを教えてもらい、稜線を下り登り返すと(雄鋤尖山)山頂。稜線上のピークで眺め良い。さらに急坂階段道下り、登り返し進むと雌鋤尖山山頂15:25。先行した地元の方に追いつきお礼を云う。三角点ある稜線のピークで、海岸線等眺めあり。来た稜線道を竜王山に戻り、尾根をくだり、上宮参拝し樹林帯の陽光楽しみ、中宮経て戻る。

#### ○1/5 広島西1山、北1山 晴れ

○「極楽寺山」6:45~9:35(2:50)南側登山口より往復。地元の方に登山口教えてもらい、明るくなり出発。高速上の橋を渡り、ショートカットし上の道へ。曲がったすぐの分岐を山入り。あまり使われていない道か、シダ、笹を時折分けて登り進む。尾根となり、テープ等目安に直登尾根を登り、大岩のトラロープ経て、急坂進むと平良からの本道と合流し、いくつかの分岐経て石段を登ると極楽寺。参拝しその奥の展望広場が極楽寺山山頂8:15。東屋ある丘の山頂で、北側に山々の眺めあり。極楽寺に戻り、道を教えていただいた方に会いお礼を云い、来た直登ルートを確認しながら戻る。

○「郡山」11:25~13:20(0:55)奥の駐車場より周回。毛利元就の墓所が登山口で尾根進み、二の丸経て、本丸の上が郡山山頂。基準点あり。三の丸等城跡を散策して戻る。

今回の大遠征の年末年始10日連続の山歩きはここまで。

#### ○年末年始 10日連続の山歩き 広島・山口・福岡の山々 その3

##### ○1/1 山口東2山、西1山(1山)晴れ

○「烏帽子岳」6:45~8:20(1:35)上魚切登山口より往復。明るくなり、地元の2人が通過したのを見届けゆっくり出発。獣ゲート経て、作業道進む。道は少し荒れているが、滝を経て植林地進み、広場の大岩のある分岐。迷い、左へと橋渡り、崩壊地経て進むと沢の向こうにバイクの下るのが見え、道があるらしい。そちらへ進むと立派な舗道に出て登ると、広い駐車場・鳥居のある登山口。鳥居を潜り、急坂階段道登ると明るくなり日の出間近。分岐となり、右へ稜線進み急坂登ると丁度初日の出の始まりで大勢の地元の方と拝む。ここは烏帽子岳大將軍の社があり拝む日の出終わると人がすぐ居なくなり、教えて頂いた三角点のある、烏帽子岳山頂へ。稜線をゆっくり進むと烏帽子岳山頂7:35。二等三角点あり、南側が伐採された丘の山頂で朝日が心地よく静かで青空が心地よい。尾根道下り分岐経て来た道辿り戻る。

○「四熊ヶ岳」9:35~10:45(1:10)金明水の登山口より往復。旧民家を抜け、植林地・鉄塔道の斜面の急坂道登り進むと一の鳥居。石段等の道登り、二の鳥居。同様に石段登り、旧鳥居経て急坂石段登ると奥社で拝み、その奥が、四熊ヶ岳山頂。二等三角点、樹林の中の丘の山頂で、

陽光心地よい。来た道戻り、金明水で喉を潤す。

○「鬼ヶ城山」13:35~16:15(2:40)鬼ヶ城登山口より往復。林道進むと大水でやや荒れ気味の林道経て、静かな森を登ると家族連れに挨拶。整備された道を進み稜線分岐。南へ進むと避難小屋。急坂・緩やか・急坂の稜線登り、鬼ヶ城山山頂 14:35。芝の丘の山頂で、三角点あり日差しが心地よい。海岸線・街・山々の眺めが良い。来た道戻り分岐より北へ。いくつかのピーク経て進むと(狩音山)山頂。植林地境界の稜線のピークで、北側に山々、西側に海の展望あり。来た道分岐に戻り、陽光に輝く森を楽しみ戻る。

#### ○1/2 福岡東3山(7山)晴れ

○「風師山」6:45~8:55(2:10)風師等登山口より往復。稜線道をアップダウンして進み、(風頭)山頂。方位盤・碑、大岩のある平坦な山頂。撮影の人に挨拶。下関の港・街明かりキレイ。稜線進み「風師山」山頂 7:10。二等三角点ある、平坦な山頂で、西側に朝の街の眺めがよい。稜線を下ってゆき、登り返し林道・キャンプ場経て(矢筈山)山頂。要塞跡の広場の山頂。来た稜線道を朝の好天を楽しみながら戻る。近くの(三角山)9:20~10:05(0:45)上清滝グランド登山口より急坂を往復。山頂の祠・電波塔あり、書き物休憩 0:20 とり急坂を慎重に戻る。

○「足立山」10:55~14:30(3:35)足立公園駐車場より周回。登山口不明で、上へ登ると遊歩道あり、地元の方に登山口を教えてもらい西へ寄り道しながら進み、妙見神社登山口。鳥居経て掘り削られている登山道を登り進む。途中より右尾根に取り付き進むと(砲台山)山頂。反射板のある、広場の山頂で、トレラン・ハイカーの人々に挨拶。東へ稜線尾根をゆっくり登り進み、神社鳥居手前を右の尾根の急坂登ると足立山山頂 13:00。数名の登山者に挨拶。一等三角点ある、丘のピークで、北側に北九州市の街、港の眺めあり。急坂道下り神社参拝しその奥が(妙見山)山頂。急坂下り、稜線をアップダウンしながら進みつつ、地元の方にこの山を教えてもらう。1Pより登ってきた山の稜線・防火帯の刈払いの稜線確認。少し下ってゆくと(小文字山)山頂。ここも南側が街の眺め良い。稜線を鞍部に戻り、樹林の中の道を淡々と下り、幾つかの分岐経て、広場。さらに東へ下り、少年の家経て駐車場に戻る。

○「貫山」16:00~18:00(2:00)茶ヶ床園地より周回。道不明で、舗道を上へと登ってゆく。途中寄り道し、目指す山頂を確認し、本舗道に戻りすぐ中峠。案内表示あり、西へ進み分岐より北へ笹・萱の丘の眺めの良い中、道を淡々と登り進むと、四方台。野焼きされた道を下り、急坂登り返し、稜線を進み、分岐道の二等三角点経て貫山山頂 16:50。草原の大石がある平坦な山頂で、夕日・山々・街の眺め良い。次へと急ぎ急坂を下り登り返して四方台。西へと稜線進み急坂下り、カルストの岩々の間を縫うような急坂道を上り進み、園地への分岐。西へと岩々の間道を進むと(太平山)山頂 17:30。岩々の中のピークで、草原の山々、園地・集落の明かり、半月が、夕日映えにキレイ。夕闇迫り、急ぎ足で分岐へ戻り、園地へと急ぐ。急坂を慎重に下り進むと林道に出て間もなく園地に薄暗い中戻る、同様に戻った方1人あり。